

# 児童向けに再話された風土記説話の目録ならびに索引

立岡 裕 士

(キーワード：風土記 児童文学 近代日本)

## 1 はじめに

筆者は風土記愛(「風土記」という語が愛好される現象)の実態把握を試みている(立岡, 2016)。風土記愛の背景の一つとして、古風土記・近世風土記に対する関心が考えられる。したがって、風土記愛が浸透する過程を明らかにするためには古風土記が一般市民にどのように受容されてきたかを明らかにする必要がある。児童向けの再話風土記は一般市民向けの風土記の一翼を担う。本稿は、そのような再話風土記の実態を把握するための基礎資料の一つである<sup>1)</sup>。なお筆者は初め、次のような作業の構想をもっていた：

- ① 児童向け風土記作品(図書)の一覧を作成する
- ② それらの図書のうち、題名(ないしは叢書名)を異にしながら内容的に同一である図書を確認する
- ③ 児童向け風土記図書を、風土記の扱い方の点で分類する
- ④ 古風土記の記事のうち、何がいつ誰によって児童に供給されたかを明らかにする
- ⑤ 同一作者による同一題名作品間の異同を確認する

しかし該当図書が200を超え目録自体が長大となったため、やむなく①・③のみを別稿として発表した(立岡, 印刷中)。そして②・④が本稿である。したがって、対象の探索方法を述べた第2章は、立岡(印刷中)とほぼ重複している。読者の了解を願う。

## 2 対象の選定

本目録では、抽象的に風土記を紹介したり風土記の記事を史料として引用するのではなく、具体的な風土記の記事を再話して紹介している児童書<sup>2)</sup>を対象とする。

国会図書館の蔵書検索において「風土記」をキーワードとして調べると、該当するものが13冊見つけられる。しかし国会図書館の蔵書に欠落がある<sup>3)</sup>ことはともかく、その蔵書検索システムは書名または目次において「風土記」を明示しているものを検出するにとどまり、本文や「解説」などでのみ典拠を示している図書は漏れてしまう。したがって以下のようにして調査対象を拡張した：

- ・田中(2007)・小櫃(2012)所載の作品および『世界児童文学全集・内容総覧』(日外アソシエーツ)所載の児童向け文学全集のうち「日本神話」「日本昔話」「日本民話」「日本おとぎ話」「日本童話」の巻を含める。
- ・「国会図書館サーチ」により、「日本(の)神話」「神話物語」「古事記物語」「おおくにぬし」「いなばの」「くにひき」「くにびき」「はごろも」「がまんくらべ」「もちのまと」をキーワードとして探す。
- ・さらに該当書の著者をキーワードとして検索する。
- ・国定教科書は悉皆調査を行ったが、戦後の検定教科書は国定教科書に掲載された作品のタイトルのみを、東書文庫の検索システム(<http://www.tosho-bunko.jp/search/>)で検索した。

風土記がどのようなものとして子どもに供されるかということを検討するための資料作成を目指す筆者にとって、風土記説話を紹介する図書を対象として検索するということはすでに偏りを含むものである。また上記のように検索対象を広げたことも特定の時期や性質の図書のみが検出される可能性をもつ。したがって本目録は暫定的なものである。大方の叱正を仰ぎたい。

風土記を利用しながらもその典拠を示さない作品を取り上げることは、本稿の本来の関心から不必要であるが、明示的な風土記再話の背景として検討する。その際、風土記の再話であるか否かは以下の基準によって判断した(風土記の再話であることが明示されている作品については、これらの規程が関係ないことは言うまでもな

い) :

- ・記紀説話と内容的に同一であるものは風土記の再話としない（たとえば豊後・肥前の景行・神功記事や、スクナヒコナに関する伯耆逸文など）。
- ・浦島説話は亀の報恩譚である場合には丹後風土記の再話としない（風土記説話以後に生じた報恩譚としての浦島説話の方がよく知られているため）。
- ・三保の羽衣譚は再話としない（駿河風土記逸文が、より有名な謡曲「三保の羽衣」と相違する点は、主人公が無名であることと最後に登仙することだけであるため）。
- ・余呉の羽衣譚は天女の子どもにかかわる話がある場合は再話としない（余呉を舞台とする桐畑太夫説話（福田, 1988, pp. 106~114）が存在するため）。
- ・因幡の素ウサギの話において、ウサギが隠岐の原住民ではなく因幡から流されたとされている場合は風土記説話の利用と見なす<sup>4)</sup>。

なお、逸文の範囲は各作家が利用する『風土記』によって同じではない<sup>5)</sup>。しかし現在（荊木, 2002）でも最大で195条である（うち31条は現伝風土記と重複する）一方、栗田寛の『古風土記逸文』にすでに186条（うち28条は現伝風土記と重複）が挙げられている。そして本稿で調査した限りでは、利用された逸文で『古風土記逸文』にないものは2例（宇治橋姫・三保羽衣）のみであった。したがって、それぞれの逸文（候補）に対する現在の評価にかかわらず『古風土記逸文』採録のものは全て風土記の逸文と見なし、それを利用した作品は風土記説話の再話と見なした。

以上により約500冊の図書を調べた結果、非明示的に風土記説話を再話した図書103、多少とも明示的に風土記説話を再話した図書116を確認した。これらには、同一の作品でも収録される図書が異なれば重複して掲出している（ただし、作家の個人全集は一般的には児童の読み物とは考えがたいので割愛した）。同様に、同一内容の図書が違う叢書名で刊行されている場合も重複をいとわず表示している。

### 3 目録・索引に対する説明

図書目録はまず、再話作品が風土記を原拠とすることが書中に何らかの形で明示されているもの（B）と、いないもの（A）と、に分け、それぞれを刊年の古い順に並べた。それぞれ、番号 著者名（刊年）『書名』 発行所の順に記載した。各図書につけた番号は、索引においても使用する。目録本体のあとに、著者名別に配列した目録を付した（漢字表記と仮名表記とを区別しない）。ここでは監修者・編集者は著者と見なさない。また絵本・紙芝居であっても文章部分の執筆者のみを著者とした。複数人による図書で、風土記説話の執筆者が明記されている場合はその執筆者の名前のみで著録し、そうでない場合は全員をそれぞれ見出しとした。著者名目録では、各著者について、刊年の古い順に並べ、刊年 図書番号 『書名』 発行所の順に記載した。

索引第1部の書名索引では再話作品を掲載する図書ごとに、まず該当する作品（または章・段）を掲げ、次にそれに対応する（原拠である）風土記の「地名」（国・郡および郷名など）を示した。作品題名および地名につづく（ ）内の数字は掲載ページである。また図書の編著者と当該作品の作者とが異なる場合（あるいは図書の著者が複数となっている場合）は、ページ数の表示に続いて当該作品の作者名を記した<sup>6)</sup>。風土記は角川ソフィア文庫本を利用した。風土記全体のテキストとして最も新しいことと、逸文の採録が最も広いことによる。「地名」の表記（特に逸文における記事の題名）は基本的に同書の表現にしたがった（ただし記事を細分するために筆者が見出しをつけた場合もある）。

風土記の記事は、地名、さらには空間秩序（国－郡－郷－里など）によって拘束されているにもかかわらず、独立した記事に分離することは必ずしも容易ではない（たとえば常陸国香島郡の記事において、建郡から香島神功の由来、津宮への船の奉納、神官居宅へと続く記事は四つの主題からなっているが文章は連続的である）。他方で、空間性に拘束されているが故に、それぞれの記事が説話として安定性に欠ける場合もある。さらに風土記が古典としての威信が低いためもあるが、再話者は、風土記におけるそれぞれの記事の在り方にかかわらず、適宜に分離抽出したり結合して作品とすることが少なくない。複数の説話がまとめられるにあたっては、単純に並記されるものから、同一神・人にかかわる説話が統合される場合、全く関係のない説話が混合される場合まで、さまざまな場合がある。さらに、その複数の説話が、同一の風土記中のものである場合も、他の風土記・典籍の説話の場合もある。当初は、再話のそうした構成面も注記することを考えたが、分類枠が複雑になる一方で分類の判断が主観的にならざるをえないため断念した。ただし、一つの作品（章・段）が複数の説話から構成される

場合には、各作品全体のページではなく、それぞれの風土記の説話に対応する部分のページを表記する<sup>7)</sup>ことにより、この点を示すようにした。

第2部の地名索引は第1部の記事をいわば逆転させたもので、再話のある風土記の「地名」について、該当する図書（番号・著者名・刊年のみを記載）と作品（章・段）題名・ページ数とを記載した。

#### 4 補論：風土記から／への混入

Aに分類した図書には、典拠注記に関して幾つかの種類に分けられる。すなわち、一つはその図書に関わる全ての典拠を記さないものである。次に、当該図書の典拠として他の文献（たとえば古事記など）は記しているにもかかわらず風土記を挙げていないものである。これはさらに、「主に古事記によった」というような表現で（風土記を含む）他の典拠が暗示されているもの<sup>8)</sup>と、「本書は古事記の再話である」というような形で風土記を無視するもの<sup>9)</sup>（いわば消極的誤記である）とに分けられる。これに対して、風土記説話に別の典拠を（積極的に）誤記している事例もある<sup>10)</sup>（さらに、風土記逸文をその出典元から直接引用することにより風土記に言及しない場合もある<sup>11)</sup>）。

典拠を全く記さないことは、特に低年齢児向けの図書では一般に見られることであり、特に異とするに足りない（また、少なくとも形式的にはここで問題とする混入の事例ではない）。古事記などが明示される一方で風土記が暗示にとどまるのは風土記の威信が低いためであろう。無視（消極的誤記）もそうした評価の一形態と言える。積極的誤記については個別の理由が考えられるべきで一般化はできないと思われる。

こうした風土記からの混入事例に比べると、他の文献の説話が風土記の説話として扱われる事例は数が少ない。そうした錯誤が生じたのは、風土記を見ずに再話を試みた作者が、タネ本の記述を誤解もしくは鵜呑みにした結果であろう。それが明瞭なのは与田準一（B074・B107）の場合で、同書には「ものいうクリの木」が近江風土記を典拠として収録されている（p.168）。一方与田は、再話にあたって楠山正雄に「啓発されることの多かった」（p.220）とも述べている。楠山正雄の『新版 日本童話宝玉集 下巻』（B031）はこの話を「話す木」として収録し、「お話についてのおぼえがき」で『古風土記逸文考証』に言及している（p.554）。与田はそれを誤解したのでであろう（B074・B107に収録されている風土記説話は全てB031に含まれることから、与田がB301に拠ったことがうかがわれる）。同様に北畠八穂も「しゃべる木 うたう木」（前半が近江の巨樹。後半は枯れ野）を記紀・風土記に取材した説話として載せる（B090）。やはり楠山に依拠したのでであろう（B090は1972年の刊行であるから、直接与田（B074）を用いた可能性もあるが、B090の「いなばの白うさぎ」はB074と違って因幡風土記による発端を伴う）。これに対して、丸山林平（B010）の「大樹」の章に含まれる二つの非風土記説話（「船木」・「御木国」）については、それらを風土記説話とした（あるいはそうと誤認しやすい）図書は明らかではない<sup>12)</sup>。久保喬（B050・B082）が「神と人」と題して載せた崇神記の説話についても同様である。小川こころ（B115・B116）の二つの非風土記説話（「びんぼう神」・「水の神の文使い」）は、説話の種類としては著名なものながら、そこに収録された設定での説話は、管見では典拠自体が不明であり、したがってネタ本も明らかではない（同書が載せる「恋山」は他にはB071にしか見られないが、B071には当然これらの非風土記説話は含まれていない）。

付記：本目録の作成にあたり、鳴門教育大学附属図書館を介して、あるいは直接、多くの図書館の蔵書を利用させていただいた。関係諸機関にお礼申し上げます。

#### 注

- 1) 本目録と関心の近いものとして田中（2007）・小櫃（2012）がある。ただし小櫃（2012）は、調査対象とした叢書が1960年までに刊行が始まったものに限られているだけでなく、日本児童文庫（アルス）や小学生全集（筑摩書房）など大部の叢書でも採録されていないものがある。また誤りも見られる（たとえば32（知識文庫）の『私たちの風土記』（読売新聞社婦人部編）は古風土記（の再話）ではなく近代風土記の一つである）。
- 2) ここでは、中学生程度までを読者として想定している図書を児童書と見なした。ただし児童劇の脚本は、それが掲載されている図書は児童書ではないことが多いが、児童に供されるためのものであると考えてここに含めた。雑誌内の作品は当面除外する。定期的に刊行される叢書的な図書は、巻・号が付されていても、それ独

自の題名をもっていれば図書と見なした。

- 3) 本稿の関心で言えば、たとえば講談社の「少年少女世界名作全集」(1960～)全50巻の第28巻(日本神話物語)が欠けている。
- 4) 相当な長さのある因幡の素ウサギ説話において、この些少な部分が含まれているだけで(たとえ作者が実際に因幡風土記を利用したとしても)風土記の再話と呼ぶべきか(呼びうるか)は疑問の余地がある。しかし作者が風土記を典拠として挙げていない作品について拘泥することは本稿では不要なため、この点も不問とする。
- 5) 小野田(1960)は栗田寛『古風土記逸文』・日本古典全書本・岩波文庫本・日本古典文学大系本・朝日日本古典全書本の5者の逸文採録を対照している。
- 6) たとえばA003では「餅の的」の作者が高野斑山であることを示す。
- 7) たとえばA003の「餅の的」の場合、作品の掲載ページはpp. 65～73であるが、pp. 66～73が豊後風土記総記、pp. 70～73が速見郡田野記事、を原拠としているので、この索引にはそのページ数のみを記載した。ただしそれが難しい場合には全体を指示した。
- 8) たとえば「文章は日本書紀・古事記・古語拾遺等から材料を採る」(A034, p. 1)。
- 9) たとえば「この本にはいっている「いなばの白うさぎ」ほか七編の物語は、すべて「古事記」の中から取材し、それをわたし流に童話として書きなおしたものであります」(A046, p. 178)。
- 10) たとえば「国引」に「古事記の中のお話」と注が付けられている(A028, p. 132)。
- 11) たとえばA007は蘇民将来譚を、『本朝神社考』を典拠として掲載する。
- 12) 「御木国」は景行紀18年7月の説話である。「船木」の内容は高木(1913, pp. 46～47)に等しい。もっとも、B010のなかで風土記説話を紹介した他の章(2～5・7・8)では全て典拠が国名も含む形で明示されているのに対して、「大樹」の章では風土記由来の「早鳥」「栄国」「行方の大櫓」を含めて典拠が全く記されていない。したがって丸山は「御木国」「船木」が風土記説話ではないと考えていた(ないしはそのように伝えようとした)と言えるかもしれない。しかしそれらが風土記説話でないことを明示していないだけでなく、第1章では「ここでお話ししようと思ふのは、太古から我が国民の間に語り伝えられた物語を集めた「風土記」といふ本にある面白いお話、それから、神様に申し上げた厳肅な「祝詞」のお話、それから奈良時代に出来た「万葉集」といふ歌の本にある面白いお話などである」(pp. 9～10)と述べている。9～11章が祝詞・古事記・万葉集由来であることを明示している以上、風土記説話に挟まれた「大樹」章が全て風土記説話であると見なされるのがむしろ当然であろう。

## 文 献

荊木美行『風土記逸文の文献学的研究』皇学館出版部 2002年

小野田光雄「風土記逸文一覧表」久松潜一『風土記 下』朝日新聞社 1960年 pp. 22～40

小櫃暢太郎 戦後期の児童日本文学全集における日本古典文学の「再話」目録。『立教大学大学院日本文学論叢』

12 2012年 pp. 102～141

立岡裕士 問題としての近代風土記：風土記愛研究のために。『鳴門教育大学研究紀要』31 2016年 pp. 233～247

立岡裕士 児童向けに再話された古風土記の特徴：子どもはどのような風土記を与えられたか。『教育実践学論集』18 印刷中

高木敏雄『日本伝説集』郷土研究社 1913年

田中千晶 児童向け『古事記』等作品目録＜近代編＞。『神戸常盤短期大学紀要』28 2007年 pp. 54～46

福田 晃『日本伝説大系(第8巻 北近畿編)』みずうみ書房 1988年



## 児童向けに再話された風土記記事（説話）を載せる図書目録

### A 典拠を明示しない図書

- A001 文部省（1904）『高等小学読本2』博文館  
A002 梅野勇（1906）『家庭夜話百題』霊文館  
A003 吉岡向陽・高野斑山（1909）『家庭お伽話第25篇黄金の鶏／樹上の少女』春陽堂  
A004 文部省（1910）『尋常小学読本』  
A005 巖谷小波（1912）『学校／家庭 教訓お伽噺（東洋之部）』博文館  
A005とA011とは風土記説話に関して同内容  
A006 桔梗郎（1912）『日本神代噺：歴史お伽』博多成象堂  
A007 巖谷小波（1913）『日本お伽文庫第3編素戔男尊』博文館  
A008 小笠原省三（1916）『日本神代物語』広文社出版部  
A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）『日本国民伝説』敬文館  
A010 文部省（1918）『尋常小学国語読本巻2』文部省  
A011 巖谷小波（1920）『教訓お伽夜話後編』博文館  
A005とA011とは風土記説話に関して同内容  
A012 補助教育研究会編（1923）『少年歴史物語 1』而立社  
A013 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1920）『標準お伽文庫日本伝説上 普及版』培風館  
B005の普及版であり、本文部分は同一であるが、巻末の解説を欠く  
A014 三川秀夫（1924）『鑑賞に立脚した国語読本劇化』東京出版  
A015 松村武雄（1924）『世界童話大系第16巻日本編 日本童話集』世界童話大系刊行会  
A102は復刻版  
A016 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1924）『標準お伽文庫日本神話 上巻』培風館  
B008の普及版であり、本文部分は同一であるが、巻末の解説を欠く  
A017 児童読物研究会（1925）『文芸読本』杉本書店  
A018 宮川菊芳（1925）『国後読本を戯曲化せる児童劇脚本』厚生閣書店  
A019 吉田助治（1926）『児童図書館叢書第16篇日本の神話』イデア書院  
A020 野口鶴（1926）『課外読本学級文庫神代の日本』ヨウネン社  
A021 巖谷小波（1926）『模範童話文庫3からいと草紙』文武堂  
A022 町田桜園（1927）『学校史劇 第2編』盛林堂書店  
A023 甲田正夫（1928）『世界童話叢書第12編日本童話集』金蘭社  
A024 日本童話研究会（1928）『カナオトギ文庫14うしわかとべんけい』九段書房  
A025 長谷山峻彦（1929）『続児童唱歌劇集』大正書院  
A026 木村小舟（1930）『日本国史物語 1（古代之巻）』博文館  
A027 斎田喬・信田秀一（1931）『教室劇集 低学年用』文化書房  
A028 北原白秋（1931）『白秋童謡読本 巻5』采文閣  
A029 文部省（1934）『尋常科用小学国語読本 巻3』文部省  
A030 吉田助治（1934）『童話の日本史2 宝の国（三韓交通時代の巻）』文仁會  
A031 文部省（1934）『尋常科用小学国語読本 巻4』文部省  
A032 童話研究会（1934）『為めになる二年生のお話』盛光社  
A033 三浦藤作（1934）『少年日本昔噺読本』大同館書店  
A034 鈴木健一（1935）『少年建国読本』立命館出版部  
A035 徳永寿美子（1937）『講談社の絵本48 舌切雀』講談社  
A036 尾竹国観（1939）『講談社の絵本第2巻第5号 日本よい国建国絵話』講談社  
A037 文部省（1941）『うたのほん下』大日本図書  
A038 文部省（1941）『よみかた3』日本書籍  
A039 文部省（1941）『よみかた4』文部省  
A040 小川未明（1943）『モウ ギキ 春ガ 来マス』アルス

- A041 北原白秋（1943）『国引』帝国教育会出版部  
 A042 各務虎雄（1943）『日本の神さま』弘学社  
 A043 堀田松三郎（1944）『びはの左大将』文祥社  
 A044 文部省（1946）『よみかた3（第2学年前期用第2分冊）』東京書籍  
 A045 文部省（1947）『こくご3 第2学年前期用』東京書籍  
 A046 大木雄二（1951）『世界名作童話全集32 いなばの白うさぎ：日本神話』講談社  
 A047 筒井敏雄（1954）『日本むかし噺』東光出版社  
 A048 二葉国語の本編修部（1955）『新編こくごの本2年2』二葉  
 A049 協阪景城（1955）『学習図書館文庫15 音・光・電気の図書館』日本出版社  
 A050 児童文学者協会（1955）『学年別・日本歴史逸話集歴史のひかり 一年生』実業之日本社  
 A051 大木雄二（1955）『講談社の絵本152おろち退治』講談社  
 A052 徳永寿美子（1957）『学年別・幼年文庫 二年13 たのしい神話とでんせつ 二年生』偕成社  
 A053 水藤春夫（1957）『ふるさと日本 一年生』実業之日本社  
 A054 徳永寿美子（1958）『学年別・幼年文庫 三年13たのしい神話とでんせつ 三年生』偕成社  
 A055 武者小路実篤・興水実・飛田多喜雄編（1958）『こくご2年上』二葉  
 A056 藤沢衛彦（1958）『少年少女名作ライブラリー 1 私たちの世界神話選』三十書房  
 A057 志賀直哉久松潜一吉田精一監修（1959）『わたしたちのこくご2年下』学校図書  
 A058 サトウハチロー（1960）『世界幼年文学全集27 にほんのしんわ』宝文館  
 A058・A067・A083は同一書  
 A059 石森延男ほか（1960）『小学新国語3年下』光村図書出版  
 A060 波多野完治ほか監修（1962）『世界童話名作文庫13古典編／イソップのお話 小さな神さま ほか』小学館  
 A061 阿貴良一（1963）『世界名作童話全集9 日本むかしばなし 日本古典』ポプラ社  
 A062 升川清雄（1964）『もちのまと』教育画劇  
 A063 坪田譲治亀井勝一郎池田弥三郎監修（1964）『新版標準こくご2年下』教育出版  
 A064 石森延男ほか（1964）『しょうがくしんこくご2年上』光村図書出版  
 A065 国分一太郎（1965）『はやとり』教育画劇  
 A066 藤沢衛彦（1965）『ジュニア版 世界の名作1 世界の神話 オリンポスの十二神・八またのオロチ』国土社  
 A067 サトウハチロー（1965）『世界のひらがな童話26にほんのしんわ』岩崎書店  
 A058・A067・A083は同一書  
 A068 与田準一（1966）『せかいのおはなし15いなばの白うさぎ：日本神話』講談社  
 A069 坪田譲治（1966）『日本古典童話全集10ふるさとの伝説（西日本編）』あかね書房  
 A070 与田準一・松谷みよ子（1966）『むかしむかし』童心社  
 A071 浜田広介（1966）『ふるさとのはなし7 近畿地方』さ・え・ら書房  
 A072 藤田みつ（1966）『かみさまのおはなし：にっぽんのしんわ4～8才用2 いずものかみさまのまき』教学研究社  
 A073 宮脇紀雄（1967）『ふるさとのはなし8 山陰地方』さ・え・ら書房  
 A074 藤沢衛彦（1967）『こども動物風土記4 いなばの白ウサギ』国土社  
 A075 坪田譲治ほか監修（1967）『新訂標準 こくご 2年下』教育出版  
 A076 円谷真護（1967）『ジュニア版 日本むかしむかし8 中国編』人物往来社  
 A077 与田準一・川崎大治（1967）『発生時代順 日本むかしむかし②とびさった白鳥』童心社  
 A078 石森延男ほか（1967）『しょうがくしんこくご2年上』光村図書出版  
 A079 那須田稔（1968）『日本標準の小学生文庫 2年第2集5 はやとり』日本標準テスト研究会図書出版部  
 A080 藤沢衛彦（1970）『世界民話の旅10日本の神話と伝説。』さ・え・ら書房  
 A081 西尾実監修（1971）『新版標準国語2年下』教育出版  
 A082 久保喬（1972）『こども絵文庫32いなばの白うさぎ（日本神話選）』偕成社  
 A083 サトウハチロー（1973）『世界の幼年童話にほんのしんわ』岩崎書店

A058・A067・A083は同一書

- A084 松谷みよ子・大川悦生（1973）『こどもの世界文学28つるのよめさま ほか』講談社  
 A085 角山勝義（1973）『民話の四季2』学校図書  
 A086 金剛由起子（1973）『母と子のおやすみ前の小さな童話－名作編－』三交社  
 A087 瀬川拓男・松谷みよ子（1973）『日本の民話3 神々の物語』角川書店  
 A098は文庫版  
 A088 西尾実監修（1974）『改訂標準国語2年下』教育出版  
 A089 秋晴二（1975）『ポケット絵本せかい童話図書館9 いなばのしろうさぎ 日本の神話』いずみ書房  
 A090 松谷みよ子（1975）『日本の伝説 下』講談社  
 A091 佐脇嘉久（1976）『やさしく書いた日本の神話』日本教文社  
 A092 サトウハチロー（1977）『幼年名作としょかん25にほんのしんわ』岩崎書店  
 A093 おのちゅうこう（1977）『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）14ふじさんとつくばさん』小学館  
 小学館「ピコリー絵本」の一冊（第4集40）としても刊行されているようであるが未確認  
 A094 おのちゅうこう（1977）『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）15ちいさなみさま』小学館  
 小学館「ピコリー絵本」の一冊（第4集42）としても刊行されているようであるが未確認  
 A095 おのちゅうこう（1977）『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）16あまのはごろも』小学館  
 小学館「ピコリー絵本」の一冊（第4集46）としても刊行されているようであるが未確認  
 A096 おのちゅうこう（1978）『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）21もちのまと』小学館  
 小学館「ピコリー絵本」の一冊（第4集41）としても刊行されているようであるが未確認  
 A097 大川悦生（1978）『偕成社文庫3068 日本の伝説（西日本編）』偕成社  
 A098 瀬川拓男・松谷みよ子・辺見じゅん（1981）『日本の民話3 神々の物語』角川書店  
 A087の文庫版  
 A099 角山勝義（1981）『学図の新しい民話シリーズ 民話の四季・冬の巻白い雲と黒い雲』学校図書  
 A100 堀尾青史（1984）『童心社の家庭版かみしばいいなばのしろうさぎ』童心社  
 A101 金剛由生子（1985）『（どろいむ叢書）母と子のおやすみ前の小さな童話・秋の巻』三交社  
 A102 松村武雄（1989）『世界童話大系第16巻日本編 日本童話集』名著普及会  
 A015は復刻版  
 A103 田島信元（2011）『こどもが眠るまえに読んであげたい 365のみじかいお話し』永岡書店  
 A104 大石初太郎ほか（1970）『新しい国語 2上』東京書籍  
 A105 大石初太郎ほか（1973）『新訂 新しい国語 2上』東京書籍

## B 典拠を明示している図書

- B001 渋川玄耳（1909）『日本神典 古事記晰』誠文堂書店  
 B002 萩野由之（1911）『少年日本歴史読本第2編大国主神』博文館  
 B003 岩田勝市（1912）『山陰道昔話』横山書店  
 B004 大西貞治（1918）『太古の神様の話』飛行社  
 B005 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1920）『標準於伽文庫日本伝説上』培風館  
 A013と本文部分は同一である  
 B006 楠山正雄（1921）『赤い鳥の本第8冊 苺の国』赤い鳥社  
 B006とB013とは同一書  
 B007 楠山正雄（1921）『日本童話宝玉集 上巻』富山房  
 B008 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1921）『標準於伽文庫日本神話 上巻』培風館  
 A016と本文部分は同一である  
 B009 三浦藤作（1935）『実演学校劇 尋二の巻』東洋図書  
 B010 丸山林平（1935）『少年大日本史9上古時代の文学』建設社  
 B011 三浦圭三（1936）『新聴方資料 標準日本名話集 物語の巻』白鳥社  
 B012 日本童話協会編（1936）『日本童話集』厚生閣

- B013 楠山正雄（1937）『赤い鳥叢書第5冊 苺の国』赤い鳥社  
B006とB013とは同一書
- B014 中西芳朗（1938）『神話美談』コドモ芸術学園
- B015 大木雄二（1938）『日本神話』金の星社
- B016 楠山正雄（1938）『巨人版・日本童話寶玉集』富山房
- B017 佐藤春夫（1941）『新日本少年少女文庫第12篇 日本文学選』新潮社
- B018 納富誠武（1942）『“皇国の肇め” 神代の巻』汎洋社
- B019 楠山正雄（1942）『日本神話英雄譚寶玉集第1冊 天の浮橋』富山房
- B020 楠山正雄（1942）『日本童話名作選集二人の少年と琴』新潮社
- B021 佐野保太郎（1943）『少国民日本文学神代の物語』小学館
- B022 斎藤清衛（1943）『青少年日本文学われらの日本文学』至文堂
- B023 瑞原伸彦（1943）『少国民神典 大国主神さま』会通社
- B024 楠山正雄（1947）『かぐや姫』金の星社
- B025 楠山正雄（1947）『少年文庫あんじゅ姫づし王丸』光文社
- B026 石田佐久馬（1949）『少年少女日本文学物語. 上』書芸社
- B027 楠山正雄（1949）『新版 日本童話寶玉集 下巻』童話春秋社
- B028 松村武雄（1949）『標準日本お伽噺寶玉集 第3巻 -かぐやひめ他4篇-』あかね書房
- B029 高島正恵（1949）『世界童話文庫別巻2 日本童話集. 美しい話の巻』潮文閣
- B030 石田佐久馬（1952）『ぼくたちの研究室私たちの日本文学』さ・え・ら書房
- B031 楠山正雄（1953）『新版 日本童話寶玉集 下巻 改訂版』同和春秋社
- B032 藤沢衛彦（1953）『日本伝承民俗童話全集6』河出書房
- B033 永積安明・大久保正太郎（1954）『日本児童文庫38日本古典名作選』アルス
- B034 片桐顕智ほか編（1954）『学年別 少年日本文学 1年生』実業之日本社  
B064は新装版
- B035 片桐顕智ほか編（1954）『学年別 少年日本文学 2年生』実業之日本社  
B065は新装版
- B036 片桐顕智ほか編（1954）『学年別 少年日本文学 3年生』実業之日本社  
B066は新装版
- B037 岡本良雄・阿貴良一（1955）『海をわたった白うさぎ』福音館書店
- B038 大木雄二（1955）『ひらかな日本神話』金の星社  
B038・B069・B088は同一書
- B039 水藤春夫（1955）『日本のこころ 2年生』小峰書店
- B040 久保喬（1955）『日本の神話. 2年生』宝文館
- B041 平塚武二（1956）『日本古典童話全集①あまの岩戸』小峰書店
- B042 日本児童文芸家協会（1956）『たのしい歴史童話1 やまたのおろち（神話・伝説時代）』ポプラ社
- B043 花岡大学（1957）『三年の学習文庫4 神話ものがたり』学習研究社
- B044 関敬吾（1957）『小学生全集92日本の神話』筑摩書房  
B067は新装版
- B045 吉田精一・福田清人（1957）『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり（1年生）』東西文明社
- B046 吉田精一・福田清人（1957）『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり（4年生）』東西文明社
- B047 菅忠道（1957）『おもしろい歴史ものがたり 1年生』大日本図書
- B048 菅忠道（1957）『おもしろい歴史ものがたり 2年生』大日本図書
- B049 徳永寿美子（1957）『学年別・幼年文庫 一年13たのしい神話とでんせつ 1年生』偕成社
- B050 久保喬（1957）『日本児童文庫8 日本神話物語』日本児童文庫刊行会
- B051 久保喬（1957）『なかよし絵文庫2 いなばの白うさぎ』偕成社
- B052 福田清人（1958）『日本史の光 1年生』あかね書房
- B053 神田秀夫（1958）『日本少年少女古典文学全集13風土記物語』弘文堂  
B053・B070・B076・B089は版組も含めて全く同一（B076のみ口絵あり）



- B054 西山敏夫（1958）『学年別・幼年文庫 一年17日本名作ものがたり 一年生』偕成社
- B055 三山進（1959）『中学生世界神話全集5日本の神話』宝文館
- B056 西山敏夫（1959）『学年別・幼年文庫 二年17日本名作ものがたり 二年生』偕成社
- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子編（1959）『世界児童文学全集 第14日本神話』あかね書房
- B058 浜田広介（1960）『少年少女世界文学全集45日本編 第1巻』講談社
- B059 坪田譲治（1960）『日本古典全集①神代の物語』あかね書房  
B058・B073は同一書
- B060 福田清人（1961）『少年少女世界名作全集28日本神話物語』講談社
- B061 福田清人（1961）『児童世界文学全集22日本神話物語集』偕成社
- B062 日本児童文芸家協会（1961）『たのしい日本歴史童話1やまたのおろち：神話・伝説時代』ポプラ社
- B063 佐藤春夫ほか編（1961）『日本童話宝玉選』小学館
- B064 片桐顕智ほか編（1962）『日本古典文学ものがたり 1年生』実業之日本社  
B034の新装版
- B065 片桐顕智ほか編（1962）『日本古典文学ものがたり 2年生』実業之日本社  
B035の新装版
- B066 片桐顕智ほか編（1962）『日本古典文学ものがたり 3年生』実業之日本社  
B036の新装版
- B067 関敬吾（1962）『新版小学生全集31日本の神話』筑摩書房  
B044の新装版
- B068 浜田広介（1963）『幼年世界童話文学全集12いなばの白うさぎ』集英社
- B069 大木雄二（1964）『ひらかな文庫14ひらかな日本神話』金の星社  
B038・B069・B088は同一書
- B070 神田秀夫（1964）『少年少女日本古典物語全集2風土記物語』岩崎書店  
B053・B070・B076・B089は版組も含めて全く同一（B076のみ口絵あり）
- B071 松下宗彦（1964）『私たちの日本古典文学16風土記・古代歌謡』さ・え・ら書房
- B072 花岡大学（1965）『ノアのはこ船 世界神話12か月』大阪教育図書
- B073 坪田譲治（1966）『日本古典童話全集①神代の物語』あかね書房  
B058・B073は同一書
- B074 与田準一（1966）『日本の古典童話1やまたのおろち＜古事記・風土記＞』小峰書店  
B074・B107同一書
- B075 川端康成ほか監修（1966）『少年少女世界の名作文学. 45日本編1 平家物語 今昔物語 土佐日記 太平記 雪舟 ほか』小学館
- B076 神田秀夫（1966）『私たちの日本古典文学選2風土記物語』岩崎書店  
B053・B070・B076・B089は版組も含めて全く同一（B076のみ口絵あり）
- B077 西山敏夫（1967）『ふるさとのはなし10九州・沖縄地方』さ・え・ら書房
- B078 坪田譲治・浜田広介・村上知行ほか（1967）『世界の名作図書館3日本神話／日本民話／東洋民話』講談社
- B079 土屋由岐雄（1968）『カラー版・世界の幼年文学（16）日本おとぎ話（日本説話集）』偕成社
- B080 松谷みよ子（1968）『日本の神話1』講談社  
B080・B093は同一書
- B081 松谷みよ子（1968）『日本の神話2』講談社  
B081・B094は同一書
- B082 久保喬（1968）『日本の名作・世界の名作40日本の神話』盛光社
- B083 よだじゅんいち（1969）『絵本むかしばなし4はごろも』国土社
- B084 樋口清之（1969）『日本の神話：ものがたり』主婦の友社
- B085 槇皓志（1969）『キンダーおはなしえほん第3集9はやとり』フレーベル館
- B086 坂本太郎・二反長半（1970）『日本の神話伝説3 天のはごろも』集英社
- B087 与田準一（1970）『こどもの古典①わたしの古事記 おおくにぬしの冒険』童心社

- B109は新装版
- B088 大木雄二（1970）『世界の幼年文庫 8 日本神話』金の星社  
B038・B069・B088は同一書
- B089 神田秀夫（1972）『日本古典物語全集 2 風土記物語』岩崎書店  
B053・B070・B076・B089は版組も含めて全く同一（B076のみ口絵あり）
- B090 北畠八穂（1972）『カラー版世界の名作 4 日本むかし話』ポプラ社
- B091 福田清人（1972）『全 1 冊版シリーズ日本の神話・世界の神話』実業之日本社
- B092 福田清人（1972）『文研児童読書館白鳥になったおもち』文研出版
- B093 松谷みよ子（1973）『松谷みよ子のむかしむかし 4 日本の神話 1』講談社  
B080・B093は同一書
- B094 松谷みよ子（1973）『松谷みよ子のむかしむかし 5 日本の神話 2』講談社  
B081・B094は同一書
- B095 宮沢章二（1975）『キンダーおはなしえほん 第 8 集 1 もちの まと』フレーベル館
- B096 名作選定委員会（1976）『ワイドカラー版 少年少女世界の名作 45 日本編 1』小学館
- B097 与田準一（1978）『学研おはなしえほん 第 9 巻 第 10 号 もちの まとー風土記より』学研
- B098 小島環礼（1983）『世界の神話 10 164／日本の神話』筑摩書房
- B099 間所ひさこ（1984）『学習版／世界名作童話全集別巻 3 日本の神話 やまたのおろち』小学館
- B100 花岡大学（1988）『NHK 放送台本 おはなしの森世界の神話 2』同朋社出版
- B101 山口ゆたか（1988）『バラ色のたまご』武蔵野書院
- B102 高橋健二・金田一春彦監修（1989）『日本おはなし名作全集第 6 巻 うらしまたろう』小学館
- B103 西野綾子（1989）『日本の神話⑤ちいさな神さま』ひくまの出版
- B104 萩原昌好（1990）『絵で見るたのしい古典 1 古事記・風土記』学習研究社
- B105 黛弘道監修（1990）『学参まんが 古事記・日本書紀ものがたり⑤風土記の世界』ぎょうせい
- B106 木村淳・戸室靖和（1995）『たのしいはなし全書 日本・アジア編』東陽出版
- B107 与田準一（1998）『はじめてであう日本の古典 1 古事記・風土記 やまたのおろち（新装改訂版.）』小峰書店  
B074・B107同一書
- B108 松谷みよ子（2001）『日本の神話』のら書店  
B080（B093）の新装版と称しているが、風土記を典拠とする説話のうち「異国の神アメノヒボコ」は A090・A087・A098所収のものであり、B080（B093）所収の「アメノヒボコ」ではない。
- B109 与田準一（2009）『わたしの古典古事記』童心社  
B087の新装版
- B110 松谷みよ子（2010）『決定版 心をそだてる 松谷みよ子の日本の神話』講談社
- B111 青山由紀編（2010）『光村の国語 はじめて出会う古典作品集 5 古事記・風土記・今昔物語・宇治拾遺物語・十訓抄・沙石集・御伽草子・伊曾保物語』光村教育図書
- B112 岡崎ひでたか（2011）『ゆかいな神さまスクナピコナのがまんくらべ』新日本出版
- B113 田中貴子監修（2012）『絵で見てわかるはじめての古典. 1 巻古事記・風土記』学研教育出版
- B114 ななじ眺（2014）『ねひめのときー根日女伝説×『パフェちっく！』』神戸新聞総合印刷
- B115 小川こころ（2016）『大人も子どもも読んで、聞かせて、楽しんで日本の神様のお話上』東京書店
- B116 小川こころ（2016）『大人も子どもも読んで、聞かせて、楽しんで日本の神様のお話下』東京書店

## 1 著者別目録

青山由紀

- 2010 B111 『光村の国語 はじめて出会う古典作品集 5 古事記・風土記・今昔物語・宇治拾遺物語・十訓抄・沙石集・御伽草子・伊曾保物語』 光村教育図書

秋晴二

- 1975 A089 『ポケット絵本せかい童話図書館 9 いなばのしろうさぎ 日本の神話』 いずみ書房

阿貴良一

- 1955 B037 『海をわたった白うさぎ』 福音館書店  
1963 A061 『世界名作童話全集 9 日本むかしばなし 日本古典』 ポプラ社

石田佐久馬

- 1949 B026 『少年少女日本文学物語. 上』 書芸社  
1952 B030 『ぼくたちの研究室私たちの日本文学』 さ・え・ら書房

岩田勝市

- 1912 B003 『山陰道昔話』 横山書店

巖谷小波

- 1912 A005 『学校／家庭 教訓お伽噺 (東洋之部)』 博文館  
1913 A007 『日本お伽文庫第 3 編素戔男尊』 博文館  
1920 A011 『教訓お伽夜話後編』 博文館  
1926 A021 『模範童話文庫 3 からいと草紙』 文武堂

上崎美恵子

- 1962 A060 『世界童話名作文庫13古典編／イソップのお話 小さな神さま ほか』 小学館

大川悦生

- 1987 A097 『偕成社文庫3068 日本の伝説 (西日本編)』 偕成社

大木雄二

- 1938 B015 『日本神話』 金の星社  
1951 A046 『世界名作童話全集32いなばの白うさぎ：日本神話』 講談社  
1955 A051 『講談社の絵本152おろち退治』 講談社  
1955 B038 『ひらかな日本神話』 金の星社  
1964 B069 『ひらかな文庫14ひらかな日本神話』 金の星社  
1970 B088 『世界の幼年文庫 8 日本神話』 金の星社

大西貞治

- 1918 B004 『太古の神様の話』 飛行社

岡崎ひでたか

- 2011 B112 『ゆかいな神さまスクナビコナのがまんくらべ』 新日本出版

小笠原省三

- 1916 A008 『日本神代物語』 広文社出版部

岡本良雄

1955 B037 『海をわたった白うさぎ』福音館書店

小川こころ

2016 B115 『大人も子どもも読んで、聞かせて、楽しんで日本の神様のお話上』東京書店

2016 B116 『大人も子どもも読んで、聞かせて、楽しんで日本の神様のお話下』東京書店

小川未明

1943 A040 『モウ ギキ 春ガ 来マス』アルス

大久保正太郎（おおくほしょうたろう）

1957 B047 『おもしろい歴史ものがたり 一年生』大日本図書

1957 B048 『おもしろい歴史ものがたり 二年生』大日本図書

おのちゅうこう

1977 A093 『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）14ふじさんとつくばさん』小学館

1977 A094 『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）15ちいさなみさま』小学館

1977 A095 『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）16あまのはごろも』小学館

1978 A096 『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ（神話編）21もちのまと』小学館

各務虎雄

1943 A042 『日本の神さま』弘学社

角山勝義

1973 A085 『民話の四季2』学校図書

1981 A099 『学図の新しい民話シリーズ 民話の四季・冬の巻白い雲と黒い雲』学校図書

神山裕一

1954 B034 『学年別 少年日本文学 1年生』実業之日本社

1954 B035 『学年別 少年日本文学 2年生』実業之日本社

1954 B036 『学年別 少年日本文学 3年生』実業之日本社

1962 B064 『日本古典文学ものがたり 1年生』実業之日本社

1962 B065 『日本古典文学ものがたり 2年生』実業之日本社

1962 B066 『日本古典文学ものがたり 3年生』実業之日本社

神田秀夫

1958 B053 『日本少年少女古典文学全集13風土記物語』弘文堂

1964 B070 『少年少女日本古典物語全集2 風土記物語』岩崎書店

1966 B076 『私たちの日本古典文学選2 風土記物語』岩崎書店

1972 B089 『日本古典物語全集2 風土記物語』岩崎書店

桔梗郎

1912 A006 『日本神代噺：歴史お伽』博多成象堂

北畠八穂

1972 B090 『カラー版世界の名作4 日本むかし話』ポプラ社

北原白秋



1931 A028 『白秋童謡読本 尋5』 采文閣

1943 A041 『国引』 帝国教育会出版部

木村小舟

1930 A026 『日本国史物語 1 (古代之巻)』 博文館

木村淳

1995 B106 『たのしいはなし全書 日本・アジア編』 東陽出版

楠山正雄

1921 B006 『赤い鳥の本第8冊 苺の国』 赤い鳥社

1921 B007 『日本童話宝玉集 上巻』 富山房

1937 B013 『赤い鳥叢書第5冊 苺の国』 赤い鳥社

1938 B016 『巨人版・日本童話寶玉集』 富山房

1942 B019 『日本神話英雄譚宝玉集第1冊 天の浮橋』 富山房

1942 B020 『日本童話名作選集二人の少年と琴』 新潮社

1947 B024 『かぐや姫』 金の星社

1947 B025 『少年文庫あんじゅ姫づし王丸』 光文社

1949 B027 『新版 日本童話宝玉集 下巻』 童話春秋社

1953 B031 『新版 日本童話宝玉集 下巻 改訂版』 同和春秋社

久保喬

1955 B040 『日本の神話. 2年生』 宝文館

1957 B050 『日本児童文庫8 日本神話物語』 日本児童文庫刊行会

1957 B051 『なかよし絵文庫2 いなばの白うさぎ』 偕成社

1968 B082 『日本の名作・世界の名作40 日本神話』 盛光社

1972 A082 『こども絵文庫32 いなばの白うさぎ (日本神話選)』 偕成社

倉島栄子

1976 B096 『ワイドカラー版 少年少女世界の名作45 日本編1』 小学館

こいで しょうご

1955 A050 『学年別・日本歴史逸話集 歴史のひかり 一年生』 実業之日本社

甲田正夫

1928 A023 『世界童話叢書第12編 日本童話集』 金蘭社

国分一太郎

1965 A065 『はやとり』 教育画劇

小島環礼

1983 B098 『世界の神話10164／日本の神話』 筑摩書房

金剛由生子

1973 A086 『母と子のおやすみ前の小さな童話－名作編－』 三交社

1985 A101 『(どりいむ叢書) 母と子のおやすみ前の小さな童話・秋の巻』 三交社

斎田喬

1931 A027 『教室劇集 低学年用』 文化書房

斎藤清衛

1943 B022 『青少年日本文学われらの日本文学』 至文堂

サトウハチロー

1960 A058 『世界幼年文学全集27にほんのしんわ』 宝文館

1965 A067 『世界のひらがな童話26にほんのしんわ』 岩崎書店

1973 A083 『世界の幼年童話にほんのしんわ』 岩崎書店

1977 A092 『幼年名作としょうかん25にほんのしんわ』 岩崎書店

佐藤春夫

1941 B017 『新日本少年少女文庫第12篇 日本文学選』 新潮社

1961 B063 『日本童話宝玉選』 小学館

佐野保太郎

1943 B021 『少国民日本文学神代の物語』 小学館

佐脇嘉久

1976 A091 『やさしく書いた日本の神話』 日本教文社

信田秀一

1931 A027 『教室劇集 低学年用』 文化書房

渋川玄耳

1909 B001 『日本神典 古事記噺』 誠文堂書店

鈴木健一

1935 A034 『少年建国読本』 立命館出版部

鈴木三重吉

1920 A013 『標準於伽文庫日本伝説上 普及版』 培風館

1920 B005 『標準於伽文庫日本伝説上』 培風館

1921 B008 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館

1924 A016 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館

関敬吾

1957 B044 『小学生全集92日本の神話』 筑摩書房

1962 B067 『新版小学生全集31日本の神話』 筑摩書房

高木敏雄

1917 A009 『日本国民伝説』 敬文館

高島正恵

1949 B029 『世界童話文庫別巻2 日本童話集 美しい話の巻』 潮文閣

高野斑山

1909 A003 『家庭お伽話第25篇黄金の鶏／樹上の少女』 春陽堂

田島信元

2011 A107 『こどもが眠るまえに読んであげたい 365のみじかいお話し』 永岡書店

土屋由岐雄

1968 B079 『カラー版・世界の幼年文学 (16) 日本おとぎ話 (日本説話集)』 偕成社

筒井敏雄

1954 A047 『日本むかし噺』 東光出版社

円谷真護

1967 A076 『ジュニア版 日本むかしむかし8 中国編』 人物往来社

坪田譲治

1959 B057 『世界児童文学全集 第14日本神話』 あかね書房

1960 B059 『日本古典全集①神代の物語』 あかね書房

1966 A069 『日本古典童話全集10ふるさとの伝説 (西日本編)』 あかね書房

1966 B073 『日本古典童話全集①神代の物語』 あかね書房

梅野勇

1906 A002 『家庭夜話百題』 霊文館

徳永寿美子

1937 A035 『講談社の絵本48舌切雀』 講談社

1957 A052 『学年別・幼年文庫 二年13たのしい神話とでんせつ 二年生』 偕成社

1957 B049 『学年別・幼年文庫 一年13たのしい神話とでんせつ 一年生』 偕成社

1958 A054 『学年別・幼年文庫 三年13たのしい神話とでんせつ 三年生』 偕成社

戸室靖和

1995 B106 『たのしいはなし全書 日本・アジア編』 東陽出版

中西芳朗

1938 B014 『神話美談』 コドモ芸術学園

那須田稔

1968 A079 『日本標準の小学生文庫 2年第2集5 はやとり』 日本標準テスト研究会図書出版部

ななじ眺

2014 B114 『ねひめのと きー根日女伝説×『パフェちっく!』』 神戸新聞総合印刷

西野綾子

1989 B103 『日本の神話⑤ちいさな神さま』 ひくまの出版

西山敏夫

1957 A053 『ふるさと日本 一年生』 実業之日本社

1958 B054 『学年別・幼年文庫 一年17日本名作ものがたり 一年生』 偕成社

1959 B056 『学年別・幼年文庫 二年17日本名作ものがたり 二年生』 偕成社

1967 B077 『ふるさとの はなし10九州・沖縄地方』 さ・え・ら書房

二反長半

1970 B086 『日本の神話伝説 3 天のはごろも』 集英社

納富誠武

1942 B018 『“皇国の肇め” 神代の巻』 汎洋社

野口鶴

1926 A020 『課外読本学級文庫神代の日本』 ヨウネン社

野村昇司

1990 B104 『絵で見るたのしい古典 1 古事記・風土記』 学習研究社

萩野由之

1911 B002 『少年日本歴史読本第 2 編大国主神』 博文館

萩原昌好

1990 B104 『絵で見るたのしい古典 1 古事記・風土記』 学習研究社

長谷山峻彦

1929 A025 『続児童唱歌劇集』 大正書院

花岡大学

1957 B043 『三年の学習文庫 4 神話ものがたり』 学習研究社

1965 B072 『ノアのはこ船 世界神話12か月』 大阪教育図書

1988 B100 『NHK 放送台本 おはなしの森世界の神話 2』 同朋社出版

浜田広介

1960 B058 『少年少女世界文学全集45日本編 第 1 巻』 講談社

1963 B068 『幼年世界童話文学全集12いなばの白うさぎ』 集英社

1966 A071 『ふるさとはなし 7 近畿地方』 さ・え・ら書房

1967 B078 『世界の名作図書館 3 日本神話／日本民話／東洋民話』 講談社

樋口清之

1969 B084 『日本の神話：ものがたり』 主婦の友社

平塚武二

1955 B039 『日本のこころ 二年生』 小峰書店

1956 B041 『日本古典童話全集①あまの岩戸』 小峰書店

福田清人

1957 B045 『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり (一年生)』 東西文明社

1957 B046 『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり (四年生)』 東西文明社

1958 B052 『日本史の光 1 年生』 あかね書房

1961 B060 『少年少女世界名作全集28日本神話物語』 講談社

1961 B061 『児童世界文学全集22日本神話物語集』 偕成社

1972 B091 『全 1 冊版シリーズ日本の神話・世界の神話』 実業之日本社

1972 B092 『文研児童読書館白鳥になったおもち』 文研出版



藤沢衛彦

- 1953 B032 『日本伝承民俗童話全集 6』 河出書房  
 1958 A056 『少年少女名作ライブラリー 1 私たちの世界神話選』 三十書房  
 1965 A066 『ジュニア版 世界の名作 1 世界の神話 オリンポスの十二神・八またのオロチ』 国土社  
 1967 A074 『こども動物風土記 4 いなばの白ウサギ』 国土社  
 1970 A080 『世界民話の旅10日本の神話と伝説.』 さ・え・ら書房

藤田みつ

- 1966 A072 『かみさまのおはなし：につぼんのしんわ 4～8才用 2 いずものかみさまのまき』 教学研究社

堀田松三郎

- 1944 A043 『びはの左大将』 文祥社

堀尾青史

- 1984 A100 『童心社の家庭版かみしばいいなばのしろうさぎ』 童心社

槇皓志

- 1969 B085 『キンダーおはなしえほん.3（9）国立国会図書館限定雑誌第3集9はやとり』 フレーベル館

升川清雄

- 1964 A062 『もちのまと』 教育画劇

益田勝美

- 1954 B033 『日本児童文庫38日本古典名作選』 アルス

町田桜園

- 1927 A022 『学校史劇 第2編』 盛林堂書店

松下宗彦

- 1964 B071 『私たちの日本古典文学16風土記・古代歌謡』 さ・え・ら書房

松谷みよ子

- 1968 B080 『日本の神話 1』 講談社  
 1968 B081 『日本の神話 2』 講談社  
 1973 A084 『こどもの世界文学28つるのよめさま ほか』 講談社  
 1973 A087 『日本の民話 3 神々の物語』 角川書店  
 1973 B093 『松谷みよ子のむかしむかし 4 日本の神話 1』 講談社  
 1973 B094 『松谷みよ子のむかしむかし 5 日本の神話 2』 講談社  
 1975 A090 『日本の伝説 下』 講談社  
 1981 A098 『日本の民話 3 神々の物語』 角川書店  
 2001 B108 『日本の神話』 のら書店  
 2010 B110 『決定版 心をそだてる 松谷みよ子の日本の神話』 講談社

松村武雄

- 1920 A013 『標準於伽文庫日本伝説上 普及版』 培風館  
 1920 B005 『標準於伽文庫日本伝説上』 培風館

- 1921 B008 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館  
1924 A016 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館  
1924 A015 『世界童話大系第16巻日本編 日本童話集』 世界童話大系刊行会  
1949 B028 『標準日本お伽噺宝玉集 第3巻 -かぐやひめ他4篇-』 あかね書房  
1989 A103 『世界童話大系第16巻日本編 日本童話集』 名著普及会

間所ひさこ

- 1984 B099 『学習版／世界名作童話全集別巻3. 日本の神話 やまたのおろち』 小学館

馬淵冷佑

- 1920 A013 『標準於伽文庫日本伝説上 普及版』 培風館  
1920 B005 『標準於伽文庫日本伝説上』 培風館  
1921 B008 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館  
1924 A016 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館

丸山林平

- 1935 B010 『少年大日本史 9 上古時代の文学』 建設社

三浦圭三

- 1936 B011 『新聴方資料 標準日本名話集 物語の巻』 白鳥社

三浦藤作

- 1934 A033 『少年日本昔噺読本』 大同館書店  
1935 B009 『実演学校劇 尋二の巻』 東洋図書

三川秀夫

- 1924 A014 『鑑賞に立脚した国語読本劇化』 東京出版

瑞原伸彦

- 1943 B023 『少国民神典 大国主神さま』 会通社

宮川菊芳

- 1925 A018 『国後読本を戯曲化せる児童劇脚本』 厚生閣書店

宮沢章二

- 1975 B095 『キンダーおはなしえほん 第8集1もちの まと』 フレーベル館

三山進

- 1959 B055 『中学生世界神話全集 5 日本の神話』 宝文館

宮脇紀雄

- 1967 A073 『ふるさとのはなし 8 山陰地方』 さ・え・ら書房

森林太郎

- 1920 A013 『標準於伽文庫日本伝説上 普及版』 培風館  
1920 B005 『標準於伽文庫日本伝説上』 培風館  
1921 B008 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館  
1924 A016 『標準於伽文庫日本神話 上巻』 培風館

文部省

- 1904 A001 『高等小学読本 2』 博文館  
 1910 A004 『尋常小学読本』  
 1918 A010 『尋常小学国語読本 卷 2』 文部省  
 1934 A029 『尋常科用小学国語読本 卷 3』 文部省  
 1934 A031 『尋常科用小学国語読本 卷 4』 文部省  
 1941 A037 『うたのほん下』 大日本図書  
 1941 A038 『よみかた 3』 日本書籍  
 1941 A039 『よみかた 4』 文部省  
 1946 A044 『よみかた 3 (第 2 学年前期用第 2 分冊)』 東京書籍  
 1947 A045 『こくご 3 第 2 学年前期用』 東京書籍

山口ゆたか

- 1988 B101 『バラ色のたまご』 武蔵野書院

吉田助治

- 1926 A019 『児童図書館叢書第16篇日本の神話』 イデア書院  
 1934 A030 『童話の日本史 2 宝の国 (三韓交通時代の巻)』 文仁會

吉田精一

- 1957 B045 『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり (一年生)』 東西文明社  
 1957 B046 『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり (四年生)』 東西文明社

与田準一 (よだじゅんいち)

- 1966 A068 『せかいのおはなし15いなばの白うさぎ：日本神話』 講談社  
 1966 B074 『日本の古典童話 1 やまたのおろち<古事記・風土記>』 小峰書店  
 1966 A070 『むかしむかし』 童心社  
 1967 A077 『発生時代順 日本むかしむかし②とびさった白鳥』 童心社  
 1969 B083 『絵本むかしばなし 4 はごろも』 国土社  
 1970 B087 『こどもの古典①わたしの古事記 おおくにぬしの冒険』 童心社  
 1978 B097 『学研おはなしえほん第 9 巻第10号もちのまとー風土記より』 学研  
 1998 B107 『はじめてであう日本の古典 1 古事記・風土記 やまたのおろち (新装改訂版.)』 小峰書店  
 2009 B109 『わたしの古典古事記』 童心社

脇阪景城

- 1955 A049 『学習図書館文庫15音・光・電気の図書館』 日本出版社

○執筆者不明

- 補助教育研究会 1923 A012 『少年歴史物語 1』 而立社  
 児童読物研究会 1925 A017 『文芸読本』 杉本書店  
 日本童話研究会 1928 A024 『カナオトギ文庫14うしわかとべんけい』 九段書房  
 童話研究会 1934 A032 『為めになる二年生のお話』 盛光社  
 日本童話協会編 1936 B012 『日本童話集』 厚生閣  
 尾竹国観 (画) 1939 A036 『講談社の絵本第 2 巻第 5 号日本よい国建国絵話』 講談社  
 二葉国語の本編修部 1955 A048 『新編こくごの本 2 年 2』 二葉  
 日本児童文芸家協会 1956 B042 『たのしい歴史童話 1 やまたのおろち (神話・伝説時代)』 ポプラ社  
 武者小路実篤・興水実・飛田多喜雄 1958 A055 『こくご 2 年上』 二葉

- 志賀直哉・久松潜一・吉田精一監修 1959 A057 『わたしたちのこくご2年下』 学校図書
- 石森延男ほか 1960 A059 『小学新国語3年下』 光村図書出版
- 日本児童文芸家協会 1961 B062 『たのしい日本歴史童話1 やまたのおろち：神話・伝説時代』 ポプラ社
- 坪田譲治・亀井勝一郎・池田弥三郎監修 1964 A063 『新版標準こくご2年下』 教育出版
- 石森延男ほか 1964 A064 『しょうがくしんこくご2年上』 光村図書出版
- 川端康成ほか監修 1966 B075 『少年少女世界の名作文学. 45日本編1 平家物語 今昔物語 土佐日記  
太平記 雪舟 ほか』 小学館
- 石森延男ほか 1967 A078 『しょうがくしんこくご2年上』 光村図書出版
- 坪田譲治ほか監修 1967 A075 『新訂標準 こくご 2年下』 教育出版
- 大石初太郎ほか 1970 A104 『新しい国語 2上』 東京書籍
- 西尾実監修 1971 A081 『新版標準国語2年下』 教育出版
- 大石初太郎ほか 1973 A105 『新訂 新しい国語 2上』 東京書籍
- 西尾実監修 1974 A088 『改訂標準国語2年下』 教育出版
- 高橋健二・金田一春彦監修 1989 B102 『日本おはなし名作全集第6巻 うらしまたろう』 小学館
- 黛弘道監修 1990 B105 『学参まんが 古事記・日本書紀ものがたり⑤風土記の世界』 ぎょうせい
- 田中貴子監修 2012 B113 『絵で見てわかるはじめての古典. 1巻古事記・風土記』 学研教育出版



## 索引第1部 書名索引

### A001 文部省（1904）『高等小学読本2』博文館

浦島子（25～28）： 丹後 水江浦島子（下296～305）

### A002 梅野勇（1906）『家庭夜話百題』霊文館

出雲の国引（76～78）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）

夢野の鹿（84～85）： 摂津 夢野（下160～161）

### A003 吉岡向陽・高野斑山（1909）『家庭お伽話第25篇 黄金の鶏／樹上の少女』春陽堂

餅の的（66～69 高野斑山）： 豊後 総記（下26～27）

餅の的（70～73 高野斑山）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

### A004 文部省（1910）『尋常小学読本』

モチノマト（33～36）： 豊後速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

### A005 巖谷小波（1912）『学校／家庭 教訓お伽噺（東洋之部）』博文館

因幡の白兎（10）： 因幡 白兎（下321～323）

蘇民将来（125～128）： 備後 蘇民将来（下341～342）

虹の衣（415～419）： 常陸 筑波郡（上26～27）

弟日姫子（462～465）： 肥前 松浦郡褶振峰（下81～82）

弟日姫子（465～468）： 肥前 松浦郡鏡の渡（下81）

真井の天女（500～505）： 丹後 比治（下302～306）

### A006 桔梗郎（1912）『日本神代噺歴史お伽』博多成象堂

国引（99～112）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）

因幡の白兎（112～113）： 因幡 白兎（下321～323）

### A007 巖谷小波（1913）『日本お伽文庫第3編 素戔男尊』博文館

蘇民将来（49～63）： 備後 蘇民将来（下341～342）

### A008 小笠原省三（1916）『日本神代物語』広文社出版部

因幡白兎（55）： 因幡 白兎（下321～323）

少彦名命（82）： 伊予 温泉（下356～359）

国引き（137～140）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）

天之日矛命（141～142）： 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）

### A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）『日本国民伝説』敬文館

国引き（38～41）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）

因幡の白兎（43）： 因幡 白兎（下321～323）

天之日矛命（56～57）： 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）

伊勢津彦（117～121）： 伊勢 国号（下193～195）

浦の嶋子（250～259）： 丹後 水江浦島子（下296～305）

毘売崎の鰐（270～271）： 出雲 意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）

夢野の鹿（306～308）： 摂津 夢野（下160～161）

餅白鳥と化る（314～315）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

晡時臥山の蛇（323～326）： 常陸 那賀郡晡時臥の山（上53～55）

丹後の天女（329～334）： 丹後 比治（下302～306）

処女松原（334～337）： 常陸 香島郡童子松原（上50～52）  
茅輪と疫病（337～339）： 備後 蘇民将来（下341～342）

A010 文部省（1918）『尋常小学国語読本巻2』文部省  
モチノマト（33～36）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

A011 巖谷小波（1920）『教訓お伽夜話 後編』博文館  
因幡の白兎（10）： 因幡 白兎（下321～323）  
蘇民将来（127～129）： 備後 蘇民将来（下341～342）  
虹の衣（406～410）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
弟日姫子（455～456）： 肥前 松浦郡鏡の渡（下81）  
弟日姫子（456～458）： 肥前 松浦郡褶振峰（下81～82）  
真井の天女（491～494）： 丹後 比治（下302～306）

A012 補助教育研究会編（1923）『少年歴史物語1』而立社  
少名毘古那神と御諸山の大神（207～211）： 播磨 神前郡壱岡（上404～405）

A013 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1920）『標準於伽文庫日本伝説上 普及版』培風館  
羽衣（109～132）： 丹後 比治（下302～306）

A014 三川秀夫（1924）『鑑賞に立脚した国語読本劇化』東京出版  
モチノマト（巻二ノ一四）（193～198）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

A015 松村武雄（1924）『世界童話大系 第16巻 日本編 日本童話集』世界童話大系刊行会  
賭（50～53）： 播磨 神前郡壱岡（上404～405）  
国引（55～62）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
因幡の白兎（81）： 因幡 白兎（下321～323）  
富士と筑波（143～144）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
蘇民将来と巨旦将来（144～146）： 備後 蘇民将来（下341～342）  
羽衣（376～382）： 近江 伊香小江（下264～265）  
宇治橋姫（527～531）： 山城 宇治橋姫（下139）

A016 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1924）『標準於伽文庫日本神話 上巻』培風館  
白兎（99）： 因幡 白兎（下321～323）  
賭（161～167）： 播磨 神前郡壱岡（上404～405）  
国引（175～195）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）

A017 児童読物研究会（1925）『文芸読本』（表紙に巻3）  
国引（53～56）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）

A018 宮川菊芳（1925）『国語読本を戯曲化せる児童劇脚本』厚生閣書店  
餅のまと（一幕）（31～42）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
白兎（一幕）（109）： 因幡 白兎（下321～323）

A019 吉田助治（1926）『児童図書館叢書第16篇 日本の神話』イデア書院  
蘇民将来（30～32）： 備後 蘇民将来（下341～342）  
国引（33～35）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
神風の伊勢の国（136～139）： 伊勢 国号（下193～195）

- 羽衣（236～240）： 駿河 三保松原（下235～236）  
 浦島子（241～248）： 丹後 水江浦島子（下296～305）
- A020 野口鶴（1926）『課外読本学級文庫 神代の日本』ヨウネン社  
 素戔鳴命（33～34）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 裸兔（36）： 因幡 白兔（下321～323）
- A021 巖谷小波（1926）『模範童話文庫 3 からいと草紙』文武堂  
 比治山の天女（125～138）： 丹後 比治（下302～306）
- A022 町田桜園（1927）『学校史劇 第2編』盛林堂書店  
 国引き（14～24）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 因幡の白兔（上）（25）： 因幡 白兔（下321～323）
- A023 甲田正夫（1928）『世界童話叢書 第12編 日本童話集』金蘭社因幡  
 大国主命の話（7）： 因幡 白兔（下321～323）  
 大国主命の話（25～26）： 伊予 温泉（下356～359）
- A024 日本童話研究会（1928）『カナオトギ文庫14 うしわかとべんけい』九段書房  
 いなばの兔（110）： 因幡 白兔（下321～323）
- A025 長谷山峻彦（1929）『続児童唱歌劇集』大正書院  
 奉祝国引（143～162）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）
- A026 木村小舟（1930）『日本国史物語 1 （古代之巻）』博文館  
 兎と鰐鯨（115～116）： 因幡 白兔（下321～323）
- A027 斎田喬・信田秀一（1931）『教室劇集 低学年用』文化書房  
 餅の的（108～114）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
- A028 北原白秋（1931）『白秋童謡読本 尋5』采文閣  
 国引（132～133）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）
- A029 文部省（1934）『尋常科用小学国語読本 巻3』文部省  
 国引き（30～35）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）
- A030 吉田助治（1934）『童話の日本史 2 寶の國（三韓交通時代の巻）』文仁會  
 赤い玉（36～37）： 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）  
 赤い玉（37）： 播磨 宍禾郡川音村（上399）  
 赤い玉（37）： 播磨 宍禾郡奪谷（上399～400）
- A031 文部省（1934）『尋常科用小学国語読本 巻4』文部省  
 早鳥（4～12）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A032 童話研究会（1934）『為めになる二年生のお話』盛光社  
 いなばの兔（71）： 因幡 白兔（下321～323）
- A033 三浦藤作（1934）『少年日本昔噺読本』大同館書店

兔とわに (206～207) : 因幡 白兎 (下321～323)

A034 鈴木健一 (1935)『少年建国読本』立命館出版部

臣津野命の国引 (173～174) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)

A035 徳永寿美子 (1937)『講談社の絵本48 舌切雀』講談社

餅の的 [ページ番号の記載なし] : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)

A036 尾竹国観 (1939)『講談社の絵本 第2巻第5号 日本よい国建国絵話』講談社

国ビキ (22～23) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)

A037 文部省 (1941)『うたのほん下』大日本図書

国引き (10～11) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)

A038 文部省 (1941)『よみかた3』日本書籍

国引き (12～15) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)

A039 文部省 (1941)『よみかた4』文部省

早鳥 (6～13) : 播磨 逸文明石駅家 (上425～426)

A040 小川未明 (1943)『モウ ズキ 春ガ 来マス』アルス

ハゴロモ モノガタリ (pp. 16・17の間) : 丹後 比治 (下302～306)

A041 北原白秋 (1943)『国引』帝国教育会出版部

国引 (97～99) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)

A042 各務虎雄 (1943)『日本の神さま』弘学社

くにびき (57～61) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)

A043 堀田松三郎 (1944)『びはの左大将』文祥社

きしまぶり (1～19) : 常陸 行方郡板来村 (上40～42)

かがみもちのまと (20～35) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)

語臣猪麿 (36～47) : 出雲 意宇郡安来郷毘売崎 (上129～130)

A044 文部省 (1946)『よみかた3 (第2学年前期用第2分冊)』東京書籍

早鳥 (23～25) : 播磨 逸文明石駅家 (上425～426)

A045 文部省 (1947)『こくご3 第2学年前期用』東京書籍

早鳥 (22～29) : 播磨 逸文明石駅家 (上425～426)

A046 大木雄二 (1951)『世界名作童話全集32 いなばの白うさぎ 日本神話』講談社

うさぎとわにのなまくらべ (69～70) : 因幡 白兎 (下321～323)

がまんくらべ (116～120) : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)

力くらべ (120～122) : 伊予 温泉 (下356～359)

A047 筒井敏雄 (1954)『日本むかし噺』東光出版社

いなばのうさぎ (451) : 因幡 白兎 (下321～323)



- A048 二葉国語の本編修部（1955）『新編こくごの本 2 年 2』二葉  
早鳥（18～26）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A049 脇阪景城（1955）『学習図書館文庫15 音・光・電気の図書館』日本出版社  
丸木船「はやとり」（113）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A050 児童文学者協会（1955）『学年別・日本歴史逸話集 歴史のひかり 一年生』実業之日本社  
しろうさぎーおおくにぬしの はなしー（11 こいで しょうご）： 因幡 白兎（下321～323）
- A051 大木雄二（1955）『講談社の絵本152 おろち退治』講談社  
[全編に分節なし]（42～43）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）
- A052 徳永寿美子（1957）『学年別・幼年文庫 二年13 たのしい神話とでんせつ 二年生』偕成社  
いなばの白うさぎ（26）： 因幡 白兎（下321～323）  
くにびき（47～61）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
あかい たま（93～97）： 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）
- A053 水藤春夫（1957）『ふるさと日本 一年生』実業之日本社  
もちのまと（14～18 西山敏夫）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
- A054 徳永寿美子（1958）『学年別・幼年文庫 三年13 たのしい神話とでんせつ 三年生』偕成社  
どちらがかつか（46～47）・空をとんで（48～50）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）
- A055 武者小路実篤・興水実・飛田多喜雄編（1958）『こくご 2 年上』二葉  
はやとり（12～20）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A056 藤沢衛彦（1958）『少年少女名作ライブラリー 1 私たちの世界神話選』三十書房  
いなばの白ウサギ（33）： 因幡 白兎（下321～323）
- A057 志賀直哉久松潜一吉田精一監修（1959）『わたしたちのこくご 2 年下』学校図書  
はやとり（112～119）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A058 サトウハチロー（1960）『世界幼年文学全集27 にほんのしんわ』宝文館  
うみから きた かみさま（107～110）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
くにびき（136～140）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）
- A059 石森延男ほか（1960）『小学新国語 3 年下』光村図書出版  
はやとり（34～45）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A060 波多野完治（1962）『世界童話名作文庫13 古典編／イソップのお話 小さな神さま ほか』小学館  
おくすりの神さま（195～199 上崎美恵子）：伊予 温泉（下356～359）  
おくすりの神さま・あわの ほ（200～208 上崎美恵子）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）
- A061 阿貴良一（1963）『世界名作童話全集 9 日本むかしばなし 日本古典』ポプラ社  
わにぎめの せに のって（91～96）：因幡 白兎（下321～323）  
ぼんと はねた あわの くき（138～148）：播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
国ひき 国づくり（144～155）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）

- A062 升川清雄（1964）『もちのまと』教育画劇  
[全]： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
- A063 坪田譲治・亀井勝一郎・池田弥三郎監修（1964）『新版標準こくご2年下』教育出版  
はやとり（38～47）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A064 石森延男ほか（1964）『しょうがくしんこくご2年上』光村図書出版  
はやとり（108～118）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A065 国分一太郎（1965）『はやとり』教育画劇  
[全]： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- A066 藤沢衛彦（1965）『ジュニア版 世界の名作1 世界の神話 オリンポスの十二神・八またのオロチ』国土社  
いなばの白うさぎ（33）： 因幡 白兎（下321～323）
- A067 サトウハチロー（1965）『世界のひらがな童話26 にほんのしんわ』岩崎書店  
くにびき（136～140）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
うみから きた かみさま（107～110）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）
- A068 与田準一（1966）『せかいのおはなし15 いなばの白うさぎ 日本神話』講談社  
はなれこじまへ ながされて（6～11）： 因幡 白兎（下321～323）
- A069 坪田譲治（1966）『日本古典童話全集10 ふるさとの伝説（西日本編）』あかね書房  
比治の里の天女（京都府）（183～190）： 丹後 比治（下302～306）
- A070 与田準一・松谷みよ子（1966）『むかしむかし』童心社  
はごろも（36～39 与田準一）： 近江 伊香小江（下264～265）  
もちのまと（40～41 与田準一）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
うらしま（42～46 与田準一）： 丹後 水江浦島子（下296～305）
- A071 浜田広介（1966）『ふるさとのはなし7 近畿地方』さ・え・ら書房  
天の羽衣（22～33）： 近江 伊香小江（下264～265）
- A072 藤田みつ（1966）『かみさまのおはなし にっぽんのしんわ4～8才用 2いずものかみさまのまき』教学研究社  
くにびき（20～25）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
いなばの うさぎ（一）（26～29）： 因幡 白兎（下321～323）  
ちいさい かみさま（二）（86～88）： 伊予 温泉（下356～359）  
ちいさい かみさま（三）・かけくらべ（91～97）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）
- A073 宮脇紀雄（1967）『ふるさとのはなし8 山陰地方』さ・え・ら書房  
国引きの話（241～245）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）
- A074 藤沢衛彦（1967）『こども動物風土記4 いなばの白ウサギ』国土社  
いなばの白ウサギ（148）： 因幡 白兎（下321～323）
- A075 坪田譲治ほか監修（1967）『新訂標準 こくご 2年下』教育出版

- はやり (82~91) : 播磨 逸文明石駅家 (上425~426)
- A076 円谷真護 (1967)『ジュニア版 日本むかしむかし 8 中国編』人物往来社  
島をひっぱった神さま (22~24) : 出雲 意宇郡総記 (上125~127)
- A077 与田準一・川崎大治 (1967)『発生時代順 日本むかしむかし② とびさった白鳥』童心社  
がまんくらべ (16~21 堀尾青史) : 播磨 神前郡聖岡 (上404~405)  
伊吹山はかんしゃく山 (34~37 堀尾青史) : 近江 竹生島 (下265~266)  
富士の山と 筑波の山 (38~44 来栖良夫) : 常陸 筑波郡 (上26~27)  
神さまより つよい男 (62~66 来栖良夫) : 常陸 行方郡提賀里 (上37~39)  
白い鳥 (75~79 来栖良夫) : 常陸 香島郡白鳥里 (上52)  
はまの 二本松 (151~154 来栖良夫) : 常陸 香島郡童子松原 (上50~52)
- A078 石森延男ほか (1967)『しょうがくしんこくご2年上』光村図書出版  
はやり (107~117) : 播磨 逸文明石駅家 (上425~426)
- A079 那須田稔 (1968)『日本標準の小学生文庫 2年第2集5 はやり』日本標準テスト研究会図書出版部  
[全] : 播磨 逸文明石駅家 (上425~426)
- A080 藤沢衛彦 (1970)『世界民話の旅10 日本の神話と伝説.』さ・え・ら書房  
因幡の白ウサギ (258~259) : 因幡 ウサギ (下321~323)
- A081 西尾実監修 (1971)『新版標準国語2年下』教育出版  
はやり (48~55) : 播磨 逸文明石駅家 (上425~426)
- A082 久保喬 (1972)『こども絵文庫32 いなばの白うさぎ (日本神話選)』偕成社  
うみをわたって (14~22) : 因幡 白兔 (下321~323)  
しまよこい (88~101) : 出雲 意宇郡総記 (上125~127)
- A083 サトウハチロー (1973)『世界の幼年童話 にほんのしんわ』岩崎書店  
くにびき (136~140) : 出雲 意宇郡総記 (上125~127)  
うみから きた かみさま (107~110) : 播磨 神前郡聖岡 (上404~405)
- A084 松谷みよ子・大川悦生 (1973)『こどもの世界文学28 つるのよめさま ほか』講談社  
白鳥の里 (86~89 松谷みよ子) : 常陸 香島郡白鳥里 (上52)
- A085 角山勝義 (1973)『民話の四季2』学校図書  
もちのまと (301~305) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)
- A086 金剛由起子 (1973)『母と子のおやすみ前の小さな童話 - 名作編 -』三交社  
もちのまと (210~214) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)
- A087 瀬川拓男・松谷みよ子 (1973)『日本の民話3 神々の物語』角川書店  
白うさぎとオオナムジ (67~71 松谷みよ子) : 因幡 白兔 (下321~323)  
異国の神アメノヒボコ (81~82 松谷みよ子) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389~390)  
異国の神アメノヒボコ (82 松谷みよ子) : 播磨 宍禾郡奪谷 (上399~400)  
異国の神アメノヒボコ (82~83 松谷みよ子) : 播磨 宍禾郡御方里 (上403)

- A088 西尾実監修 (1974)『改訂標準国語2年下』教育出版  
はやとり (48～55) : 播磨 逸文明石駅家 (上425～426)
- A089 秋晴二 (1975)『ポケット絵本せかい童話図書館9 いなばのしろうさぎ 日本の神話』いずみ書房  
[全編に分節なし] (26～29) : 因幡 白兔 (下321～323)
- A090 松谷みよ子 (1975)『日本の伝説 下』講談社  
異国の神アメノヒボコ (217～218) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389～390)  
異国の神アメノヒボコ (218) : 播磨 宍禾郡奪谷 (上399～400)  
異国の神アメノヒボコ (218～219) : 播磨 宍禾郡御方里 (上403)  
白うさぎとオオナムジ (225～226) : 因幡 白兔 (下321～323)
- A091 佐脇嘉久 (1976)『やさしく書いた日本の神話』日本教文社  
いなばの白うさぎ (72～73) : 因幡 白兔 (下321～323)  
すくなびこな神の助け (91～96) : 伊予 温泉 (下356～359)  
国ひき (97～99) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)
- A092 サトウハチロー (1977)『幼年名作としょかん25 にほんのしんわ』  
くにびき (136～140) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)  
うみから きた かみさま (107～110) : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)
- A093 おのちゅうこう (1977)『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ (神話編) 14 ふじさんとつくばさん』小学館  
[全] : 常陸 筑波郡 (上26～27)
- A094 おのちゅうこう (1977)『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ (神話編) 15 ちいさなかみさま』小学館  
(18～22) : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)
- A095 おのちゅうこう (1977)『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ (神話編) 16 あまのはごろも』小学館  
[全] : 近江 伊香小江 (下264～265)
- A096 おのちゅうこう (1978)『小学館版日本のむかし話絵本シリーズ (神話編) 21 もちのまと』小学館  
(5～11) : 豊後 総記 (下26～27)  
[全] : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)
- A097 大川悦生 (1978)『偕成社文庫3068 日本の伝説 (西日本編)』偕成社  
比治の里の天女 (161～168) : 丹後 比治 (下302～306)
- A098 瀬川拓男・松谷みよ子・辺見じゅん (1981)『日本の民話3 神々の物語』角川書店  
白うさぎとオオナムジ (82～83 松谷みよ子) : 因幡 白兔 (下321～323)  
異国の神アメノヒボコ (97～98 松谷みよ子) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389～390)  
異国の神アメノヒボコ (98 松谷みよ子) : 播磨 宍禾郡奪谷 (上399～400)  
異国の神アメノヒボコ (99 松谷みよ子) : 播磨 宍禾郡御方里 (上403)
- A099 角山勝義 (1981)『学図の新しい民話シリーズ 民話の四季・冬の巻 白い雲と黒い雲』学校図書  
もちのまと (111～115) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)

- A100 堀尾青史（1984）『童心社の家庭版かみしばい いなばのしろうさぎ』童心社  
 [1枚目] : 因幡 白兔（下321～323）
- A101 金剛由生子（1985）『(どりいむ叢書) 母と子のおやすみ前の小さな童話・秋の巻』三交社  
 もちのまと（92～96） : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
- A102 松村武雄（1989）『世界童話大系第16巻日本編 日本童話集』名著普及会  
 賭（50～53） : 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 国引（55～62） : 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 因幡の白兔（81） : 因幡 白兔（下321～323）  
 富士と筑波（143～144） : 常陸 筑波郡（上26～27）  
 蘇民将来と巨旦将来（144～146） : 備後 蘇民将来（下341～342）  
 羽衣（376～382） : 近江 伊香小江（下264～265）  
 宇治橋姫（527～531） : 山城 宇治橋姫（下139）
- A103 田島信元（2011）『こどもが眠るまえに読んであげたい 365のみじかいお話し』永岡書店  
 因幡のウサギ（69） : 因幡 白兔（下321～323）  
 天の羽衣（214） : 近江 伊香小江（下264～265）
- B001 渋川玄耳（1909）『日本神典 古事記噺』誠文堂書店  
 国引（60～62） : 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 裸兔（66） : 因幡 白兔（下321～323）
- B002 萩野由之（1911）『少年日本歴史読本第2編大国主神』博文館  
 国引（1～11） : 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 因幡の白兔（11） : 因幡 白兔（下321～323）  
 天日槍（80～84） : 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）  
 天日槍（83） : 播磨 神前郡多駝里糠岡（上407）  
 天日槍（83～84） : 播磨 宍粟郡奪谷（上399～400）
- B003 岩田勝市（1912）『山陰道昔話』横山書店  
 国引（1） : 丹後 天橋立（下295）  
 国引（2～4） : 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 比沼山の天女（5～12） : 丹後 比治（下302～306）  
 兎と鰐（41） : 因幡 白兔（下321～323）
- B004 大西貞治（1918）『太古の神様の話』飛行社  
 国引きの話（73～76） : 出雲 意宇郡総記（上125～127）
- B005 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1920）『標準於伽文庫日本伝説上』培風館  
 羽衣（109～132） : 丹後 比治（下302～306）
- B006 楠山正雄（1921）『赤い鳥の本第8冊 苺の国』赤い鳥社  
 白い鳥（1～26） : 近江 伊香小江（下264～265）  
 白い鳥（1～26） : 丹後 比治（下302～306）
- B007 楠山正雄（1921）『日本童話宝玉集 上巻』富山房  
 国引き（39～42） : 出雲 意宇郡総記（上125～127）



白兔（47）：	因幡	白兔（下321～323）
賭（68～71）：	播磨	神前郡聖岡（上404～405）
粟の穂（71）：	伊予	温泉（下356～359）
白い鳥（407～415）：	近江	伊香小江（下264～265）
赤い玉（419～420）：	播磨	揖保郡揖保里（上389～390）
夢占（428～431）：	摂津	夢野（下160～161）
富士の山と筑波の山（611～613）：	常陸	筑波郡（上26～27）

B008 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1921）『標準於伽文庫日本神話 上巻』培風館

白兔（99）：	因幡	白兔（下321～323）
賭（161～167）：	播磨	神前郡聖岡（上404～405）
国引（175～195）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）

B009 三浦藤作（1935）『実演学校劇 尋二の巻』東洋図書

国びき（68～80）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
-------------	----	-----------------

B010 丸山林平（1935）『少年大日本史 9 上古時代の文学』建設社

国引（10～17）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
浦島（17～32）：	丹後	水江浦島子（下296～305）
余呉湖（32～38）：	近江	伊香小江（下264～265）
奈具社（38～43）：	丹後	奈具社（下302～306）
三保の松原（43～45）：	駿河	三保松原（下235～236）
豊後の玖珠郡の物語（48～53）：	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
伊奈利社（53～54）鳥部の里（55）：	山城	南鳥部里・伊奈利社（下140・141）
餅の的（55～57）：	豊後	総記（下26～27）
早鳥（58～63）：	播磨	逸文明石駅家（上425～426）
栄国（66～67）：	肥前	佐嘉郡総記 1（下78）
行方の大櫓（67）：	常陸	行方郡郡家（上36～37）
蘇民将来（71～78）：	備後	蘇民将来（下341～342）
蘇民将来（解説 78）：	常陸	筑波郡（上26～27）
夢野の鹿（79～82）：	摂津	夢野（下160～161）
船木（63～65）：	風土記外	
御木国（65～66）：	風土記外（景行紀）	

B011 三浦圭三（1936）『新聴方資料 標準日本名話集 物語の巻』白鳥社

蘇民将来（12～14）：	備後	蘇民将来（下341～342）
伊香の小江（193～207）：	近江	伊香小江（下264～265）

B012 日本童話協会編（1936）『日本童話集』厚生閣

白い鳥（1～26 楠山正雄）：	丹後	奈具社（下302～306）
白い鳥（357～369 楠山正雄）：	近江	伊香小江（下264～265）

B013 楠山正雄（1937）『赤い鳥叢書第5冊 苺の国』赤い鳥社

白い鳥（1～26）：	近江	伊香小江（下264～265）
白い鳥（1～26）：	丹後	奈具社（下302～306）

B014 中西芳朗（1938）『神話美談』コドモ芸術学園

素戔鳴尊の国土経営（90）：	出雲	意宇郡安来郷由来譚（上128～129）
----------------	----	---------------------

国引き（228～235）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
がまん競べ（236～247）：	播磨	神前郡聖岡（上404～405）
みたま石（248～250）：	伊予	温泉（下356～359）

B015 大木雄二（1938）『日本神話』金の星社

国引き（74～84）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
因幡の白兎（88～90）：	因幡	白兎（下321～323）
がまんくらべ（136～141）：	播磨	神前郡聖岡（上404～405）
力くらべ（142～145）：	伊予	温泉（下356～359）

B016 楠山正雄（1938）『巨人版・日本童話寶玉集』富山房

赤い玉（242～243）：	播磨	揖保郡揖保里（上389～390）
夢占（249～251）：	摂津	夢野（下160～161）
白い鳥（256～263）：	近江	伊香小江（下264～265）
富士の山と筑波の山（430～431）：	常陸	筑波郡（上26～27）

B017 佐藤春夫（1941）『新日本少年少女文庫第12篇 日本文学選』新潮社

枯野と速鳥（21）：	伊豆	造船（下243）
枯野と速鳥（21～22）：	播磨	逸文明石駅家（上425～426）
国引きの話（23～26）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
毘売崎の鰐（26～28）：	出雲	意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）
迷子になった天女（28～32）：	丹後	奈具社（下302～306）

B018 納富誠武（1942）『“皇国の肇め” 神代の巻』汎洋社

国引（58～64）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
因幡の白兎（67～68）：	因幡	白兎（下321～323）

B019 楠山正雄（1942）『日本神話英雄譚寶玉集第1冊 天の浮橋』富山房

国ひき（58～63）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
賭（104～108）：	播磨	神前郡聖岡（上404～405）
粟の穂（108～109）：	伊予	温泉（下356～359）
神風の伊勢國（199～202）：	伊勢	国号（下193～195）

B020 楠山正雄（1942）『日本童話名作選集 二人の少年と琴』新潮社

白い鳥（213～236）：	近江	伊香小江（下264～265）
白い鳥（213～236）：	丹後	奈具社（下302～306）

B021 佐野保太郎（1943）『少国民日本文学 神代の物語』小学館

国引きの神様（68～73）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
因幡の白兎（74～75）：	因幡	白兎（下321～323）

B022 斎藤清衛（1943）『青少年日本文学われらの日本文学』至文堂

意宇郡（17～20）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
-------------	----	-----------------

B023 瑞原伸彦（1943）『少国民神典 大国主神さま』会通社

国引（16～23）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
山の白兎（25）：	因幡	白兎（下321～323）
葦原中つ国（110～111）：	播磨	揖保郡揖保里（上389～390）

葦原中つ国（124）：	播磨	飾磨郡枚野里宮丘（上367～368）
葦原中つ国（124）：	播磨	揖保郡稲種山（上379）
葦原中つ国（124）：	播磨	神前郡多駝里糠岡（上407）
葦原中つ国（126～127）：	播磨	神前郡壱岡（上404～405）

## B024 楠山正雄（1947）『かぐや姫』金の星社

ふじの山つくばの山（21～24）：	常陸	筑波郡（上26～27）
-------------------	----	-------------

## B025 楠山正雄（1947）『少年文庫あんじゅ姫づし王丸』光文社

白い鳥（117～127）：	近江	伊香小江（下264～265）
---------------	----	----------------

## B026 石田佐久馬（1949）『少年少女日本文学物語．上』書芸社

国引きの話（37～39）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
三津の里（39～40）：	出雲	仁多郡三津郷（上208～209）
船の丘（40～41）：	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか（上364～365）
みかつき原（41～42）：	播磨	讃容郡弥加都岐原（上396～397）
はに岡（42～43）：	播磨	神前郡壱岡（上404～405）
火の国（43～44）：	肥前	総記2（景行）（下68～70）
ひれふる峯（44～45）：	肥前	松浦郡褶振峰（下81～82）

## B027 楠山正雄（1949）『新版 日本童話宝玉集 下巻』童話春秋社

いなばのうさぎ（7）：	因幡	白兎（下321～323）
ふじの山つくばのやま（61～63）：	常陸	筑波郡（上26～27）
蘇民将来巨旦将来（63～66）：	備後	蘇民将来（下341～342）
赤い玉（70～71）：	播磨	揖保郡揖保里（上389～390）
夢占（88～91）：	摂津	夢野（下160～161）
天の羽衣（92～102）：	近江	伊香小江（下264～265）
白いもち白い鳥（110～112）：	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
白いもち白い鳥（112）：	山城	南鳥部里・伊奈利社（下140・141）
白いもち白い鳥3（112～114）：	豊後	総記（下26～27）
話す木（84～87）		

## B028 松村武雄（1949）『標準日本お伽噺宝玉集 第3巻 -かぐやひめ他4篇-』あかね書房

はごろも（67～84）：	近江	伊香小江（下264～265）
--------------	----	----------------

## B029 高島正恵（1949）『世界童話文庫別巻2 日本童話集．美しい話の巻』潮文閣

浦島太郎（29～34）：	丹後	水江浦島子（下296～305）出典は「書紀・釈日本紀・万葉集など」。 風土記に言及せず
天の羽衣（一）（44～45）：	近江	伊香小江（下264～265）
天の羽衣（二）（45～47）：	丹後	奈具社（下302～306）
天の羽衣（三）（47～48）：	三保松原	（下235～236）出典は神社考

## B030 石田佐久馬（1952）『ぼくたちの研究室私たちの日本文学』さ・え・ら書房

国引きの話（45～47）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
三津の里（47～49）：	出雲	仁多郡三津郷（上208～209）
船の丘（49）：	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか（上364～365）
みかつき原（50）：	播磨	讃容郡弥加都岐原（上396～397）
はに岡（50～52）：	播磨	神前郡壱岡（上404～405）

- 火の国（52～53）： 肥前 総記 2（景行）（下68～70）  
 ひれふる峯（53～54）： 肥前 松浦郡褶振峰（下81～82）
- B031 楠山正雄（1953）『新版 日本童話宝玉集 下巻 改訂版』同和春秋社  
 いなばのうさぎ（17）： 因幡 白兎（下321～323）  
 ふじの山つくばのやま（61～63）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
 蘇民将来巨旦将来（63～66）： 備後 蘇民将来（下341～342）  
 赤い玉（70～75）： 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）  
 夢占（88～91）： 摂津 夢野（下160～161）  
 天の羽衣（92～102）： 近江 伊香小江（下264～265）  
 白いもち白い鳥（110～112）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
 白いもち白い鳥（112）： 山城 南鳥部里・伊奈利社（下140・141）  
 白いもち白い鳥3（112～114）： 豊後 総記（下26～27）
- B032 藤沢衛彦（1953）『日本伝承民俗童話全集 6』河出書房  
 いなばのあかはだウサギ（46～47）： 因幡 白兎（下321～323）
- B033 永積安明・大久保正太郎（1954）『日本児童文庫38 日本古典名作選』アルス  
 がんばりきょうそう（31～33）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 シカのやくそく（33～34）： 豊後 速見郡頸の峯（下37～38）  
 はりまの鳥たち（34～38）： 播磨 託賀郡黒田里大羅野（上411）  
 人がつくったおか（38～39）： 肥前 神埼郡琴木岡（下77～78）  
 しょうじきなわたしもり（39～41）： 播磨 賀古郡（上354～359）
- B034 片桐顕智ほか編（1954）『学年別 少年日本文学 1年生』実業之日本社  
 かみさまの なみだ（15～17 神山裕一）： 播磨 揖保郡神島（上387）  
 がまんくらべ（18～20 神山裕一）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 ふじと つくば（21～24 神山裕一）： 常陸 筑波郡（上26～27）
- B035 片桐顕智ほか編（1954）『学年別 少年日本文学 2年生』実業之日本社  
 かわいそうな てんにょ（15～22 神山裕一）： 丹後 奈具社（下302～306）  
 みずのえのうらの しまこ（23～38 神山裕一）： 丹後 水江浦島子（下296～305）
- B036 片桐顕智ほか編（1954）『日本古典文学ものがたり 3年生』実業之日本社  
 へびの神（117～119 神山裕一）： 常陸 行方郡提賀里（上37～39）  
 天皇と わたしもり（120～122 神山裕一）： 播磨 賀古郡（上354～359）
- B037 岡本良雄・阿貴良一（1955）『海をわたった白うさぎ』福音館書店  
 ワニザメのせにのって（88～89）： 因幡 白兎（下321～323）  
 ふたりのきょうそう（151～155）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 国引き（159～172）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 ふじの山とつくばの山（255～261）： 常陸 筑波郡（上26～27）
- B038 大木雄二（1955）『ひらかな日本神話』金の星社  
 いなばのしろうさぎ（71）： 因幡 白兎（下321～323）  
 がまんくらべ（107～109）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 ちからくらべ（109～113）： 伊予 温泉（下356～359）
- B039 水藤春夫（1955）『日本のこころ 二年生』小峰書店

くにびき（193～198 平塚武二）：出雲 意宇郡総記（上125～127）

B040 久保喬（1955）『日本の神話 2年生』宝文館

山のかみさま（65～72）：常陸 筑波郡（上26～27）  
 白いとり子どもたち（73～86）：常陸 香島郡白鳥里（上52）  
 おにと いしの かがみ（87～94）：常陸 久慈郡河内里（上56）  
 もちのまと（95～106）：豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
 つなひき（142～148）：出雲 意宇郡総記（上125～127）

B041 平塚武二（1956）『日本古典童話全集① あまの岩戸』小峰書店

みずのえうらのシマコ（180～189）：丹後 水江浦島子（下296～305）  
 ソミンとコタン（208～210）：備後 蘇民将来（下341～342）  
 わにたいじ（190～191）：出雲 意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）  
 国びき（192～194）：出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 くび田のしか（195～197）：豊後 速見郡頸の峯（下37～38）  
 おこりんぼの湯（198～199）：豊後 速見郡玖倍理湯（下36）  
 しじみ村の皇子たち（200～204）：播磨 美囊郡志深里（上421～423）  
 大きな木の船（205～207）：播磨 逸文明石駅家（上425～426）  
 あわしま（211）：伯耆 粟島（下327）  
 イバラギの名のはじめ（212～213）：常陸 茨城郡総記1（上31～32）  
 富士山と筑波山（214～216）：常陸 筑波郡（上26～27）  
 めずらしいあゆ（217～218）：肥前 松浦郡総記（下80～81）  
 白いもち（219～220）：山城 可茂社（下134～135）  
 天女のこと（221～225）：丹後 奈良社（下302～306）

B042 日本児童文芸家協会（1956）『たのしい歴史童話1 やまたのおろち（神話・伝説時代）』ポプラ社  
 まつらさよひめ（163～175 古賀残星）：肥前 松浦郡褶振峰（下81～82）

B043 花岡大学（1957）『三年の学習文庫4 神話ものがたり』学習研究社

国びき（158～167）：出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 フジとツクバ（168～176）：常陸 筑波郡（上26～27）

B044 関敬吾（1957）『小学生全集92日本の神話』筑摩書房

国引き（21～24）：出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ（88～89）：播磨 神前郡壱岡（上404～405）  
 オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ（91～92）：播磨 揖保郡揖保里（上389～390）  
 富士と筑波（157～160）：常陸 筑波郡（上26～27）

B045 吉田精一・福田清人（1957）『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり（一年生）』東西文明社  
 もちのまと（20～26）：豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

B046 吉田精一・福田清人（1957）『おもしろくてためになる 日本名著ものがたり（四年生）』東西文明社  
 シカの恩がえし（7～10 福田清人）：豊後 速見郡頸の峯（下37～38）  
 白鳥となったもち（10～14 福田清人）：豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

B047 菅忠道（1957）『おもしろい歴史ものがたり 一年生』大日本図書  
 はやとり（50～57 大久保正太郎）：播磨 逸文明石駅家（上425～426）



- B048 菅忠道 (1957)『おもしろい歴史ものがたり 二年生』大日本図書  
シカのやくそく (16～20 大久保正太郎) : 豊後 速見郡頸の峯 (下37～38)
- B049 徳永寿美子 (1957)『学年別・幼年文庫 一年13 たのしい神話とでんせつ 一年生』偕成社  
ふじのやまと つくばのやま (102～110) : 常陸 筑波郡 (上26～27)
- B050 久保喬 (1957)『日本児童文庫 8 日本神話物語』日本児童文庫刊行会  
神さまたちと白ウサギ (55) : 因幡 白兎 (下321～323)  
小ゆびくらの神さま二 (90～92) : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)  
小ゆびくらの神さま二 (92～93) : 伊予 温泉 (下356～359)  
島よ, こい (98～102) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)  
白い山と青い山 (172～175) : 常陸 筑波郡 (上26～27)  
コトひき山 (176) : 出雲 神門郡高岸郷 (上193)  
コトひき山 (178～180) : 出雲 仁多郡三津郷 (上208～209)  
コトひき山 (181) : 出雲 大原郡阿用郷 (上216)  
コトひき山 (181) : 出雲 飯石郡多祢郷 (上202)  
コトひき山 (181～182) : 出雲 飯石郡琴引山 (上204)  
石になった星 (186～190) : 播磨 揖保郡阿豆村 (上374)  
川のけんか (183～186) : 播磨 揖保郡出水里 (上390～391)  
石になった星 (188～189) : 播磨 揖保郡御橋山 (上376)  
石になった星 (187～188・190) : 播磨 揖保郡狭野村神阜 (上376)  
天女のなみだ (191～197) : 丹後 奈具社 (下302～306)  
巨人の足あと (198) : 播磨 揖保郡大鳥山 (上374)  
巨人の足あと (197～199) : 播磨 託賀郡総記 (上409～410)  
巨人の足あと (199～200) : 播磨 託賀郡賀眉里 (上410)  
神のしま (200～205) : 播磨 揖保郡神島 (上387)  
川の神と人形 (205～207) : 肥前 佐嘉郡総記 2 (下78～79)  
もちのまと (207～214) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)  
オニと石のかがみ (214～217) : 常陸 久慈郡河内里 (上56)  
追われた神さま (222) : 出雲 楯縫郡神名備山 (上173～174)  
追われた神 (222～223) : 常陸 行方郡提賀里 (上37～39)  
ハクチョウのこどもたち (226～233) : 常陸 香島郡白鳥里 (上52)  
神と人 (218～222) : 風土記外 (崇神記。「ヒョウタンと神さま」は書紀からということが明記されている)
- B051 久保喬 (1957)『なかよし絵文庫 2 いなばの白うさぎ』偕成社  
うみをわたって (6～8) : 因幡 白兎 (下321～323)  
くにびき (88～103) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)
- B052 福田清人 (1958)『日本史の光 1 年生』あかね書房  
いなばの白うさぎ (17～18 西山敏夫) : 因幡 白兎 (下321～323)  
もちのまと (27～34 福田清人) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)
- B053 神田秀夫 (1958)『日本少年少女古典文学全集13 風土記物語』弘文堂  
八槻 (7～10) : 陸奥 八槻郷 (下279～281)  
八槻 (10～11) : 陸奥 飯豊山 (下281)  
常陸の国 (12～15) : 常陸 総記 (上22～24)  
富士と筑波 (19～22) : 常陸 筑波郡 (上26～27)

富士と筑波 (23) :	常陸	筑波郡騰波江 (上28)
霞ヶ浦 (23) :	常陸	信太郡浮島村 (上31)
霞ヶ浦 (23~24) :	常陸	信太郡総記 (上28~31)
霞ヶ浦 (23~24) :	常陸	信太郡乗浜 (上31)
黒坂の命 (27~29) :	常陸	茨城郡総記 1 (上31~32)
高浜 (29~30) :	常陸	茨城郡総記 2 (高浜) (上33~34)
夜刀の神 (30~32) :	常陸	行方郡提賀里 (上37~39)
麻生 (32~33) :	常陸	行方郡男高里 (上39)
麻生 (32~33) :	常陸	行方郡麻生里 (上39)
潮来 (33~34) :	常陸	行方郡板来村南洲 (上42)
潮来 (34~36) :	常陸	行方郡板来村 (上40~42)
鹿島 (36~37) :	常陸	香島郡総記 1 (設置・鹿島宮) (上44~46)
鹿島 (37~38) :	常陸	香島郡総記 2 (津宮) (上46~47)
鹿島 (38~39) :	常陸	香島郡総記 3 (神官居宅) (上48)
鹿島 (39) :	常陸	香島郡高松浜 (上49)
童子女の松原 (40) :	常陸	香島郡寒田沼 (上49~50)
童子女の松原 (40~44) :	常陸	香島郡童子松原 (上50~52)
那珂 (44~45) :	常陸	那賀郡大櫛 (上53)
くれふしの山 (45~47) :	常陸	那賀郡聖時臥の山 (上53~55)
くれふしの山 (48) :	常陸	那賀郡曝井 (上55)
久慈 (48) :	常陸	久慈郡小田里 (上57)
久慈 (49) :	常陸	久慈郡太田郷 (上57~58)
久慈 (50) :	常陸	久慈郡谷合山 (上56)
久慈 (50) :	常陸	久慈郡河内里 (上56)
久慈 (49~50) :	常陸	久慈郡静織里 (上56~57)
久慈 (50) :	常陸	久慈郡薩都里 (上58)
久慈 (50~51) :	常陸	久慈郡密筑里 (上59~60)
久慈 (51) :	常陸	久慈郡助川 (上60)
かびれの高峯 (51~52) :	常陸	久慈郡賀毗礼嶺 (上58~59)
倭武の天皇と常陸の国 (61) :	常陸	総記 (上22~24)
倭武の天皇と常陸の国 (61) :	常陸	信太郡乗浜 (上31)
倭武の天皇と常陸の国 (61) :	常陸	久慈郡総記 (上55)
倭武の天皇と常陸の国 (61~63) :	常陸	多珂郡飽田 (上61~62)
倭武の天皇と常陸の国 (63) :	常陸	多珂郡藻島駅家 (上62~63)
倭武の天皇と常陸の国 (64) :	常陸	香島郡角折浜 (上52~53)
倭武の天皇と常陸の国 (64~65) :	常陸	行方郡芸都里 (上43)
倭武の天皇と常陸の国 (66) :	常陸	茨城郡桑原岳 (上34)
倭武の天皇と常陸の国 (66) :	常陸	行方郡無梶川 (上35~36)
倭武の天皇と常陸の国 (65~66) :	常陸	行方郡当麻郷 (上42~43)
倭武の天皇と常陸の国 (66~67) :	常陸	行方郡総記 (上34~35)
倭武の天皇と常陸の国 (64・67) :	常陸	行方郡相鹿里 (上44)
てこの呼坂 (70~73) :	駿河	てこの呼坂 (下236~238)
ははき木 (74~75) :	信濃	ははき木 (下278)
熱田の社 (76~77) :	尾張	熱田社 (下216)
伊勢の国 (79~80) :	伊勢	国号 (下193~195)
近江の国 (85~87) :	近江	伊香小江 (下264~265)
近江の国 (88) :	近江	竹生島 (下265~266)
宇治 (93~95) :	山城	宇治橋姫 (下139)

かもの社 (95～99) :	山城	可茂社 (下134～135)
夢野 (100～102) :	摂津	夢野 (下160～161)
奈具の社 (104～110) :	丹後	奈具社 (下302～306)
天の橋立 (110～112) :	丹後	天橋立 (下295)
筒川の島子 (112～121) :	丹後	水江浦島子 (下296～305)
国引き (126～130) :	出雲	意宇郡総記 (上125～127)
大穴持の命 (1) (130) :	出雲	意宇郡出雲神戸 (上133)
大穴持の命 (1) (131)・(佐太の大神) :	出雲	出雲郡宇賀郷 (上180)
大穴持の命 (1) (131) :	出雲	大原郡来次郷 (上217)
大穴持の命 (1) (131～132) :	出雲	神門郡朝山郷 (上192)
大穴持の命 (1) (132) :	出雲	神門郡八野郷 (上193)
大穴持の命 (1) (132) :	出雲	神門郡滑狭郷 (上193～194)
大穴持の命 (1) (132～133) :	出雲	仁多郡三津郷 (上208～209)
大穴持の命 (1) (133～134) :	出雲	意宇郡母理郷 (上128)
大穴持の命 (1) (133～134) :	出雲	意宇郡拝志郷 (上131～132)
大穴持の命 (1) (135) :	出雲	島根郡美保郷 (上145)
わにぎめ (135～137) :	出雲	意宇郡安来郷毘売崎 (上129～130)
佐太の大神 (139) :	出雲	島根郡加賀郷 (上145)
佐太の大神 (137～140) :	出雲	島根郡加賀郷加賀神崎 (上157～158)
佐太の大神 (140) :	出雲	出雲郡黄泉の穴 (上180)
たこ島・むかで島 (140～141) :	出雲	島根郡蛸蛸嶋 (上150～151)
たこ島・むかで島 (141) :	出雲	島根郡蜈蚣嶋 (上151)
菌の長浜 (141～142) :	出雲	神門郡神門水海 (上198～199)
出雲の国の須佐能袁の命 (142～143) :	出雲	意宇郡安来郷由来譚 (上128～129)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	島根郡山口郷 (上144)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	島根郡方結郷 (上145)
出雲の国の須佐能袁の命 (142～143) :	出雲	飯石郡須佐郷 (上202)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡佐世郷 (上216)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡高麻山 (上220)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡御室山 (上220)
出雲の国の須佐能袁の命 (143～144) :	出雲	秋鹿郡恵曇郷 (上161)
出雲の国の須佐能袁の命 (144) :	出雲	秋鹿郡多太郷 (上161～162)
伊和の大神 (146) :	播磨	飾磨郡英賀 (上363)
伊和の大神 (146) :	播磨	揖保郡林田里伊勢野 (上378)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡笠戸 (上394～395)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡雲濃里 (上397)
伊和の大神 (147) :	播磨	揖保郡出水里 (上390～391)
伊和の大神 (148) :	播磨	飾磨郡伊和里 (上363～364)
伊和の大神 (148) :	播磨	宍禾郡安師里 (上401～402)
伊和の大神 (147～148) :	播磨	宍禾郡雲箇里 (上402)
伊和の大神 (148) :	播磨	宍禾郡波加村 (上402～403)
伊和の大神 (148) :	播磨	神前郡多駝里糠岡 (上407)
伊和の大神 (148) :	播磨	託賀郡黒田里 (上410～411)
伊和の大神 (149) :	播磨	讃容郡総記 (上392～393)
伊和の大神 (149～150) :	播磨	宍禾郡比治里 (上398～399)
伊和の大神 (150) :	播磨	宍禾郡石作里 (上402)
大穴持の命 (2) (152～155) :	播磨	神前郡壱岡 (上404～405)
大穴持の命 (2) (155～156) :	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか (上364～365)

- |                        |    |                            |
|------------------------|----|----------------------------|
| 大穴持の命（2）（157）：         | 播磨 | 宍粟郡奪谷（上399～400）            |
| 大穴持の命（2）（157～158）：     | 播磨 | 宍粟郡御方里（上403）               |
| 大穴持の命（2）（158～159）：     | 播磨 | 揖保郡揖保里（上389～390）           |
| 顕宗天皇と仁賢天皇（166）：        | 播磨 | 美囊郡総記（上421）                |
| 神島（183）：               | 播磨 | 揖保郡神島（上387）                |
| 顕宗天皇と仁賢天皇（171～183）：    | 播磨 | 美囊郡志深里（上421～423）           |
| 讃岐日子と氷上刀売（184～186）：    | 播磨 | 託賀郡都麻里都太岐（上411～412）        |
| 讃岐日子と氷上刀売（186）：        | 播磨 | 託賀郡法太里（上413）               |
| 蘇民将来（186～188）：         | 備後 | 蘇民将来（下341～342）             |
| 伊予の湯・熱田津（226～229）：     | 伊予 | 温泉（下356～359）               |
| 伊予の湯・熱田津（229）：         | 伊予 | 天山（下359～360）               |
| 筑紫（230）：               | 筑後 | 筑後国号（下395～396）             |
| 玉島川の鮎（238～240）：        | 肥前 | 松浦郡総記（下80～81）              |
| ひれふりの峯（240～241）：       | 肥前 | 松浦郡鏡の渡（下81）                |
| ひれふりの峯（243）：           | 肥前 | 松浦郡褶振峰（下81～82）             |
| 温泉と氷室（249）：            | 豊後 | 速見郡赤温泉（下36）                |
| 筑紫の君、磐井と、その墓（247～249）： | 筑後 | 磐井の墓（下397～398）             |
| 温泉と氷室（250）：            | 豊後 | 速見郡玖倍理湯（下36）               |
| 温泉と氷室（250）：            | 豊後 | 速見郡柚富峰（下37）                |
| 餅の的（251～253）：          | 豊後 | 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411） |
| 餅の的（253）：              | 山城 | 南鳥部里・伊奈利社（下140・141）        |
| 餅の的（253～254）：          | 豊後 | 総記（下26～27）                 |
| 愠湯（254～255）：           | 豊後 | 日田郡五馬山（下29）                |
| 不知火（255～256）：          | 肥前 | 総記1（下68～70）                |
| 不知火（256～258）：          | 肥前 | 総記2（景行）（下68～70）            |
| 阿蘇（259～260）：           | 筑紫 | 関宗岳（下423～424）              |
| 高千穂（262～263）：          | 日向 | 臼杵郡知鋪郷（下433～434）           |
- B054 西山敏夫（1958）『学年別・幼年文庫 一年17 日本名作ものがたり 一年生』偕成社  
はやとり（35～43）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）
- B055 三山進（1959）『中学生世界神話全集5 日本の神話』宝文館  
ヤマタのオロチ（47～49）： 備後 蘇民将来（下341～342）  
白い兎と赤い猪（52）： 因幡 白兎（下321～323）  
ヨミの国で（70～71）： 播磨 飾磨郡伊和里船丘ほか（上364～365）  
小人の神（75）： 伊予 温泉（下356～359）  
小人の神（76）： 播磨 神前郡壱岡（上404～405）
- B056 西山敏夫（1959）『学年別・幼年文庫 二年17 日本名作ものがたり 二年生』偕成社  
もちの まと（32～37）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子編（1959）『世界児童文学全集第14 日本神話』あかね書房  
浦島子（229～240）： 丹後 水江浦島子（下296～305）  
羽衣（241～245）： 丹後 奈具社（下302～306）  
夜刀の神（246～247）： 常陸 行方郡提賀里（上37～39）  
フジ山とツクバ山（257～259）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
がまんくらべ（260～261）： 播磨 神前郡壱岡（上404～405）  
石のうらない（248～249）： 豊後 速見郡総記（下35～36）

石のうらない (249) :	豊後	直入郡祢野 (下30)
石のうらない (249~250) :	豊後	直入郡蹴石野 (下31)
石のうらない (250) :	豊後	直入郡柏原郷 (下30)
石のうらない (250~251) :	豊後	直入郡球覃郷 (下31)
石のうらない (252) :	豊後	大野郡海石榴市・血田 (下32)
火の国 (253~255) :	肥前	総記 1 (下68~70)
火の国 (255~256) :	肥前	総記 2 (景行) (下68~70)
もちのまと (262~263) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)
ヤツキの里 (264~266) :	陸奥	八槻郷 (下279~281)
イセノクニ (267~269) :	伊勢	国号 (下193~195)
カモの社の神 (270~272) :	山城	可茂社 (下134~135)

B058 浜田広介 (1960)『少年少女世界文学全集45 日本編 第1巻』講談社  
 天の羽衣 (184~190 浜田広介) : 近江 伊香小江 (下264~265)

B059 坪田譲治 (1960)『日本古典全集① 神代の物語』あかね書房

ふくろをせおった神 (66) :	出雲	意宇郡出雲神戸 (上133)
ふくろをせおった神 (70~72) :	播磨	神前郡聖岡 (上404~405)
富士山と筑波山 (211~213) :	常陸	筑波郡 (上26~27)
夜刀の神 (214~216) :	常陸	行方郡提賀里 (上37~39)
白鳥の里 (216~217) :	常陸	香島郡白鳥里 (上52)
国びき (218~221) :	出雲	意宇郡総記 (上125~127)
ワニにくわれたむすめ (222~223) :	出雲	意宇郡安来郷毘売崎 (上129~130)
捨て子をしようとしたオオナムチ (224~226) :	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか (上364~365)
オトヒヒメコ (226~227) :	肥前	松浦郡鏡の渡 (下81)
オトヒヒメコ (227~229) :	肥前	松浦郡褶振峰 (下81~82)
シカの夢知らせ (230~231) :	摂津	夢野 (下160~161)
浦島子 (232~243) :	丹後	水江浦島子 (下296~305)
天女 (244~249) :	丹後	奈具社 (下302~306)
北海の神 (249~251) :	備後	蘇民将来 (下341~342)

B060 福田清人 (1961)『少年少女世界名作全集28 日本神話物語』講談社

富士山と筑波山 (276~279) :	常陸	筑波郡 (上26~27)
さかずきのへび (279~281) :	常陸	那賀郡晡時臥の山 (上53~55)
国びき (281~282) :	出雲	意宇郡総記 (上125~127)
神様のがまんくらべ (282~285) :	播磨	神前郡聖岡 (上404~405)
しかの恩がえし (285~287) :	豊後	速見郡頸の峯 (下37~38)
はくちょうになったもち (287~291) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)
しらぬい (291~292) :	肥前	総記 1 (下68~70)
しらぬい (293~294) :	肥前	総記 2 (景行) (下68~70)
宇治の橋姫 (294~297) :	山城	宇治橋姫 (下139)
天女の羽衣 (298~301) :	駿河	三保松原 (下235~236)
きじとかみなり (301~303) :	常陸	多珂郡逸文伊福部岳 (下255~256)
浦島の子 (303~313) :	丹後	水江浦島子 (下296~305)

B061 福田清人 (1961)『児童世界文学全集22 日本神話物語集』偕成社

わきあがる雲 (57~58) :	備後	蘇民将来 (下341~342)
こびとの神 (97~98) :	播磨	神前郡聖岡 (上404~405)



ヒボコとオオクニヌシ (209～210) :	播磨	揖保郡揖保里 (上389～390)
ヒボコとオオクニヌシ (210) :	播磨	宍禾郡川音村 (上399)
ヒボコとオオクニヌシ (210) :	播磨	宍禾郡奪谷 (上399～400)
ヒボコとオオクニヌシ (210～211) :	播磨	宍禾郡波加村 (上402～403)
ヒボコとオオクニヌシ (211) :	播磨	宍禾郡御方里 (上403)
もちのまと (285～287) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)
石のうらない (288～289) :	豊後	総記 (下26～27)
石のうらない (290) :	豊後	直入郡祢疑野 (下30)
石のうらない (289～290) :	豊後	速見郡総記 (下35～36)
石のうらない (290～292) :	豊後	直入郡蹶石野 (下31)
石のうらない (292) :	豊後	直入郡球覃郷 (下31)
石のうらない (292) :	豊後	大野郡海石榴市・血田 (下32)
火の国 (293～294) :	肥前	総記 1 (下68～70)
火の国 (294～295) :	肥前	総記 2 (景行) (下68～70)
ひれふりの峰 (296～298) :	肥前	松浦郡鏡の渡 (下81)
ひれふりの峰 (298～300) :	肥前	松浦郡褶振峰 (下81～82)
らんぼう神 (301～302) :	肥前	基肆郡姫社郷 (下72～73)
らんぼう神 (302～303) :	肥前	佐嘉郡総記 2 (下78～79)
五色の目玉の神 (304～306) :	播磨	揖保郡神島 (上387)
のびちじみする刀 (307～310) :	播磨	讃容郡中川里人 (異剣) (上396)
水のない川 (311～312) :	播磨	揖保郡出水里 (上390～391)
ウラノシマコ (313～323) :	丹後	水江浦島子 (下296～305)
羽衣 (324～328) :	丹後	奈具社 (下302～306)
神風の伊勢の国 (329～332) :	伊勢	国号 (下193～195)
やつきの里 (333～335) :	陸奥	八槻郷 (下279～281)
富士の山と筑波の山 (336～338) :	常陸	筑波郡 (上26～27)
カシマノ大神 (339～342) :	常陸	香島郡総記 1 (設置・鹿島宮) (上44～46)
へびの神 (343～345) :	常陸	行方郡提賀里 (上37～39)
へびの神 (346～348) :	常陸	那賀郡晡時臥の山 (上53～55)

B062 日本児童文芸家協会 (1961)『たのしい日本歴史童話 1 やまたのおろち: 神話・伝説時代』ポプラ社  
まつらさよひめ (163～175 古賀残星) : 肥前 松浦郡褶振峰 (下81～82)

B063 佐藤春夫ほか編 (1961)『日本童話宝玉選』小学館

白い鳥一 (296～297) :	豊後	総記 (下26～27)
白い鳥二 (297～298) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)
羽衣女房 (366～375) :	近江	伊香小江 (下264～265)

B064 片桐顕智ほか編 (1962)『日本古典文学ものがたり 1 年生』実業之日本社 (B034)

かみさまの なみだ (15～17 神山裕一) :	播磨	揖保郡神島 (上387)
がまんくらべ (18～20 神山裕一) :	播磨	神前郡壱岡 (上404～405)
ふじと つくば (21～24 神山裕一) :	常陸	筑波郡 (上26～27)

B065 片桐顕智ほか編 (1962)『日本古典文学ものがたり 2 年生』実業之日本社 (B035)

かわいそうな てんにょ (15～22 神山裕一) :	丹後	奈具社 (下302～306)
みずのえのうらの しまこ (23～38 神山裕一) :	丹後	水江浦島子 (下296～305)

B066 片桐顕智ほか編 (1962)『日本古典文学ものがたり 3 年生』実業之日本社 (B036)

- へびの神 (117～119 神山裕一) : 常陸 行方郡提賀里 (上37～39)  
 天皇と わたしもり (120～122 神山裕一) : 播磨 賀古郡 (上354～359)
- B067 関敬吾 (1962) 『新版小学生全集31日本の神話』 筑摩書房 (B044)  
 国引き (21～24) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)  
 オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ (88～89) : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)  
 オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ (91～92) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389～390)  
 富士と筑波 (157～160) : 常陸 筑波郡 (上26～27)
- B068 浜田広介 (1963) 『幼年世界童話文学全集12いなばの白うさぎ』 集英社  
 天のはごろも (152～182) : 近江 伊香小江 (下264～265)
- B069 大木雄二 (1964) 『ひらかな文庫14 ひらかな日本神話』 金の星社 (B038)  
 いなばのしろうさぎ (71) : 因幡 白兎 (下321～323)  
 がまんくらべ (107～109) : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)  
 ちからくらべ (109～113) : 伊予 温泉 (下356～359)
- B070 神田秀夫 (1964) 『少年少女日本古典物語全集2 風土記物語』 岩崎書店 (B053)  
 八槻 (7～10) : 陸奥 八槻郷 (下279～281)  
 八槻 (10～11) : 陸奥 飯豊山 (下281)  
 常陸の国 (12～15) : 常陸 総記 (上22～24)  
 富士と筑波 (19～22) : 常陸 筑波郡 (上26～27)  
 富士と筑波 (23) : 常陸 筑波郡騰波江 (上28)  
 霞ヶ浦 (23) : 常陸 信太郡浮島村 (上31)  
 霞ヶ浦 (23～24) : 常陸 信太郡総記 (上28～31)  
 霞ヶ浦 (23～24) : 常陸 信太郡乗浜 (上31)  
 黒坂の命 (27～29) : 常陸 茨城郡総記1 (上31～32)  
 高浜 (29～30) : 常陸 茨城郡総記2 (高浜) (上33～34)  
 夜刀の神 (30～32) : 常陸 行方郡提賀里 (上37～39)  
 麻生 (32～33) : 常陸 行方郡男高里 (上39)  
 麻生 (32～33) : 常陸 行方郡麻生里 (上39)  
 潮来 (33～34) : 常陸 行方郡板来村南洲 (上42)  
 潮来 (34～36) : 常陸 行方郡板来村 (上40～42)  
 鹿島 (36～37) : 常陸 香島郡総記1 (設置・鹿島宮) (上44～46)  
 鹿島 (37～38) : 常陸 香島郡総記2 (津宮) (上46～47)  
 鹿島 (38～39) : 常陸 香島郡総記3 (神官居宅) (上48)  
 鹿島 (39) : 常陸 香島郡高松浜 (上49)  
 童子女の松原 (40) : 常陸 香島郡寒田沼 (上49～50)  
 童子女の松原 (40～44) : 常陸 香島郡童子松原 (上50～52)  
 那珂 (44～45) : 常陸 那賀郡大櫛 (上53)  
 くれふしの山 (45～47) : 常陸 那賀郡晡時臥の山 (上53～55)  
 くれふしの山 (48) : 常陸 那賀郡曝井 (上55)  
 久慈 (48) : 常陸 久慈郡小田里 (上57)  
 久慈 (49) : 常陸 久慈郡太田郷 (上57～58)  
 久慈 (50) : 常陸 久慈郡谷合山 (上56)  
 久慈 (50) : 常陸 久慈郡河内里 (上56)  
 久慈 (49～50) : 常陸 久慈郡静織里 (上56～57)  
 久慈 (50) : 常陸 久慈郡薩都里 (上58)  
 久慈 (50～51) : 常陸 久慈郡密筑里 (上59～60)

久慈 (51) :	常陸	久慈郡助川 (上60)
かびれの高峯 (51~52) :	常陸	久慈郡賀毗礼嶺 (上58~59)
倭武の天皇と常陸の国 (61) :	常陸	総記 (上22~24)
倭武の天皇と常陸の国 (61) :	常陸	信太郡乗浜 (上31)
倭武の天皇と常陸の国 (61) :	常陸	久慈郡総記 (上55)
倭武の天皇と常陸の国 (61~63) :	常陸	多珂郡飽田 (上61~62)
倭武の天皇と常陸の国 (63) :	常陸	多珂郡藻島駅家 (上62~63)
倭武の天皇と常陸の国 (64) :	常陸	香島郡角折浜 (上52~53)
倭武の天皇と常陸の国 (64~65) :	常陸	行方郡芸都里 (上43)
倭武の天皇と常陸の国 (66) :	常陸	茨城郡桑原岳 (上34)
倭武の天皇と常陸の国 (66) :	常陸	行方郡無梶川 (上35~36)
倭武の天皇と常陸の国 (65~66) :	常陸	行方郡当麻郷 (上42~43)
倭武の天皇と常陸の国 (66~67) :	常陸	行方郡総記 (上34~35)
倭武の天皇と常陸の国 (64・67) :	常陸	行方郡相鹿里 (上44)
てこの呼坂 (70~73) :	駿河	てこの呼坂 (下236~238)
ははき木 (74~75) :	信濃	ははき木 (下278)
熱田の社 (76~77) :	尾張	熱田社 (下216)
伊勢の国 (79~80) :	伊勢	国号 (下193~195)
近江の国 (85~87) :	近江	伊香小江 (下264~265)
近江の国 (88) :	近江	竹生島 (下265~266)
宇治 (93~95) :	山城	宇治橋姫 (下139)
かもの社 (95~99) :	山城	可茂社 (下134~135)
夢野 (100~102) :	摂津	夢野 (下160~161)
奈具の社 (104~110) :	丹後	奈具社 (下302~306)
天の橋立 (110~112) :	丹後	天橋立 (下295)
筒川の島子 (112~121) :	丹後	水江浦島子 (下296~305)
国引き (126~130) :	出雲	意宇郡総記 (上125~127)
大穴持の命 (1) (130) :	出雲	意宇郡出雲神戸 (上133)
大穴持の命 (1) (131)・(佐太の大神) :	出雲	出雲郡宇賀郷 (上180)
大穴持の命 (1) (131) :	出雲	大原郡来次郷 (上217)
大穴持の命 (1) (131~132) :	出雲	神門郡朝山郷 (上192)
大穴持の命 (1) (132) :	出雲	神門郡八野郷 (上193)
大穴持の命 (1) (132) :	出雲	神門郡滑狭郷 (上193~194)
大穴持の命 (1) (132~133) :	出雲	仁多郡三津郷 (上208~209)
大穴持の命 (1) (133~134) :	出雲	意宇郡母理郷 (上128)
大穴持の命 (1) (133~134) :	出雲	意宇郡拝志郷 (上131~132)
大穴持の命 (1) (135) :	出雲	島根郡美保郷 (上145)
わにざめ (135~137) :	出雲	意宇郡安来郷毘売崎 (上129~130)
佐太の大神 (139) :	出雲	島根郡加賀郷 (上145)
佐太の大神 (137~140) :	出雲	島根郡加賀郷加賀神崎 (上157~158)
佐太の大神 (140) :	出雲	出雲郡黄泉の穴 (上180)
たこ島・むかで島 (140~141) :	出雲	島根郡蛸蛸嶋 (上150~151)
たこ島・むかで島 (141) :	出雲	島根郡蜈蚣嶋 (上151)
藺の長浜 (141~142) :	出雲	神門郡神門水海 (上198~199)
出雲の国の須佐能袁の命 (142~143) :	出雲	意宇郡安来郷由来譚 (上128~129)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	島根郡山口郷 (上144)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	島根郡方結郷 (上145)
出雲の国の須佐能袁の命 (142~143) :	出雲	飯石郡須佐郷 (上202)

出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡佐世郷 (上216)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡高麻山 (上220)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡御室山 (上220)
出雲の国の須佐能袁の命 (143~144) :	出雲	秋鹿郡恵曇郷 (上161)
出雲の国の須佐能袁の命 (144) :	出雲	秋鹿郡多太郷 (上161~162)
伊和の大神 (146) :	播磨	飾磨郡英賀 (上363)
伊和の大神 (146) :	播磨	揖保郡林田里伊勢野 (上378)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡笠戸 (上394~395)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡雲濃里 (上397)
伊和の大神 (147) :	播磨	揖保郡出水里 (上390~391)
伊和の大神 (148) :	播磨	飾磨郡伊和里 (上363~364)
伊和の大神 (148) :	播磨	宍禾郡安師里 (上401~402)
伊和の大神 (147~148) :	播磨	宍禾郡雲箇里 (上402)
伊和の大神 (148) :	播磨	宍禾郡波加村 (上402~403)
伊和の大神 (148) :	播磨	神前郡多駝里糠岡 (上407)
伊和の大神 (148) :	播磨	託賀郡黒田里 (上410~411)
伊和の大神 (149) :	播磨	讃容郡総記 (上392~393)
伊和の大神 (149~150) :	播磨	宍禾郡比治里 (上398~399)
伊和の大神 (150) :	播磨	宍禾郡石作里 (上402)
大穴持の命 (2) (152~155) :	播磨	神前郡壱岡 (上404~405)
大穴持の命 (2) (155~156) :	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか (上364~365)
大穴持の命 (2) (157) :	播磨	宍禾郡奪谷 (上399~400)
大穴持の命 (2) (157~158) :	播磨	宍禾郡御方里 (上403)
大穴持の命 (2) (158~159) :	播磨	揖保郡揖保里 (上389~390)
顕宗天皇と仁賢天皇 (166) :	播磨	美囊郡総記 (上421)
神島 (183) :	播磨	揖保郡神島 (上387)
顕宗天皇と仁賢天皇 (171~183) :	播磨	美囊郡志深里 (上421~423)
讃岐日子と氷上刀売 (184~186) :	播磨	託賀郡都麻里都太岐 (上411~412)
讃岐日子と氷上刀売 (186) :	播磨	託賀郡法太里 (上413)
蘇民将来 (186~188) :	備後	蘇民将来 (下341~342)
伊予の湯・熱田津 (226~229) :	伊予	温泉 (下356~359)
伊予の湯・熱田津 (229) :	伊予	天山 (下359~360)
筑紫 (230) :	筑後	筑後国号 (下395~396)
玉島川の鮎 (238~240) :	肥前	松浦郡総記 (下80~81)
ひれふりの峯 (240~241) :	肥前	松浦郡鏡の渡 (下81)
ひれふりの峯 (243) :	肥前	松浦郡褶振峰 (下81~82)
温泉と氷室 (249) :	豊後	速見郡赤温泉 (下36)
筑紫の君、磐井と、その墓 (247~249) :	筑後	磐井の墓 (下397~398)
温泉と氷室 (250) :	豊後	速見郡玖倍理湯 (下36)
温泉と氷室 (250) :	豊後	速見郡柚富峰 (下37)
餅の的 (251~253) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)
餅の的 (253) :	山城	南鳥部里・伊奈利社 (下140・141)
餅の的 (253~254) :	豊後	総記 (下26~27)
慍湯 (254~255) :	豊後	日田郡五馬山 (下29)
不知火 (255~256) :	肥前	総記 1 (下68~70)
不知火 (256~258) :	肥前	総記 2 (景行) (下68~70)
阿蘇 (259~260) :	筑紫	関宗岳 (下423~424)
高千穂 (262~263) :	日向	白杵郡知鋪郷 (下433~434)

## B071 松下宗彦(1964)『私たちの日本古典文学16風土記・古代歌謡』さ・え・ら書房

意字(8~12) :	出雲	意宇郡総記(上125~127)
母理の郷(12~14) :	出雲	意宇郡母理郷(上128)
毘売崎(14~16) :	出雲	意宇郡安来郷毘売崎(上129~130)
水精と烽(16~17) :	出雲	意宇郡長江山・暑垣山(上138)
朝酌の促戸(17) :	出雲	島根郡朝酌促戸(上149)
邑美の冷水(17~18) :	出雲	島根郡邑美冷水(上150)
神崎の岩屋(18~21) :	出雲	島根郡加賀郷加賀神崎(上157~158)
多太の郷(21) :	出雲	秋鹿郡多太郷(上161~162)
石神(21~23) :	出雲	楯縫郡神名備山(上173~174)
健部の郷(23~24) :	出雲	出雲郡健部郷(上178)
黄泉の穴(24~25) :	出雲	出雲郡黄泉の穴(上180)
須佐の郷(25) :	出雲	飯石郡須佐郷(上202)
奈具の社(122~126) :	丹後	奈具社(下302~306)
三沢(26~28) :	出雲	仁多郡三津郷(上208~209)
恋山(28) :	出雲	仁多郡恋山(上211)
天の椅立(126~127) :	丹後	天橋立(下295)
天の椅立(127~128) :	播磨	印南郡益気里(上360)
十四の丘(29~31) :	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか(上364~365)
継の潮(31) :	播磨	飾磨郡美濃里継潮(上370)
因達の里(31~32) :	播磨	飾磨郡因達里(上370)
馬墓の池(32~33) :	播磨	飾磨郡貽和里馬墓池(上371~372)
阿豆の村(33~34) :	播磨	揖保郡阿豆村(上374)
上岡の里(34) :	播磨	揖保郡狭野村神阜(上376)
佐比岡(35) :	播磨	揖保郡佐比岡(上381~382)
大見山(36) :	播磨	揖保郡大見山(上382)
神島(36~38) :	播磨	揖保郡神島(上387)
粒丘(38~39) :	播磨	揖保郡揖保里(上389~390)
奪谷(40) :	播磨	宍禾郡奪谷(上399~400)
御方の里(40~41) :	播磨	宍禾郡御方里(上403)
壱岡(41~43) :	播磨	神前郡壱岡(上404~405)
生野(43~44) :	播磨	神前郡壱岡生野(上405~406)
糠岡と八千軍野(44~45) :	播磨	神前郡多駝里糠岡(上407)
蔭山・蔭岡・磨布理・冑丘(45~46) :	播磨	神前郡蔭山里(上408)
都太岐(47) :	播磨	託賀郡都麻里都太岐(上411~412)
法太の里(47~48) :	播磨	託賀郡法太里(上413)
玉野の村(49~50) :	播磨	賀毛郡玉野村(上416~417)
小目野(51) :	播磨	賀毛郡小目野(上418~419)
雲潤の里(52) :	播磨	賀毛郡雲潤里(上419~420)
常陸の国(53~54) :	常陸	総記(上22~24)
福慈(富士)と筑波(54~57) :	常陸	筑波郡(上26~27)
茨城(57~58) :	常陸	茨城郡総記1(上31~32)
行方の郡(58~59) :	常陸	行方郡総記(上34~35)
夜刀の神(60~61) :	常陸	行方郡提賀里(上37~39)
麻生の里・香澄の里(61~63) :	常陸	行方郡麻生里(上39)
麻生の里・香澄の里(61~63) :	常陸	行方郡香澄里(上39~40)
板来の村(63~67) :	常陸	行方郡板来村(上40~42)
当麻の郷(67~68) :	常陸	行方郡当麻郷(上42~43)



芸都の里（69～70）：	常陸	行方郡芸都里（上43）
田の里（70）：	常陸	行方郡田里（上43～44）
香島の郡（71～72）：	常陸	香島郡総記1（設置・鹿島宮）（上44～46）
津の宮（72～73）：	常陸	香島郡総記2（津宮）（上46～47）
春の花と秋のもみじ（74～77）・郡家（77～78）：	常陸	香島郡総記3（神官居宅）（上48）
大櫛の岡（78～79）：	常陸	那賀郡大櫛（上53）
曝井（79～80）：	常陸	那賀郡曝井（上55）
河内の郷（81～82）：	常陸	久慈郡河内里（上56）
飽田の村（82～83）：	常陸	多珂郡飽田（上61～62）
肥前の国（84～86）：	肥前	総記1（下68～70）
肥前の国（86～87）：	肥前	総記2（景行）（下68～70）
姫社の郷（87～89）：	肥前	基肆郡姫社郷（下72～73）
船帆の郷（89～90）：	肥前	神埼郡船帆郷（下76～77）
鎌田の郷（90～91）：	肥前	神埼郡鎌田郷（下77）
佐嘉郡（91～92）：	肥前	佐嘉郡総記1（下78）
佐嘉郡（92～93）：	肥前	佐嘉郡総記2（下78～79）
松浦の郡（93～95）：	肥前	松浦郡総記（下80～81）
褶振の峯（95）：	肥前	松浦郡鏡の渡（下81）
褶振の峯（96～97）：	肥前	松浦郡褶振峰（下81～82）
値嘉の郷（97～99）：	肥前	松浦郡値嘉郷（下84～86）
周賀郷（99～100）：	肥前	彼杵郡周賀郷（下90～91）
速来の門（100～101）：	肥前	彼杵郡速来門（下91）
豊後の国（102～104）：	豊後	総記（下26～27）
五馬山（104～105）：	豊後	日田郡五馬山（下29）
蹶石野（105～106）：	豊後	直入郡蹶石野（下31）
大分の郡（106～107）：	豊後	大分郡総記（下34）
速見の郡（107～108）：	豊後	速見郡総記（下35～36）
頸の峯（108～109）：	豊後	速見郡頸の峯（下37～38）
田野（110～111）：	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
八槻の郷（112～114）：	陸奥	八槻郷（下279～281）
信太の郡（114～115）：	常陸	信太郡総記逸文（上29）
鶴の郡（115）：	甲斐	菊花山（下246～247）
川嶋の社（116）：	尾張	川嶋社（下218）
比売島（120）：	摂津	比売嶋松原（下162～163）
伊勢の国（116～120）：	伊勢	国号（下193～195）
美奴売（121）：	摂津	美奴売松原（下163～164）
浦嶋の子（129～137）：	丹後	水江浦島子（下296～305）
ニホツヒメノミコト（137～140）：	播磨	逸文爾保都比売命（上424～425）
速鳥（141）：	播磨	逸文明石駄家（上425～426）
伯耆の国（142～143）：	伯耆	伯耆国号（下328）
迺磨の郷（143～144）：	備中	迺磨郷（下338）
疫隅国社（144～146）：	備後	蘇民将来（下341～342）
湯の郡（146～149）：	伊予	温泉（下359～359）
鹿春の郷（150）：	豊前	鹿春郷（下404～405）
知舗の郷（150～152）：	日向	知舗郷（下433～434）
怡土の郡（152～154）：	筑前	怡土郡（下377～378）
児饗野（154～155）：	筑前	児饗石（下379～380）
磐井の墓（155～156）：	筑後	磐井君（下397～398）

筑後の国（156～157）：	筑後	筑後国号（下395～396）
杵島山（157～158）：	肥前	杵島山（下414～415）
関宗岳（158～160）：	肥後	関宗岳（下423～424）
鯨伏の郷（160）：	壱岐	鯨伏郷（下445）

B072 花岡大学（1965）『ノアのはこ船 世界神話12か月』大阪教育図書  
 国びき（431～436）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 フジとツクバ（469～473）： 常陸 筑波郡（上26～27）

B073 坪田譲治（1966）『日本古典童話全集① 神代の物語』あかね書房（B059）  
 ふくろをせおった神（66）： 出雲 意宇郡出雲神戸（上133）  
 ふくろをせおった神（70～72）： 播磨 神前郡壱岡（上404～405）  
 富士山と筑波山（211～213）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
 夜刀の神（214～216）： 常陸 行方郡提賀里（上37～39）  
 白鳥の里（216～217）： 常陸 香島郡白鳥里（上52）  
 国びき（218～221）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 ワニにくわれたむすめ（222～223）： 出雲 意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）  
 捨て子をしようとしたオオナムチ（224～226）： 播磨 飾磨郡伊和里船丘ほか（上364～365）  
 オトヒヒメコ（227）： 肥前 松浦郡鏡の渡（下81）  
 オトヒヒメコ（227～229）： 肥前 松浦郡褶振峰（下81～82）  
 シカの夢知らせ（230～231）： 摂津 夢野（下160～161）  
 浦島子（232～243）： 丹後 水江浦島子（下296～305）  
 天女（244～249）： 丹後 奈具社（下302～306）  
 北海の神（249～251）： 備後 蘇民将来（下341～342）

B074 与田準一（1966）『日本の古典童話 1 やまたのおろち<古事記・風土記>』小峰書店  
 富士山と筑波山（164～167）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
 天人のはごろも（175～188）： 近江 伊香小江（下264～265）  
 天人のはごろも（188～192）： 丹後 奈具社（下302～306）  
 こたんとそみんきょうだい（193～200）： 備後 蘇民将来（下341～342）  
 白いもち白い鳥（201～203）： 山城 南鳥部里・伊奈利社（下140・141）  
 白いもち白い鳥（203～204）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
 赤い玉（209～210） 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）  
 ものいうクリの木（168～172）： 風土記外

B075 川端康成ほか監修（1966）『少年少女世界の名作文学. 45日本編 1 平家物語 今昔物語 土佐日記 太平記 雪舟 ほか』小学館  
 国引き（151～152 柴野民三）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 わにぞめ退治（153～154 柴野民三）： 出雲 意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）  
 金の弓矢（154～155 柴野民三）： 出雲 島根郡加賀郷加賀神崎（上157～158）  
 伊福部岳の雷（155～157 柴野民三）： 常陸 多珂郡逸文伊福部岳（下255～256）  
 かびれ的高峰（157～158 柴野民三）： 常陸 久慈郡賀毗礼嶺（上58～59）  
 神蛇（158～160 柴野民三）： 常陸 行方郡提賀里（上37～39）  
 奈美松、古津松（160～163 柴野民三）： 常陸 香島郡童子松原（上50～52）  
 がまん比べ（163～164 柴野民三）： 播磨 神前郡壱岡（上404～405）  
 かわいそうな讃伎日子（164～166 柴野民三）： 播磨 託賀郡都麻里都太岐（上411～412）  
 もちの的（166～168 柴野民三）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
 くび田のしか（168～170 柴野民三）： 豊後 速見郡頸の峯（下37～38）

赤湯と怒りの湯（170 柴野民三）：豊後 速見郡赤温泉（下36）  
 赤湯と怒りの湯（170～171 柴野民三）：豊後 速見郡玖倍理湯（下36）  
 あゆつり（171～172 柴野民三）：肥前 松浦郡総記（下80～81）  
 不知火（172～173 柴野民三）：肥前 総記 1（下68～70）  
 不知火（173～174 柴野民三）：肥前 総記 2（景行）（下68～70）  
 宇治の橋姫（174～176 柴野民三）：山城 宇治橋姫（下139）  
 夢うらない（176～177 柴野民三）：摂津 夢野（下160～161）  
 奈具の社（177～181 柴野民三）：丹後 奈具社（下302～306）  
 水の江の浦島の子（181～187 柴野民三）：丹後 水江浦島子（下296～305）  
 蘇民将来（188～189 柴野民三）：備後 蘇民将来（下341～342）

B076 神田秀夫（1966）『私たちの日本古典文学選 2 風土記物語』岩崎書店（B053, B070）

八槻（7～10）：	陸奥	八槻郷（下279～281）
八槻（10～11）：	陸奥	飯豊山（下281）
常陸の国（12～15）：	常陸	総記（上22～24）
富士と筑波（19～22）：	常陸	筑波郡（上26～27）
富士と筑波（23）：	常陸	筑波郡騰波江（上28）
霞ヶ浦（23）：	常陸	信太郡浮島村（上31）
霞ヶ浦（23～24）：	常陸	信太郡総記（上28～31）
霞ヶ浦（23～24）：	常陸	信太郡乗浜（上31）
黒坂の命（27～29）：	常陸	茨城郡総記 1（上31～32）
高浜（29～30）：	常陸	茨城郡総記 2（高浜）（上33～34）
夜刀の神（30～32）：	常陸	行方郡提賀里（上37～39）
麻生（32～33）：	常陸	行方郡男高里（上39）
麻生（32～33）：	常陸	行方郡麻生里（上39）
潮来（33～34）：	常陸	行方郡板来村南洲（上42）
潮来（34～36）：	常陸	行方郡板来村（上40～42）
鹿島（36～37）：	常陸	香島郡総記 1（設置・鹿島宮）（上44～46）
鹿島（37～38）：	常陸	香島郡総記 2（津宮）（上46～47）
鹿島（38～39）：	常陸	香島郡総記 3（神官居宅）（上48）
鹿島（39）：	常陸	香島郡高松浜（上49）
童子女の松原（40）：	常陸	香島郡寒田沼（上49～50）
童子女の松原（40～44）：	常陸	香島郡童子松原（上50～52）
那珂（44～45）：	常陸	那賀郡大櫛（上53）
くれふしの山（45～47）：	常陸	那賀郡晡時臥の山（上53～55）
くれふしの山（48）：	常陸	那賀郡曝井（上55）
久慈（48）：	常陸	久慈郡小田里（上57）
久慈（49）：	常陸	久慈郡太田郷（上57～58）
久慈（50）：	常陸	久慈郡谷合山（上56）
久慈（50）：	常陸	久慈郡河内里（上56）
久慈（49～50）：	常陸	久慈郡静織里（上56～57）
久慈（50）：	常陸	久慈郡薩都里（上58）
久慈（50～51）：	常陸	久慈郡密筑里（上59～60）
久慈（51）：	常陸	久慈郡助川（上60）
かびれの高峯（51～52）：	常陸	久慈郡賀毗礼嶺（上58～59）
倭武の天皇と常陸の国（61）：	常陸	総記（上22～24）
倭武の天皇と常陸の国（61）：	常陸	信太郡乗浜（上31）
倭武の天皇と常陸の国（61）：	常陸	久慈郡総記（上55）

倭武の天皇と常陸の国（61～63）：	常陸	多珂郡飽田（上61～62）
倭武の天皇と常陸の国（63）：	常陸	多珂郡藻島駅家（上62～63）
倭武の天皇と常陸の国（64）：	常陸	香島郡角折浜（上52～53）
倭武の天皇と常陸の国（64～65）：	常陸	行方郡芸都里（上43）
倭武の天皇と常陸の国（66）：	常陸	茨城郡桑原岳（上34）
倭武の天皇と常陸の国（66）：	常陸	行方郡無梶川（上35～36）
倭武の天皇と常陸の国（65～66）：	常陸	行方郡当麻郷（上42～43）
倭武の天皇と常陸の国（66～67）：	常陸	行方郡総記（上34～35）
倭武の天皇と常陸の国（64・67）：	常陸	行方郡相鹿里（上44）
てこの呼坂（70～73）：	駿河	てこの呼坂（下236～238）
ははき木（74～75）：	信濃	ははき木（下278）
熱田の社（76～77）：	尾張	熱田社（下216）
伊勢の国（79～80）：	伊勢	国号（下193～195）
近江の国（85～87）：	近江	伊香小江（下264～265）
近江の国（88）：	近江	竹生島（下265～266）
宇治（93～95）：	山城	宇治橋姫（下139）
かもの社（95～99）：	山城	可茂社（下134～135）
夢野（100～102）：	摂津	夢野（下160～161）
奈具の社（104～110）：	丹後	奈具社（下302～306）
天の橋立（110～112）：	丹後	天橋立（下295）
筒川の島子（112～121）：	丹後	水江浦島子（下296～305）
国引き（126～130）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
大穴持の命（1）（130）：	出雲	意宇郡出雲神戸（上133）
大穴持の命（1）（131）・（佐太の大神）：	出雲	出雲郡宇賀郷（上180）
大穴持の命（1）（131）：	出雲	大原郡来次郷（上217）
大穴持の命（1）（131～132）：	出雲	神門郡朝山郷（上192）
大穴持の命（1）（132）：	出雲	神門郡八野郷（上193）
大穴持の命（1）（132）：	出雲	神門郡滑狭郷（上193～194）
大穴持の命（1）（132～133）：	出雲	仁多郡三津郷（上208～209）
大穴持の命（1）（133～134）：	出雲	意宇郡母理郷（上128）
大穴持の命（1）（133～134）：	出雲	意宇郡拝志郷（上131～132）
大穴持の命（1）（135）：	出雲	島根郡美保郷（上145）
わにざめ（135～137）：	出雲	意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）
佐太の大神（139）：	出雲	島根郡加賀郷（上145）
佐太の大神（137～140）：	出雲	島根郡加賀郷加賀神崎（上157～158）
佐太の大神（140）：	出雲	出雲郡黄泉の穴（上180）
たこ島・むかで島（140～141）：	出雲	島根郡蛸蛸嶋（上150～151）
たこ島・むかで島（141）：	出雲	島根郡蜈蚣嶋（上151）
藺の長浜（141～142）：	出雲	神門郡神門水海（上198～199）
出雲の国の須佐能袁の命（142～143）：	出雲	意宇郡安来郷由来譚（上128～129）
出雲の国の須佐能袁の命（143）：	出雲	島根郡山口郷（上144）
出雲の国の須佐能袁の命（143）：	出雲	島根郡方結郷（上145）
出雲の国の須佐能袁の命（142～143）：	出雲	飯石郡須佐郷（上202）
出雲の国の須佐能袁の命（143）：	出雲	大原郡佐世郷（上216）
出雲の国の須佐能袁の命（143）：	出雲	大原郡高麻山（上220）
出雲の国の須佐能袁の命（143）：	出雲	大原郡御室山（上220）
出雲の国の須佐能袁の命（143～144）：	出雲	秋鹿郡恵曇郷（上161）
出雲の国の須佐能袁の命（144）：	出雲	秋鹿郡多太郷（上161～162）

伊和の大神 (146) :	播磨	飾磨郡英賀 (上363)
伊和の大神 (146) :	播磨	揖保郡林田里伊勢野 (上378)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡釜戸 (上394~395)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡雲濃里 (上397)
伊和の大神 (147) :	播磨	揖保郡出水里 (上390~391)
伊和の大神 (148) :	播磨	飾磨郡伊和里 (上363~364)
伊和の大神 (148) :	播磨	宍粟郡安師里 (上401~402)
伊和の大神 (147~148) :	播磨	宍粟郡雲箇里 (上402)
伊和の大神 (148) :	播磨	宍粟郡波加村 (上402~403)
伊和の大神 (148) :	播磨	神前郡多駝里糠岡 (上407)
伊和の大神 (148) :	播磨	託賀郡黒田里 (上410~411)
伊和の大神 (149) :	播磨	讃容郡総記 (上392~393)
伊和の大神 (149~150) :	播磨	宍粟郡比治里 (上398~399)
伊和の大神 (150) :	播磨	宍粟郡石作里 (上402)
大穴持の命 (2) (152~155) :	播磨	神前郡壱岡 (上404~405)
大穴持の命 (2) (155~156) :	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか (上364~365)
大穴持の命 (2) (157) :	播磨	宍粟郡奪谷 (上399~400)
大穴持の命 (2) (157~158) :	播磨	宍粟郡御方里 (上403)
大穴持の命 (2) (158~159) :	播磨	揖保郡揖保里 (上389~390)
顕宗天皇と仁賢天皇 (166) :	播磨	美囊郡総記 (上421)
神島 (183) :	播磨	揖保郡神島 (上387)
顕宗天皇と仁賢天皇 (171~183) :	播磨	美囊郡志深里 (上421~423)
讃岐日子と氷上刀売 (184~186) :	播磨	託賀郡都麻里都太岐 (上411~412)
讃岐日子と氷上刀売 (186) :	播磨	託賀郡法太里 (上413)
蘇民将来 (186~188) :	備後	蘇民将来 (下341~342)
伊予の湯・熱田津 (226~229) :	伊予	温泉 (下356~359)
伊予の湯・熱田津 (229) :	伊予	天山 (下359~360)
筑紫 (230) :	筑後	筑後国号 (下395~396)
玉島川の鮎 (238~240) :	肥前	松浦郡総記 (下80~81)
ひれふりの峯 (240~241) :	肥前	松浦郡鏡の渡 (下81)
ひれふりの峯 (243) :	肥前	松浦郡褶振峰 (下81~82)
温泉と氷室 (249) :	豊後	速見郡赤温泉 (下36)
筑紫の君、磐井と、その墓 (247~249) :	筑後	磐井の墓 (下397~398)
温泉と氷室 (250) :	豊後	速見郡玖倍理湯 (下36)
温泉と氷室 (250) :	豊後	速見郡柚富峰 (下37)
餅の的 (251~253) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)
餅の的 (253) :	山城	南鳥部里・伊奈利社 (下140・141)
餅の的 (253~254) :	豊後	総記 (下26~27)
慍湯 (254~255) :	豊後	日田郡五馬山 (下29)
不知火 (255~256) :	肥前	総記 1 (下68~70)
不知火 (256~258) :	肥前	総記 2 (景行) (下68~70)
阿蘇 (259~260) :	筑紫	関宗岳 (下423~424)
高千穂 (262~263) :	日向	臼杵郡知鋪郷 (下433~434)

B077 西山敏夫 (1967) 『ふるさとはなし10九州・沖縄地方』 さ・え・ら書房

もちの的 (35) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)

B078 坪田譲治・浜田広介・村上知行ほか (1967) 『世界の名作図書館 3 日本神話／日本民話／東洋民話』 講談



社

天の羽衣 (126～133 浜田広介) : 近江 伊香小江 (下264～265)

B079 土屋由岐雄 (1968) 『カラー版・世界の幼年文学 (16) 日本おとぎ話 (日本説話集)』 偕成社  
はごろも (47～57) : 近江 伊香小江 (下264～265)

B080 松谷みよ子 (1968) 『日本の神話 1』 講談社

国びき (56～63) :	出雲	意宇郡総記 (上125～127)
ふくろをせおった神 (67) :	因幡	白兔 (下321～323)
へびのむろや (88) :	出雲	大原郡来次郷 (上217)
アメノヒボコ (89) :	出雲	意宇郡穴道郷 (上132)
アメノヒボコ (90) :	出雲	意宇郡出雲神戸 (上133)
アメノヒボコ (90～92) :	播磨	揖保郡揖保里 (上389～390)
アメノヒボコ (92) :	播磨	穴禾郡奪谷 (上399～400)
アメノヒボコ (92～93) :	播磨	穴禾郡御方里 (上403)
こびとの神 (105～107) :	播磨	神前郡聖岡 (上404～405)

B081 松谷みよ子 (1968) 『日本の神話 2』 講談社

ミンショウライ (78～80) :	備後	蘇民将来 (下341～342)
白鳥の里 (81～86) :	常陸	香島郡白鳥里 (上52)
夜刀の神 (90～94) :	常陸	行方郡提賀里 (上37～39)
刀我野のしか (95～99) :	摂津	夢野 (下160～161)
もちのまと (109～117) :	山城	南鳥部里・伊奈利社 (下140・141)
もちのまと (109～117) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)
もちのまと (110～112) :	豊後	速見郡頸の峯 (下37～38)
にぬりの矢 (118～119) :	山城	可茂社 (下134～135)
わににくわれたむすめ (120～122) :	出雲	意宇郡安来郷毘売崎 (上129～130)

B082 久保喬 (1968) 『日本の名作・世界の名作40 日本の神話』 盛光社

おこったワニザメ (65) :	因幡	白兔 (下321～323)
わらう神たち (103～105) :	播磨	神前郡聖岡 (上404～405)
わらう神たち (106～108) :	伊予	温泉 (下356～359)
島よこい (180～185) :	出雲	意宇郡総記 (上125～127)
山の神たち (186～191) :	常陸	筑波郡 (上26～27)
コトひき山 (192～193) :	出雲	神門郡高岸郷 (上193)
コトひき山 (194～197) :	出雲	仁多郡三津郷 (上208～209)
コトひき山 (198) :	出雲	飯石郡多祢郷 (上202)
コトひき山 (199～200) :	出雲	飯石郡琴引山 (上204)
コトひき山 (199) :	出雲	大原郡阿用郷 (上216)
石になった星 (201～206) :	播磨	揖保郡阿豆村 (上374)
石になった星 (205) :	播磨	揖保郡御橋山 (上376)
石になった星 (202～207) :	播磨	揖保郡狭野村神阜 (上376)
神の島 (208～213) :	播磨	揖保郡神島 (上387)
川の神と人形 (214～217) :	肥前	佐嘉郡総記 2 (下78～79)
追われた神さま (223～225) :	常陸	行方郡提賀里 (上37～39)
追われた神さま (223) :	出雲	楯縫郡神名備山 (上173～174)
川をよぶ神さま (229～232) :	播磨	揖保郡出水里 (上390～391)
神と人 (218～222) :	風土記外	(崇神記)



B083 よだじゅんいち (1969)『絵本むかしばなし 4 はごろも』国土社

[全] : 近江 伊香小江 (下264～265)

B084 樋口清之 (1969)『日本の神話：ものがたり』主婦の友社

国こい, 国こい (63～66) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)  
 こびとの神さま (90～91) : 伊予 温泉 (下356～359)  
 こびとの神さま (91～92) : 播磨 神前郡壱岡 (上404～405)  
 いじわる富士と親切筑波 (226～229) : 常陸筑波郡 (上26～27)  
 餅の的 (230～232) : 山城 可茂社 (下134～135)  
 餅の的 (232～233) : 山城 南鳥部里・伊奈利社 (下140・141)

B085 横皓志 (1969)『キンダーおはなしえほん第3集 9 はやとり』フレーベル館

[全] : 播磨 逸文明石駅家 (上425～426)

B086 坂本太郎・二反長半 (1970)『日本の神話伝説 3 天のはごろも』集英社

ふじ山とつくば山 (8～17) : 常陸 筑波郡 (上26～27)  
 へびの神 (18～23) : 常陸 行方郡提賀里 (上37～39)  
 天の鳥ぶえ (24～31) : 常陸 行方郡板来村 (上40～42)  
 松になったふたり (32～39) : 常陸 香島郡童子松原 (上50～52)  
 国びき (40～51) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)  
 わにぎめにくわれたむすめ (52～59) : 出雲 意宇郡安来郷毘売崎 (上129～130)  
 たたかうオオクニヌシ (60～63) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389～390)  
 たたかうオオクニヌシ (64～66) : 播磨 宍禾郡奪谷 (上399～400)  
 たたかうオオクニヌシ (67～69) : 播磨 宍禾郡御方里 (上403)  
 こびとの神さま (70～74) : 播磨 神前郡壱岡 (上404～405)  
 いのちのおんせん (75～77) : 伊予 温泉 (下356～359)  
 水あらそい (78～82) : 播磨 揖保郡出水里 (上390～391)  
 一夜でそだったなえ (83～85) : 播磨 讃容郡総記 (上392～393)  
 ふしぎなかな (86～92) : 播磨 讃容郡中川里人 (異剣) (上396)  
 もちになった白い鳥 (94～99) : 豊後 日田郡五馬山 (下29)  
 もちのまと (100～105) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)  
 ひかるよろい (106～107) : 肥前 基肆郡酒殿泉 (下71～72)  
 ひかるよろい (107～109) : 肥前 基肆郡姫社郷 (下72～73)  
 とうせんぼうをする神 (110～116) : 肥前 佐嘉郡総記 2 (下78～79)  
 かみなりがおとした矢 (118～125) : 山城 可茂社 (下134～135)  
 しかの夢うらない (126～129) : 摂津 夢野 (下160～161)  
 神風のふく国 (130～134) : 伊勢 国号 (下193～195)  
 天のはごろも (136～147) : 丹後 奈具社 (下302～306)  
 天からおちてきたはしご (148～151) : 丹後 天橋立 (下295)  
 浦島太郎 (152～168) : 丹後 水江浦島子 (下296～305)

B087 与田準一 (1970)『こどもの古典① わたしの古事記 おおくにぬしの冒険』童心社

うさぎとさめのものがたり (9～11) : 因幡 白兎 (下321～323)  
 あれ野のものがたり (80～89) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)  
 赤い玉のものがたり (161～164) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389～390)  
 はや鳥のうた (171～177) : 播磨 逸文明石駅家 (上425～426)  
 そみん・こたん兄弟ものがたり (178～191) : 備後 蘇民将来 (下341～342)  
 ものをいうくりの木 (166～170) : 風土記外

- B088 大木雄二 (1970)『世界の幼年文庫 8 日本神話』金の星社 (B038, B069)
- いなばのしろうさぎ (71) : 因幡 白兔 (下321~323)
- がまんくらべ (107~109) : 播磨 神前郡壱岡 (上404~405)
- ちからくらべ (109~113) : 伊予 温泉 (下356~359)
- 
- B089 神田秀夫 (1972)『日本古典物語全集 2 風土記物語』岩崎書店 (B053, B070, B076)
- 八槻 (7~10) : 陸奥 八槻郷 (下279~281)
- 八槻 (10~11) : 陸奥 飯豊山 (下281)
- 常陸の国 (12~15) : 常陸 総記 (上22~24)
- 富士と筑波 (19~22) : 常陸 筑波郡 (上26~27)
- 富士と筑波 (23) : 常陸 筑波郡騰波江 (上28)
- 霞ヶ浦 (23) : 常陸 信太郡浮島村 (上31)
- 霞ヶ浦 (23~24) : 常陸 信太郡総記 (上28~31)
- 霞ヶ浦 (23~24) : 常陸 信太郡乗浜 (上31)
- 黒坂の命 (27~29) : 常陸 茨城郡総記 1 (上31~32)
- 高浜 (29~30) : 常陸 茨城郡総記 2 (高浜) (上33~34)
- 夜刀の神 (30~32) : 常陸 行方郡提賀里 (上37~39)
- 麻生 (32~33) : 常陸 行方郡男高里 (上39)
- 麻生 (32~33) : 常陸 行方郡麻生里 (上39)
- 潮来 (33~34) : 常陸 行方郡板来村南洲 (上42)
- 潮来 (34~36) : 常陸 行方郡板来村 (上40~42)
- 鹿島 (36~37) : 常陸 香島郡総記 1 (設置・鹿島宮) (上44~46)
- 鹿島 (37~38) : 常陸 香島郡総記 2 (津宮) (上46~47)
- 鹿島 (38~39) : 常陸 香島郡総記 3 (神官居宅) (上48)
- 鹿島 (39) : 常陸 香島郡高松浜 (上49)
- 童子女の松原 (40) : 常陸 香島郡寒田沼 (上49~50)
- 童子女の松原 (40~44) : 常陸 香島郡童子松原 (上50~52)
- 那珂 (44~45) : 常陸 那賀郡大櫛 (上53)
- くれふしの山 (45~47) : 常陸 那賀郡晡時臥の山 (上53~55)
- くれふしの山 (48) : 常陸 那賀郡曝井 (上55)
- 久慈 (48) : 常陸 久慈郡小田里 (上57)
- 久慈 (49) : 常陸 久慈郡太田郷 (上57~58)
- 久慈 (50) : 常陸 久慈郡谷合山 (上56)
- 久慈 (50) : 常陸 久慈郡河内里 (上56)
- 久慈 (49~50) : 常陸 久慈郡静織里 (上56~57)
- 久慈 (50) : 常陸 久慈郡薩都里 (上58)
- 久慈 (50~51) : 常陸 久慈郡密筑里 (上59~60)
- 久慈 (51) : 常陸 久慈郡助川 (上60)
- かびれの高峯 (51~52) : 常陸 久慈郡賀毗礼嶺 (上58~59)
- 倭武の天皇と常陸の国 (61) : 常陸 総記 (上22~24)
- 倭武の天皇と常陸の国 (61) : 常陸 信太郡乗浜 (上31)
- 倭武の天皇と常陸の国 (61) : 常陸 久慈郡総記 (上55)
- 倭武の天皇と常陸の国 (61~63) : 常陸 多珂郡飽田 (上61~62)
- 倭武の天皇と常陸の国 (63) : 常陸 多珂郡藻島駅家 (上62~63)
- 倭武の天皇と常陸の国 (64) : 常陸 香島郡角折浜 (上52~53)
- 倭武の天皇と常陸の国 (64~65) : 常陸 行方郡芸都里 (上43)
- 倭武の天皇と常陸の国 (66) : 常陸 茨城郡桑原岳 (上34)
- 倭武の天皇と常陸の国 (66) : 常陸 行方郡無梶川 (上35~36)

倭武の天皇と常陸の国 (65～66) :	常陸	行方郡当麻郷 (上42～43)
倭武の天皇と常陸の国 (66～67) :	常陸	行方郡総記 (上34～35)
倭武の天皇と常陸の国 (64・67) :	常陸	行方郡相鹿里 (上44)
てこの呼坂 (70～73) :	駿河	てこの呼坂 (下236～238)
ははき木 (74～75) :	信濃	ははき木 (下278)
熱田の社 (76～77) :	尾張	熱田社 (下216)
伊勢の国 (79～80) :	伊勢	国号 (下193～195)
近江の国 (85～87) :	近江	伊香小江 (下264～265)
近江の国 (88) :	近江	竹生島 (下265～266)
宇治 (93～95) :	山城	宇治橋姫 (下139)
かもの社 (95～99) :	山城	可茂社 (下134～135)
夢野 (100～102) :	摂津	夢野 (下160～161)
奈具の社 (104～110) :	丹後	奈具社 (下302～306)
天の橋立 (110～112) :	丹後	天橋立 (下295)
筒川の島子 (112～121) :	丹後	水江浦島子 (下296～305)
国引き (126～130) :	出雲	意宇郡総記 (上125～127)
大穴持の命 (1) (130) :	出雲	意宇郡出雲神戸 (上133)
大穴持の命 (1) (131)・(佐太の大神) :	出雲	出雲 出雲郡宇賀郷 (上180)
大穴持の命 (1) (131) :	出雲	大原郡来次郷 (上217)
大穴持の命 (1) (131～132) :	出雲	神門郡朝山郷 (上192)
大穴持の命 (1) (132) :	出雲	神門郡八野郷 (上193)
大穴持の命 (1) (132) :	出雲	神門郡滑狭郷 (上193～194)
大穴持の命 (1) (132～133) :	出雲	仁多郡三津郷 (上208～209)
大穴持の命 (1) (133～134) :	出雲	意宇郡母理郷 (上128)
大穴持の命 (1) (133～134) :	出雲	意宇郡拝志郷 (上131～132)
大穴持の命 (1) (135) :	出雲	島根郡美保郷 (上145)
わにぎめ (135～137) :	出雲	意宇郡安来郷毘売崎 (上129～130)
佐太の大神 (139) :	出雲	島根郡加賀郷 (上145)
佐太の大神 (137～140) :	出雲	島根郡加賀郷加賀神崎 (上157～158)
佐太の大神 (140) :	出雲	出雲郡黄泉の穴 (上180)
たこ島・むかで島 (140～141) :	出雲	島根郡蛸蛸嶋 (上150～151)
たこ島・むかで島 (141) :	出雲	島根郡蜈蚣嶋 (上151)
藺の長浜 (141～142) :	出雲	神門郡神門水海 (上198～199)
出雲の国の須佐能袁の命 (142～143) :	出雲	意宇郡安来郷由来譚 (上128～129)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	島根郡山口郷 (上144)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	島根郡方結郷 (上145)
出雲の国の須佐能袁の命 (142～143) :	出雲	飯石郡須佐郷 (上202)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡佐世郷 (上216)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡高麻山 (上220)
出雲の国の須佐能袁の命 (143) :	出雲	大原郡御室山 (上220)
出雲の国の須佐能袁の命 (143～144) :	出雲	秋鹿郡恵曇郷 (上161)
出雲の国の須佐能袁の命 (144) :	出雲	秋鹿郡多太郷 (上161～162)
伊和の大神 (146) :	播磨	飾磨郡英賀 (上363)
伊和の大神 (146) :	播磨	揖保郡林田里伊勢野 (上378)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡釜戸 (上394～395)
伊和の大神 (146) :	播磨	讃容郡雲濃里 (上397)
伊和の大神 (147) :	播磨	揖保郡出水里 (上390～391)
伊和の大神 (148) :	播磨	飾磨郡伊和里 (上363～364)

伊和の大神 (148) :	播磨	宍禾郡安師里 (上401~402)
伊和の大神 (147~148) :	播磨	宍禾郡雲箇里 (上402)
伊和の大神 (148) :	播磨	宍禾郡波加村 (上402~403)
伊和の大神 (148) :	播磨	神前郡多駝里糠岡 (上407)
伊和の大神 (148) :	播磨	託賀郡黒田里 (上410~411)
伊和の大神 (149) :	播磨	讃容郡総記 (上392~393)
伊和の大神 (149~150) :	播磨	宍禾郡比治里 (上398~399)
伊和の大神 (150) :	播磨	宍禾郡石作里 (上402)
大穴持の命 (2) (152~155) :	播磨	神前郡聖岡 (上404~405)
大穴持の命 (2) (155~156) :	播磨	飾磨郡伊和里船丘ほか (上364~365)
大穴持の命 (2) (157) :	播磨	宍禾郡奪谷 (上399~400)
大穴持の命 (2) (157~158) :	播磨	宍禾郡御方里 (上403)
大穴持の命 (2) (158~159) :	播磨	揖保郡揖保里 (上389~390)
顕宗天皇と仁賢天皇 (166) :	播磨	美囊郡総記 (上421)
神島 (183) :	播磨	揖保郡神島 (上387)
顕宗天皇と仁賢天皇 (171~183) :	播磨	美囊郡志深里 (上421~423)
讃伎日子と氷上刀売 (184~186) :	播磨	託賀郡都麻里都太岐 (上411~412)
讃伎日子と氷上刀売 (186) :	播磨	託賀郡法太里 (上413)
蘇民将来 (186~188) :	備後	蘇民将来 (下341~342)
伊予の湯・熱田津 (226~229) :	伊予	温泉 (下356~359)
伊予の湯・熱田津 (229) :	伊予	天山 (下359~360)
筑紫 (230) :	筑後	筑後国号 (下395~396)
玉島川の鮎 (238~240) :	肥前	松浦郡総記 (下80~81)
ひれふりの峯 (240~241) :	肥前	松浦郡鏡の渡 (下81)
ひれふりの峯 (243) :	肥前	松浦郡褶振峰 (下81~82)
温泉と氷室 (249) :	豊後	速見郡赤温泉 (下36)
筑紫の君、磐井と、その墓 (247~249) :	筑後	磐井の墓 (下397~398)
温泉と氷室 (250) :	豊後	速見郡玖倍理湯 (下36)
温泉と氷室 (250) :	豊後	速見郡袖富峰 (下37)
餅の的 (251~253) :	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)
餅の的 (253) :	山城	南鳥部里・伊奈利社 (下140・141)
餅の的 (253~254) :	豊後	総記 (下26~27)
慍湯 (254~255) :	豊後	日田郡五馬山 (下29)
不知火 (255~256) :	肥前	総記 1 (下68~70)
不知火 (256~258) :	肥前	総記 2 (景行) (下68~70)
阿蘇 (259~260) :	筑紫	関宗岳 (下423~424)
高千穂 (262~263) :	日向	白杵郡知鋪郷 (下433~434)

## B090 北畠八穂 (1972) 『カラー版世界の名作4 日本むかし話』ポプラ社

いなばの白うさぎ (60) :	因幡	ウサギ (下321~323)
天の羽衣 (95~109) :	丹後	比治 (下302~306)
しゃべる木 うたう木 (84~94) :	風土記外	

## B091 福田清人 (1972) 『全1冊版シリーズ 日本の神話・世界の神話』実業之日本社

アメノヒボコとオオクニヌシノミコト (99~101) :	播磨	揖保郡揖保里 (上389~390)
アメノヒボコとオオクニヌシノミコト (101) :	播磨	宍禾郡川音村 (上399)
アメノヒボコとオオクニヌシノミコト (101) :	播磨	宍禾郡奪谷 (上399~400)
アメノヒボコとオオクニヌシノミコト (101) :	播磨	宍禾郡御方里 (上403)

富士と筑波の山（112～114）：	常陸	筑波郡（上26～27）
五色の目玉の神（115～117）：	播磨	揖保郡神島（上387）
乱暴な神（122～123）：	肥前	基肆郡姫社郷（下72～73）
乱暴な神（123～124）：	肥前	佐嘉郡総記2（下78～79）
天女の羽衣（118～121）：	丹後	奈具社（下302～306）

B092 福田清人（1972）『文研児童読書館 白鳥になったおもち』文研出版

ふじ山のゆき（5～12）：	常陸	筑波郡（上26～27）
へびのかみさま（13～19）：	常陸	行方郡提賀里（上37～39）
かちいくさのおながく（20～27）：	常陸	行方郡板来村（上40～42）
五色のなみだ（28～34）：	播磨	揖保郡神島（上387）
のびちぢみする刀（35～41）：	播磨	讃容郡中川里人（異剣）（上396）
白鳥になったおもち（42～49）：	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
ひれふりの山（50～53）：	肥前	松浦郡鏡の渡（下81）
ひれふりの山（53～59）：	肥前	松浦郡褶振峰（下81～82）
うらしまものがたり（60～78）：	丹後	水江浦島子（下296～305）

B093 松谷みよ子（1973）『松谷みよ子のむかしむかし 4 日本の神話1』講談社（B080）

国びき（56～63）：	出雲	意宇郡総記（上125～127）
ふくろをせおった神（67）：	因幡	白兎（下321～323）
へびのむろや（88）：	出雲	大原郡来次郷（上217）
アメノヒボコ（89）：	出雲	意宇郡穴道郷（上132）
アメノヒボコ（90）：	出雲	意宇郡出雲神戸（上133）
アメノヒボコ（90～92）：	播磨	揖保郡揖保里（上389～390）
アメノヒボコ（92）：	播磨	穴禾郡奪谷（上399～400）
アメノヒボコ（92～93）：	播磨	穴禾郡御方里（上403）
こびとの神（105～107）：	播磨	神前郡壱岡（上404～405）

B094 松谷みよ子（1973）『松谷みよ子のむかしむかし 5 日本の神話2』講談社（B081）

ソミンショウライ（78～80）：	備後	蘇民将来（下341～342）
白鳥の里（81～86）：	常陸	香島郡白鳥里（上52）
夜刀の神（90～94）：	常陸	行方郡提賀里（上37～39）
刀我野のしか（95～99）：	摂津	夢野（下160～161）
もちのまと（109～117）：	山城	南鳥部里・伊奈利社（下140・141）
もちのまと（109～117）：	豊後	速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）
もちのまと（110～112）：	豊後	速見郡頸の峯（下37～38）
にぬりの矢（118～119）：	山城	可茂社（下134～135）
わにくわれたむすめ（120～122）：	出雲	意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）

B095 宮沢章二（1975）『キンダーおはなしえほん 第8集1 もちのまと』フレーベル館  
[全]：

豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

B096 名作選定委員会（1976）『ワイドカラー版 少年少女世界の名作45日本編1』小学館

蘇民将来と茅草の輪（208～209 倉島栄子）：	備後	蘇民将来（下341～342）
速鳥（209 倉島栄子）：	播磨	逸文明石駅家（上425～426）
奈具の社（210～213 倉島栄子）：	丹後	奈具社（下302～306）
きじを食べない村（213～216 倉島栄子）：	常陸	多珂郡逸文伊福部岳（下255～256）
火の国（216 倉島栄子）：	肥前	総記2（景行）（下68～70）



- 志深の里（216～219 倉島栄子）：播磨 美囊郡志深里（上421～423）  
 波自賀村，聖岡（219～220 倉島栄子）：播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 毘売崎（220～221 倉島栄子）：出雲 意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）  
 意宇の郡（221～223 倉島栄子）：出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 飽田の村（223～224 倉島栄子）：常陸 多珂郡飽田（上61～62）  
 富士の神と筑波の神（224～225 倉島栄子）：常陸 筑波郡（上26～27）

B097 与田準一（1978）『学研おはなしえほん第9巻第10号 もちのまとー風土記より』学研  
 [全]： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

- B098 小島環礼（1983）『世界の神話10 164／日本の神話』筑摩書房  
 粒の丘（187～188）： 播磨 揖保郡揖保里（上389～390）  
 国の主と国占め競争（189）： 播磨 宍禾郡比治里（上398～399）  
 国の主と国占め競争（189）： 播磨 宍禾郡川音村（上399）  
 国の主と国占め競争（189）： 播磨 宍禾郡奪谷（上399～400）  
 国の主と国占め競争（190）： 播磨 宍禾郡高家里（上400）  
 国の主と国占め競争（190）： 播磨 宍禾郡伊奈加川（上400～401）  
 国の主と国占め競争（190）： 播磨 宍禾郡飯戸阜（上401）  
 国の主と国占め競争（190～191）： 播磨 宍禾郡御方里（上403）  
 国の主と国占め競争（192）： 播磨 宍禾郡波加村（上402～403）  
 イワの大神との神戦（192）： 播磨 神前郡多駝里糠岡（上407）

B099 間所ひさこ（1984）『学習版／世界名作童話全集別巻3 日本の神話 やまたのおろち』小学館  
 ふじ山とつくば山（75～88）： 常陸 筑波郡（上26～27）

- B100 花岡大学（1988）『NHK 放送台本 おはなしの森世界の神話 2』同朋社出版  
 国びき（139～144）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 フジとツクバ（157～161）： 常陸 筑波郡（上26～27）

B101 山口ゆたか（1988）『バラ色のたまご』武蔵野書院  
 速鳥（51～56）： 播磨 逸文明石駅家（上425～426）

- B102 高橋健二・金田一春彦監修（1989）『日本おはなし名作全集第6巻 うらしまたろう』小学館  
 富士山と筑波山（24～35 小沢正）：常陸 筑波郡（上26～27）  
 もちのまと（70～79 谷真介）：豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
 ふしぎなおきゃくさん（80～89 岡信子）：備後 蘇民将来（下341～342）

B103 西野綾子（1989）『日本の神話⑤ ちいさな神さま』ひくまの出版  
 がまんくらべ（40～51）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 スクナヒコがたいへんだ！（52～59）さようならオオクニヌシ（60～70）：伊予 温泉（下356～359）

- B104 萩原昌好（1990）『絵で見るたのしい古典1 古事記・風土記』学習研究社  
 富士山と筑波山（44～46）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
 松になった少女と少年（47～48）：常陸 香島郡童子松原（上50～52）  
 出雲の国引き（49～50）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 我慢くらべ（50～51）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 豊の国という名のおこり（52～53）：豊後 総記（下26～27）  
 “火の国”と不知火（53）： 肥前 総記1（下68～70）



“火の国”と不知火（53～54）： 肥前 総記2（景行）（下68～70）  
 天に帰れなかった天女（54～56）： 丹後 奈具社（下302～306）

B105 黛弘道監修（1990）『学参まんが 古事記・日本書紀ものがたり⑤ 風土記の世界』ぎょうせい

常陸の国名の由来（5～6）： 常陸 総記（上22～24）  
 富士山と筑波山（7～9）： 常陸 筑波郡（上26～27）  
 茨城の地名の由来（10～11）： 常陸 茨城郡総記1（上31～32）  
 邪魔のすきな夜刀の神（12～15）： 常陸 行方郡提賀里（上37～39）  
 いくさのかけひき（16～21）： 常陸 行方郡板来村（上40～42）  
 松の木になった恋人たち（22～27）： 常陸 香島郡童子松原（上50～52）  
 ヘビの子を産んだ娘（28～33）： 常陸 那賀郡晡時臥の山（上53～55）  
 大小便のたたり（34～37）： 常陸 久慈郡賀毗礼嶺（上58～59）  
 出雲の国名の由来（39）： 出雲 総記（上122）  
 出雲の国引き（40～43）： 出雲 意宇郡総記（上125～127）  
 人食いザメへの復しゅう（44～47）： 出雲 意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）  
 景行天皇と別嬢（49～57）： 播磨 賀古郡（上354～359）  
 伊和の里の十四の丘（58～61）： 播磨 飾磨郡伊和里船丘ほか（上364～365）  
 神さまのがまんくらべ（62～65）： 播磨 神前郡聖岡（上404～405）  
 志深の里の二人の皇子（66～73）： 播磨 美囊郡志深里（上421～423）  
 豊後の国名の由来（75～77）： 豊後 総記（下26～27）  
 白い鳥になった餅（78～81）： 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）  
 肥前の国名の由来（82～85）： 肥前 総記1（下68～70）  
 不知火の名の由来（86～88）： 肥前 総記2（景行）（下68～70）  
 佐賀の地名の由来（89～91）： 肥前 佐嘉郡総記1（下78）  
 佐賀の地名の由来（91～94）： 肥前 佐嘉郡総記2（下78～79）  
 アユをつった神功皇后（95～98）： 肥前 松浦郡総記（下80～81）  
 大伴狭手彦と弟日姫子（99～104）： 肥前 松浦郡鏡の渡（下81）  
 大伴狭手彦と弟日姫子（105～109）： 肥前 松浦郡褶振峰（下81～82）  
 雷神とキジ（116～120）： 常陸 多珂郡逸文伊福部岳（下255～256）  
 日本武尊の蝦夷退治（111～115）： 陸奥 八槻郷（下279～281）  
 羽衣伝説（121～125）： 近江 伊香小江（下264～265）  
 天女と恩知らずの夫婦（126～133）： 丹後 奈具社（下302～306）  
 水の江の浦島の子（134～149）： 丹後 水江浦島子（下296～305）  
 シカの夫婦の夢判断（150～153）： 摂津 夢野（下160～161）  
 伊勢の国名の由来（154～159）： 伊勢 国号（下193～195）  
 蘇民将来（160～164）： 備後 蘇民将来（下341～342）  
 いなばのしろさぎ（165～169）： 因幡 白兎（下321～323）  
 温泉の効能（170～171）： 伊予 温泉（下356～359）  
 志賀島の地名の由来（172～173）： 筑前 志珂嶋（下376）  
 磐井君の墓（174～178）： 筑後 磐井の墓（下397～398）  
 日向の国名の由来（179～182）： 日向 国号（下431～432）  
 昼と夜のおこり（183～186）： 日向 白杵郡知鋪郷（下433～434）

B106 木村淳・戸室靖和（1995）『たのしいはなし全書 日本・アジア編』東陽出版

羽ごろも（10～12）： 丹後 奈具社（下302～306）  
 浦島太郎（12～16）： 丹後 水江浦島子（下296～305）

B107 与田準一（1998）『はじめてであう日本の古典1 古事記・風土記 やまたのおろち（新装改訂版.）』小

## 峰書店 (B074)

- 富士山と筑波山 (164~167) : 常陸 筑波郡 (上26~27)  
 天人のはごろも (175~188) : 近江 伊香小江 (下264~265)  
 天人のはごろも (188~192) : 丹後 奈具社 (下302~306)  
 こたんとそみんきょうだい (193~200) : 備後 蘇民将来 (下341~342)  
 白いもち白い鳥 (201~203) : 山城 南鳥部里・伊奈利社 (下140・141)  
 白いもち白い鳥 (203~204) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)  
 赤い玉 (209~210) 播磨 揖保郡揖保里 (上389~390)  
 ものいうクリの木 (168~172) : 風土記外

## B108 松谷みよ子 (2001)『日本の神話』のら書店 (B081の復刻ではない)

- 国引き (59~66) : 出雲 意宇郡総記 (上125~127)  
 袋を背負った神 (70) : 因幡 白兔 (下321~323)  
 蛇の室屋 (92) : 出雲 大原郡来次郷 (上217)  
 異国の神 アメノヒボコ (95~98) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389~390)  
 異国の神 アメノヒボコ (98) : 播磨 宍禾郡奪谷 (上399~400)  
 異国の神 アメノヒボコ (99) : 播磨 宍禾郡御方里 (上403)  
 こびとの神 (114~116) 播磨 神前郡壱岡 (上404~405)

## B109 与田準一 (2009)『わたしの古典古事記』童心社 (B087と同内容)

- うさぎとさめのものがたり (6~8) : 因幡 ウサギ (下321~323)  
 あれ野のものがたり (78~87) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)  
 赤い玉のものがたり (157~161) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389~390)  
 はや鳥のうた (168~174) : 播磨 逸文明石駅家 (上425~426)  
 そみん・こたん兄弟のものがたり (176~189) : 備後 蘇民将来 (下341~342)

## B110 松谷みよ子 (2010)『決定版 心をそだてる 松谷みよ子の日本の神話』講談社

- 国引き (56~61) : 出雲 意宇郡総記 (上125~127)  
 ふくろをせおった神 (67~68) : 因幡 白兔 (下321~323)  
 へびの室屋 (88) : 出雲 大原郡来次郷 (上217)  
 アメノヒボコ (91) : 出雲 意宇郡宍道郷 (上132)  
 アメノヒボコ (91) : 出雲 意宇郡出雲神戸 (上133)  
 アメノヒボコ (91~93) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389~390)  
 アメノヒボコ (93~94) : 播磨 宍禾郡奪谷 (上399~400)  
 アメノヒボコ (94) : 播磨 宍禾郡御方里 (上403)  
 こびとの神 (102~105) : 播磨 神前郡壱岡 (上404~405)  
 ソミンショウライ (238~241) : 備後 蘇民将来 (下341~342)  
 もちのまと (242~249) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)  
 もちのまと (242~249) : 山城 南鳥部里・伊奈利社 (下140・141)  
 もちのまと (243~246) : 豊後 速見郡頸の峯 (下37~38)

## B111 青山由紀／編 (2010)『光村の国語 はじめて出会う古典作品集 5 古事記・風土記・今昔物語・宇治拾遺物語・十訓抄・沙石集・御伽草子・伊曾保物語』光村教育図書

- 筑波山と富士山 (22~25) : 常陸 筑波郡 (上26~27)  
 国引き (26~29) : 出雲 意宇郡総記 (上125~127)  
 もちの的 (30) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410~411)

## B112 岡崎ひでたか (2011)『ゆかいな神さまスクナピコナのがまんくらべ』新日本出版

[全] : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)

B113 田中貴子監修. (2012)『絵で見てわかるはじめての古典.1巻古事記・風土記』学研教育出版

富士山と筑波山 (32～33) : 常陸 筑波郡 (上26～27)  
出雲の国引き (34～35) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)  
天女の羽衣 (36～37) : 丹後 奈具社 (下302～306)  
各地に出現! だいだらぼっち (40) : 常陸 那賀郡大櫛 (上53)  
播磨 託賀郡総記 (上409～410)  
一つ目の鬼とアヨ (42～43) : 出雲 大原郡阿用郷 (上216)  
がまんくらべ (38～39) : 播磨 神前郡聖岡 (上404～405)

B114 ななじ眺 (2014)『ねひめのとき一根日女伝説×『パフェちっく!』』神戸新聞総合印刷

[全] : 播磨 賀毛郡玉野村 (上416～417)  
[全] : 播磨 美囊郡志深里 (上421～423)

B115 小川こころ (2016)『大人も子どもも読んで、聞かせて、楽しんで日本の神様のお話上』東京書店

ヤトノカミ (158～163) : 常陸 行方郡提賀里 (上37～39)  
白鳥の里 (164～169) : 常陸 香島郡白鳥里 (上52)  
国引き神話 (170～175) : 出雲 意宇郡総記 (上125～127)  
恋山 (176～181) : 出雲 仁多郡恋山 (上211)  
サメに食われた娘 (182～189) : 出雲 意宇郡安来郷毘売崎 (上129～130)  
もちの的 (150～157) : 豊後 速見郡田野・逸文球珠郡田野 (下38・410～411)  
刀我野のシカ (190～195) : 摂津 夢野 (下160～161)  
びんぼう神 (196～203) : 風土記外

B116 小川こころ (2016)『大人も子どもも読んで、聞かせて、楽しんで日本の神様のお話下』東京書店

ソミンショウライ (170～177) : 備後 蘇民将来 (下341～342)  
イナビノオオイラツメ (178～183) : 播磨 賀古郡 (上354～359)  
オオクニヌシとアメノヒボコ (184～187) : 播磨 揖保郡揖保里 (上389～390)  
オオクニヌシとアメノヒボコ (187～189) : 播磨 宍粟郡御方里 (上403)  
ミルカシヒメ (198～203) : 肥前 松浦郡賀周里 (下82～83)  
水の神の文使い (190～197) : 風土記外

## 索引第2部 地名索引

## 常陸

総記（上22～24）

- B053 神田秀夫（1958）： 常陸の国（12～15）・倭武の天皇と常陸の国（61）  
 B070 神田秀夫（1964）： 常陸の国（12～15）・倭武の天皇と常陸の国（61）  
 B071 松下宗彦（1964）： 常陸の国（53～54）  
 B076 神田秀夫（1966）： 常陸の国（12～15）・倭武の天皇と常陸の国（61）  
 B089 神田秀夫（1972）： 常陸の国（12～15）・倭武の天皇と常陸の国（61）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 常陸の国名の由来（5～6）

新治郡（白壁郡）笠間村（上25）

筑波郡（上26～27）

- A005 巖谷小波（1912）： 虹の衣（415～419）  
 A011 巖谷小波（1920）： 虹の衣（406～410）  
 A015 松村武雄（1924）： 富士と筑波（143～144）  
 A077 与田準一・川崎大治（1967）： 富士の山と 筑波の山（38～44 来栖良夫）  
 A093 おのちゅうこう（1977）： ふじさんとつくばさん  
 A102 松村武雄（1989）： 富士と筑波（143～144）  
 B007 楠山正雄（1921）： 富士の山と筑波の山（611～613）  
 B010 丸山林平（1935）： 蘇民将来（解説 78）  
 B016 楠山正雄（1938）： 富士の山と筑波の山（430～431）  
 B024 楠山正雄（1947）： ふじの山つくばの山（21～24）  
 B027 楠山正雄（1949）： ふじの山つくばのやま（61～63）  
 B031 楠山正雄（1953）： ふじの山つくばのやま（61～63）  
 B034 片桐顕智ほか編（1954）： ふじと つくば（21～24 神山裕一）  
 B037 岡本良雄・阿貴良一（1955）： ふじの山とつくばの山（255～261）  
 B040 久保喬（1955）： 山のかみさま（65～72）  
 B041 平塚武二（1956）： 富士山と筑波山（214～216）  
 B043 花岡大学（1957）： フジとツクバ（168～176）  
 B044 関敬吾（1957）： 富士と筑波（157～160）  
 B049 徳永寿美子（1957）： ふじのやまと つくばのやま（102～110）  
 B050 久保喬（1957）： 白い山と青い山（172～175）  
 B053 神田秀夫（1958）： 富士と筑波（19～22）  
 B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）： フジ山とツクバ山（257～259）  
 B059 坪田譲治（1960）： 富士山と筑波山（211～213）  
 B060 福田清人（1961）： 富士山と筑波山（276～278）  
 B061 福田清人（1961）： 富士の山と筑波の山（336～338）  
 B064 片桐顕智ほか編（1962）： ふじと つくば（21～24 神山裕一）  
 B067 関敬吾（1962）： 富士と筑波（157～160）  
 B070 神田秀夫（1964）： 富士と筑波（19～22）  
 B071 松下宗彦（1964）： 福慈（富士）と筑波（54～57）  
 B072 花岡大学（1965）： フジとツクバ（469～473）  
 B073 坪田譲治（1966）： 富士山と筑波山（211～213）  
 B074 与田準一（1966）： 富士山と筑波山（164～167）  
 B076 神田秀夫（1966）： 富士と筑波（19～22）  
 B082 久保喬（1968）： 山の神たち（186～191）

- B084 樋口清之（1969）： いじわる富士と親切筑波（226～229）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）： ふじ山とつくば山（8～17）  
 B089 神田秀夫（1972）： 富士と筑波（19～22）  
 B091 福田清人（1972）： 富士と筑波の山（112～114）  
 B092 福田清人（1972）： ふじ山のゆき（5～12）  
 B096 名作選定委員会（1976）： 富士の神と筑波の神（224～225 倉島栄子）  
 B099 間所ひさこ（1984）： ふじ山とつくば山（75～88）  
 B100 花岡大学（1988）： フジとツクバ（157～161）  
 B102 高橋健二・金田一春彦監修（1989）： 富士山と筑波山（24～35 小沢正）  
 B104 萩原昌好・野村昇司（1990）： 富士山と筑波山（44～46）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 富士山と筑波山（7～9）  
 B107 与田準一（1998）： 富士山と筑波山（164～167）  
 B111 青山由紀（2010）： 筑波山と富士山（22～25）  
 B113 田中貴子監修（2012）： 富士山と筑波山（32～33）

筑波郡騰波江（上28）

- B053 神田秀夫（1958）： 富士と筑波（23）  
 B070 神田秀夫（1964）： 富士と筑波（23）  
 B076 神田秀夫（1966）： 富士と筑波（23）  
 B089 神田秀夫（1972）： 富士と筑波（23）

信太郡総記（上28～31）

- B053 神田秀夫（1958）： 霞ヶ浦（23～24）  
 B070 神田秀夫（1964）： 霞ヶ浦（23～24）  
 B076 神田秀夫（1966）： 霞ヶ浦（23～24）  
 B089 神田秀夫（1972）： 霞ヶ浦（23～24）

信太郡総記逸文（上29）

- B071 松下宗彦（1964）： 信太の郡（114～115）

信太郡乗浜（上31）

- B053 神田秀夫（1958）： 霞ヶ浦（23～24）・倭武の天皇と常陸の国（61）  
 B070 神田秀夫（1964）： 霞ヶ浦（23～24）・倭武の天皇と常陸の国（61）  
 B076 神田秀夫（1966）： 霞ヶ浦（23～24）・倭武の天皇と常陸の国（61）  
 B089 神田秀夫（1972）： 霞ヶ浦（23～24）・倭武の天皇と常陸の国（61）

信太郡浮島村（上31）

- B053 神田秀夫（1958）： 霞ヶ浦（23）  
 B070 神田秀夫（1964）： 霞ヶ浦（23）  
 B076 神田秀夫（1966）： 霞ヶ浦（23）  
 B089 神田秀夫（1972）： 霞ヶ浦（23）

茨城郡総記1（上31～32）

- B041 平塚武二（1956）： イバラギの名のはじめ（212～213）  
 B053 神田秀夫（1958）： 黒坂の命（27～29）  
 B070 神田秀夫（1964）： 黒坂の命（27～29）  
 B071 松下宗彦（1964）： 茨城（57～58）  
 B076 神田秀夫（1966）： 黒坂の命（27～29）



- B089 神田秀夫（1972）： 黒坂の命（27～29）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 茨城の地名の由来（10～11）

茨城郡総記 2（高浜）（上33～34）

- B053 神田秀夫（1958）： 高浜（29～30）  
 B070 神田秀夫（1964）： 高浜（29～30）  
 B076 神田秀夫（1966）： 高浜（29～30）  
 B089 神田秀夫（1972）： 高浜（29～30）

茨城郡桑原岳（上34）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（66）  
 B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（66）  
 B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（66）  
 B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（66）

行方郡総記（上34～35）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）  
 B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）  
 B071 松下宗彦（1964）： 行方の郡（58～59）  
 B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）  
 B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）

行方郡無梶川（上35～36）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）  
 B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）  
 B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）  
 B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（66～67）

行方郡郡家（上36～37）

- B010 丸山林平（1935）： 行方の大櫓（67）

行方郡提賀里（上37～39）

- A019 吉田助治（1926）： 夜刀の神（211～212）  
 A077 与田準一・川崎大治（1967）： 神さまより つよい男（62～66 来栖良夫）  
 B036 片桐顕智ほか編（1954）： へびの神（117～119 神山裕一）  
 B050 久保喬（1957）： 追われた神（222～223）  
 B053 神田秀夫（1958）： 夜刀の神（30～32）  
 B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）： 夜刀の神（246～247）  
 B059 坪田譲治（1960）： 夜刀の神（214～216）  
 B061 福田清人（1961）： へびの神（343～345）  
 B066 片桐顕智ほか編（1962）： へびの神（117～119 神山裕一）  
 B070 神田秀夫（1964）： 夜刀の神（30～32）  
 B071 松下宗彦（1964）： 夜刀の神（60～61）  
 B073 坪田譲治（1966）： 夜刀の神（214～216）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）： 神蛇（158～160 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： 夜刀の神（30～32）  
 B081 松谷みよ子（1968）： 夜刀の神（90～94）  
 B082 久保喬（1968）： 追われた神さま（223～225）

- B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : へびの神 (18~23)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 夜刀の神 (30~32)  
 B092 福田清人 (1972) : へびのかみさま (13~19)  
 B094 松谷みよ子 (1973) : 夜刀の神 (90~94)  
 B105 黛弘道監修 (1990) : 邪魔のすきな夜刀の神 (12~15)  
 B115 小川こころ (2016) : ヤトノカミ (158~163)

行方郡男高里 (上39)

- B053 神田秀夫 (1958) : 麻生 (32~33)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 麻生 (32~33)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 麻生 (32~33)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 麻生 (32~33)

行方郡麻生里 (上39)

- B053 神田秀夫 (1958) : 麻生 (32~33)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 麻生 (32~33)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 麻生の里・香澄の里 (61~63)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 麻生 (32~33)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 麻生 (32~33)

行方郡香澄里 (上39~40)

- B071 松下宗彦 (1964) : 麻生の里・香澄の里 (61~63)

行方郡板来村 (上40~42)

- A043 堀田松三郎 (1944) : きしまぶり (1~19)  
 B053 神田秀夫 (1958) : 潮来 (34~36)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 潮来 (34~36)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 板来の村 (63~67)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 潮来 (34~36)  
 B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : 天の鳥ぶえ (24~31)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 潮来 (34~36)  
 B092 福田清人 (1972) : かちいくさのおんがく (20~27)  
 B105 黛弘道監修 (1990) : いくさのかけひき (16~21)

行方郡板来村南洲 (上42)

- B053 神田秀夫 (1958) : 潮来 (33~34)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 潮来 (33~34)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 潮来 (33~34)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 潮来 (33~34)

行方郡当麻郷 (上42~43)

- B053 神田秀夫 (1958) : 倭武の天皇と常陸の国 (65~66)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 倭武の天皇と常陸の国 (65~66)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 当麻の郷 (67~68)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 倭武の天皇と常陸の国 (65~66)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 倭武の天皇と常陸の国 (65~66)

行方郡芸都里（上43）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（64～65）  
B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（64～65）  
B071 松下宗彦（1964）： 芸都の里（69～70）  
B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（64～65）  
B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（64～65）

行方郡田里（上43～44）

- B071 松下宗彦（1964）： 田の里（70）

行方郡相鹿里（上44）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（64・67）  
B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（64・67）  
B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（64・67）  
B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（64・67）

香島郡総記1（設置・鹿島宮）（上44～46）

- B053 神田秀夫（1958）： 鹿島（36～37）  
B061 福田清人（1961）： カシマノ大神（339～342）  
B070 神田秀夫（1964）： 鹿島（36～37）  
B071 松下宗彦（1964）： 香島の郡（71～72）  
B076 神田秀夫（1966）： 鹿島（36～37）  
B089 神田秀夫（1972）： 鹿島（36～37）

香島郡総記2（津宮）（上46～47）

- B053 神田秀夫（1958）： 鹿島（37～38）  
B070 神田秀夫（1964）： 鹿島（37～38）  
B071 松下宗彦（1964）： 津の宮（72～73）  
B076 神田秀夫（1966）： 鹿島（37～38）  
B089 神田秀夫（1972）： 鹿島（37～38）

香島郡総記3（神官居宅）（上48）

- B053 神田秀夫（1958）： 鹿島（38～39）  
B070 神田秀夫（1964）： 鹿島（38～39）  
B071 松下宗彦（1964）： 春の花と秋のもみじ（74～77）・郡家（77～78）  
B076 神田秀夫（1966）： 鹿島（38～39）  
B089 神田秀夫（1972）： 鹿島（38～39）

香島郡高松浜（上49）

- B053 神田秀夫（1958）： 鹿島（39）  
B070 神田秀夫（1964）： 鹿島（39）  
B076 神田秀夫（1966）： 鹿島（39）  
B089 神田秀夫（1972）： 鹿島（39）

香島郡寒田沼（上49～50）

- B053 神田秀夫（1958）： 童子女の松原（40）  
B070 神田秀夫（1964）： 童子女の松原（40）  
B076 神田秀夫（1966）： 童子女の松原（40）

B089 神田秀夫（1972）： 童子女の松原（40）

香島郡童子松原（上50～52）

- A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）：処女松原（334～337）  
 A019 吉田助治（1926）： 童子女松原（225～226）  
 A077 与田準一・川崎大治（1967）：はまの 二本松（151～154 来栖良夫）  
 B053 神田秀夫（1958）： 童子女の松原（40～44）  
 B070 神田秀夫（1964）： 童子女の松原（40～44）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）：奈美松，古津松（160～163 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： 童子女の松原（40～44）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）：松になったふたり（32～40）  
 B089 神田秀夫（1972）： 童子女の松原（40～44）  
 B104 萩原昌好・野村昇司（1990）：松になった少女と少年（47～48）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 松の木になった恋人たち（22～27）

香島郡白鳥里（上52）

- A077 与田準一・川崎大治（1967）：白い鳥（75～79 来栖良夫）  
 A084 松谷みよ子・大川悦生（1973）：白鳥の里（86～89 松谷みよ子）  
 B040 久保喬（1955）： 白いとりの子どもたち（73～86）  
 B050 久保喬（1957）： ハクチョウのこどもたち（226～233）  
 B059 坪田譲治（1960）： 白鳥の里（216～217）  
 B073 坪田譲治（1966）： 白鳥の里（216～217）  
 B081 松谷みよ子（1968）： 白鳥の里（81～86）  
 B094 松谷みよ子（1973）： 白鳥の里（81～86）  
 B115 小川こころ（2016）： 白鳥の里（164～169）

香島郡角折浜（上52～53）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（64）  
 B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（64）  
 B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（64）  
 B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（64）

那賀郡大櫛（上53）

- B053 神田秀夫（1958）： 那珂（44～45）  
 B070 神田秀夫（1964）： 那珂（44～45）  
 B071 松下宗彦（1964）： 大櫛の岡（78～79）  
 B076 神田秀夫（1966）： 那珂（44～45）  
 B089 神田秀夫（1972）： 那珂（44～45）  
 B113 田中貴子監修（2012）： 各地に出現！ だいだらぼっち（40）

那賀郡晡時臥の山（上53～55）

- A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）：晡時臥山の蛇（323～326）  
 B053 神田秀夫（1958）： くれふしの山（45～47）  
 B060 福田清人（1961）： さかずきのへび（278～281）  
 B061 福田清人（1961）： へびの神（346～348）  
 B070 神田秀夫（1964）： くれふしの山（45～47）  
 B076 神田秀夫（1966）： くれふしの山（45～47）  
 B089 神田秀夫（1972）： くれふしの山（45～47）

B105 黛弘道監修 (1990) : ヘビの子を産んだ娘 (28~33)

那賀郡曝井 (上55)

B053 神田秀夫 (1958) : くれふしの山 (48)  
B070 神田秀夫 (1964) : くれふしの山 (48)  
B071 松下宗彦 (1964) : 曝井 (79~80)  
B076 神田秀夫 (1966) : くれふしの山 (48)  
B089 神田秀夫 (1972) : くれふしの山 (48)

久慈郡総記 (上55)

B053 神田秀夫 (1958) : 倭武の天皇と常陸の国 (61)  
B070 神田秀夫 (1964) : 倭武の天皇と常陸の国 (61)  
B076 神田秀夫 (1966) : 倭武の天皇と常陸の国 (61)  
B089 神田秀夫 (1972) : 倭武の天皇と常陸の国 (61)

香島郡角折浜 (上52~53)

B053 神田秀夫 (1958) : 倭武の天皇と常陸の国 (64)  
B070 神田秀夫 (1964) : 倭武の天皇と常陸の国 (64)  
B076 神田秀夫 (1966) : 倭武の天皇と常陸の国 (64)  
B089 神田秀夫 (1972) : 倭武の天皇と常陸の国 (64)

久慈郡谷合山 (上56)

B053 神田秀夫 (1958) : 久慈 (50)  
B070 神田秀夫 (1964) : 久慈 (50)  
B076 神田秀夫 (1966) : 久慈 (50)  
B089 神田秀夫 (1972) : 久慈 (50)

久慈郡河内里 (上56)

B040 久保喬 (1955) : おにと いしの かがみ (87~94)  
B050 久保喬 (1957) : オニと石のかがみ (214~217)  
B053 神田秀夫 (1958) : 久慈 (50)  
B070 神田秀夫 (1964) : 久慈 (50)  
B071 松下宗彦 (1964) : 河内の郷 (81~82)  
B076 神田秀夫 (1966) : 久慈 (50)  
B089 神田秀夫 (1972) : 久慈 (50)

久慈郡静織里 (上56~57)

B053 神田秀夫 (1958) : 久慈 (49~50)  
B070 神田秀夫 (1964) : 久慈 (49~50)  
B076 神田秀夫 (1966) : 久慈 (49~50)  
B089 神田秀夫 (1972) : 久慈 (49~50)

久慈郡小田里 (上57)

B053 神田秀夫 (1958) : 久慈 (48)  
B070 神田秀夫 (1964) : 久慈 (48)  
B076 神田秀夫 (1966) : 久慈 (48)  
B089 神田秀夫 (1972) : 久慈 (48)



久慈郡太田郷（上57～58）

- B053 神田秀夫（1958）： 久慈（49）  
 B070 神田秀夫（1964）： 久慈（49）  
 B076 神田秀夫（1966）： 久慈（49）  
 B089 神田秀夫（1972）： 久慈（49）

久慈郡薩都里（上58）

- B053 神田秀夫（1958）： 久慈（50）  
 B070 神田秀夫（1964）： 久慈（50）  
 B076 神田秀夫（1966）： 久慈（50）  
 B089 神田秀夫（1972）： 久慈（50）

久慈郡賀毗礼嶺（上58～59）

- B053 神田秀夫（1958）： かびれの高峯（51～52）  
 B070 神田秀夫（1964）： かびれの高峯（51～52）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）： かびれの高峯（157～158 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： かびれの高峯（51～52）  
 B089 神田秀夫（1972）： かびれの高峯（51～52）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 大小便のたたり（34～37）

久慈郡密筑里（上59～60）

- B053 神田秀夫（1958）： 久慈（50～51）  
 B070 神田秀夫（1964）： 久慈（50～51）  
 B076 神田秀夫（1966）： 久慈（50～51）  
 B089 神田秀夫（1972）： 久慈（50～51）

久慈郡助川（上60）

- B053 神田秀夫（1958）： 久慈（51）  
 B070 神田秀夫（1964）： 久慈（51）  
 B076 神田秀夫（1966）： 久慈（51）  
 B089 神田秀夫（1972）： 久慈（51）

多珂郡飽田（上61～62）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（63）  
 B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（63）  
 B071 松下宗彦（1964）： 飽田の村（82～83）  
 B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（63）  
 B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（63）  
 B096 名作選定委員会（1976）： 飽田の村（223～224 倉島栄子）

多珂郡藻島駅家（上62～63）

- B053 神田秀夫（1958）： 倭武の天皇と常陸の国（63）  
 B070 神田秀夫（1964）： 倭武の天皇と常陸の国（63）  
 B076 神田秀夫（1966）： 倭武の天皇と常陸の国（63）  
 B089 神田秀夫（1972）： 倭武の天皇と常陸の国（63）

多珂郡逸文伊福部岳（下255～256）

- B060 福田清人（1961）： きじとかみなり（301～303）

- B075 川端康成ほか監修（1966）： 伊福部岳の雷（155～157 柴野民三）  
B096 名作選定委員会（1976）： きじを食べない村（213～216 倉島栄子）  
B105 黛弘道監修（1990）： 雷神とキジ（116～120）

## 出 雲

総 記（上122）

B105 黛弘道監修（1990）： 出雲の国名の由来（39）

意宇郡総志（上125～127）

- A002 榎野勇（1906）： 出雲の国引（76～78）
- A006 桔梗郎（1912）： 国引（99～112）
- A008 小笠原省三（1916）： 国引き（137～140）
- A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）： 国引き（38～41）
- A015 松村武雄（1924）： 国引（55～62）
- A016 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1924）： 国引（175～195）
- A017 児童読物研究会（1925）： 国引（53～56）
- A019 吉田助治（1926）： 国引（33～35）
- A020 野口鶴（1926）： 素戔鳴命（33～34）
- A022 町田桜園（1927）： 国引き（14～24）
- A025 長谷山峻彦（1929）： 奉祝国引（143～162）
- A028 北原白秋（1931）： 国引（132～133）
- A029 文部省（1934）： 国引き（30～35）
- A034 鈴木健一（1935）： 臣津野命の国引（173～174）
- A036 尾竹国観（1939）： 国ビキ（22～23）
- A037 文部省（1941）： 国引き（10～11）
- A038 文部省（1941）： 国引き（12～15）
- A041 北原白秋（1943）： 国引（97～99）
- A042 各務虎雄（1943）： くにびき（57～61）
- A051 大木雄二（1955）： [全編に分節なし]（42～43）
- A052 徳永寿美子（1957）： くにびき（47～61）
- A058 サトウハチロー（1960）： くにびき（136～140）
- A061 阿貴良一（1963）： 国ひき 国づくり（144～155）
- A067 サトウハチロー（1965）： くにびき（136～140）
- A072 藤田みつ（1966）： くにびき（20～25）
- A073 宮脇紀雄（1967）： 国引きの話（241～245）
- A076 円谷真護（1967）： 島をひっぱった神さま（20～24）
- A082 久保喬（1972）： しまよこい（88～101）
- A083 サトウハチロー（1973）： くにびき（136～140）
- A091 佐脇嘉久（1976）： 国ひき（97～99）
- A092 サトウハチロー（1977）： くにびき（136～140）
- A102 松村武雄（1989）： 国引（55～62）
- B001 渋谷玄耳（1909）： 国引（60～62）
- B002 萩野由之（1911）： 国引（1～11）
- B003 岩田勝市（1912）： 国引（2～4）
- B004 大西貞治（1918）： 国引きの話（73～76）
- B007 楠山正雄（1921）： 国引き（39～42）
- B008 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1921）： 国引（175～195）
- B009 三浦藤作（1935）： 国びき（68～80）
- B010 丸山林平（1935）： 国引（10～17）
- B014 中西芳朗（1938）： 国引き（228～235）
- B015 大木雄二（1938）： 国引き（74～84）
- B017 佐藤春夫（1941）： 国引きの話（23～26）

- B018 納富誠武（1942）： 国引（58～64）  
 B019 楠山正雄（1942）： 国ひき（58～63）  
 B021 佐野保太郎（1943）： 国引きの神様（68～73）  
 B022 斎藤清衛（1943）： 意宇郡（17～20）  
 B023 瑞原伸彦（1943）： 国引（16～23）  
 B026 石田佐久馬（1949）： 国引きの話（37～39）  
 B030 石田佐久馬編（1952）： 国引きの話（45～47）  
 B037 岡本良雄・阿貴良一（1955）： 国引き（159～172）  
 B039 水藤春夫（1955）： くにびき（193～198 平塚武二）  
 B040 久保喬（1955）： つなひき（142～148）  
 B041 平塚武二（1956）： 国びき（192～194）  
 B043 花岡大学（1957）： 国びき（158～167）  
 B044 関敬吾（1957）： 国引き（21～24）  
 B050 久保喬（1957）： 島よ，こい（98～102）  
 B051 久保喬（1957）： くにびき（88～103）  
 B053 神田秀夫（1958）： 国引き（126～130）  
 B059 坪田譲治（1960）： 国びき（218～221）  
 B060 福田清人（1961）： 国びき（281～282）  
 B067 関敬吾（1962）： 国引き（21～24）  
 B070 神田秀夫（1964）： 国引き（126～130）  
 B071 松下宗彦（1964）： 意宇（8～12）  
 B072 花岡大学（1965）： 国びき（431～436）  
 B073 坪田譲治（1966）： 国びき（218～221）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）： 国引き（151～152 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： 国引き（126～130）  
 B080 松谷みよ子（1968）： 国びき（56～63）  
 B082 久保喬（1968）： 島よこい（180～185）  
 B084 樋口清之（1969）： 国こい，国こい（63～66）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）： 国びき（40～51）  
 B089 神田秀夫（1972）： 国引き（126～130）  
 B093 松谷みよ子（1973）： 国びき（56～63）  
 B096 名作選定委員会（1976）： 意宇の郡（221～223 倉島栄子）  
 B100 花岡大学（1988）： 国びき（139～144）  
 B104 萩原昌好・野村昇司（1990）： 出雲の国引き（49～50）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 出雲の国引き（40～43）  
 B108 松谷みよ子（2001）： 国引き（59～66）  
 B110 松谷みよ子（2010）： 国引き（56～61）  
 B111 青山由紀（2010）： 国引き（26～29）  
 B113 田中貴子監修（2012）： 出雲の国引き（34～35）  
 B115 小川こころ（2016）： 国引き神話（170～175）

意宇郡母理郷（上128）

- B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（1）（133～134）  
 B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（1）（133～134）  
 B071 松下宗彦（1964）： 母理の郷（12～14）  
 B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（1）（133～134）  
 B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（1）（133～134）

意宇郡安来郷由来譚（上128～129）

- B014 中西芳朗（1938）：素戔鳴尊の国土経営（90）  
 B053 神田秀夫（1958）：出雲の国の須佐能袁の命（142～143）  
 B070 神田秀夫（1964）：出雲の国の須佐能袁の命（142～143）  
 B071 松下宗彦（1964）：曝井（79～80）  
 B076 神田秀夫（1966）：出雲の国の須佐能袁の命（142～143）  
 B089 神田秀夫（1972）：出雲の国の須佐能袁の命（142～143）

意宇郡安来郷毘売崎（上129～130）

- A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）：毘売崎の鰐（270～271）  
 A043 堀田松三郎（1944）：語臣猪麿（36～47）  
 B017 佐藤春夫（1941）：毘売崎の鰐（26～28）  
 B041 平塚武二（1956）：わにたいじ（190～191）  
 B053 神田秀夫（1958）：わにざめ（135～137）  
 B059 坪田譲治（1960）：ワニにくわれたむすめ（222～223）  
 B070 神田秀夫（1964）：わにざめ（135～137）  
 B071 松下宗彦（1964）：毘売崎（14～16）  
 B073 坪田譲治（1966）：ワニにくわれたむすめ（222～223）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）：わにざめ退治（153～154 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）：わにざめ（135～137）  
 B081 松谷みよ子（1968）：わににくわれたむすめ（120～122）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）：わにざめにくわれたむすめ（52～59）  
 B089 神田秀夫（1972）：わにざめ（135～137）  
 B094 松谷みよ子（1973）：わににくわれたむすめ（120～122）  
 B096 名作選定委員会（1976）：毘売崎（220～221 倉島栄子）  
 B105 黛弘道監修（1990）：人食いザメへの復しゅう（44～47）  
 B115 小川こころ（2016）：サメに食われた娘（182～189）

意宇郡拝志郷（上131～132）

- B053 神田秀夫（1958）：大穴持の命（1）（133～134）  
 B070 神田秀夫（1964）：大穴持の命（1）（133～134）  
 B076 神田秀夫（1966）：大穴持の命（1）（133～134）  
 B089 神田秀夫（1972）：大穴持の命（1）（133～134）

意宇郡穴道郷（上132）

- B080 松谷みよ子（1968）：アメノヒボコ（89）  
 B093 松谷みよ子（1973）：アメノヒボコ（89）  
 B110 松谷みよ子（2010）：アメノヒボコ（91）

意宇郡出雲神戸（上133）

- B053 神田秀夫（1958）：大穴持の命（1）（130）  
 B059 坪田譲治（1960）：ふくろをせおった神（66）  
 B070 神田秀夫（1964）：大穴持の命（1）（130）  
 B073 坪田譲治（1966）：ふくろをせおった神（66）  
 B076 神田秀夫（1966）：大穴持の命（1）（130）  
 B080 松谷みよ子（1968）：アメノヒボコ（90）  
 B089 神田秀夫（1972）：大穴持の命（1）（130）  
 B093 松谷みよ子（1973）：アメノヒボコ（90）



B110 松谷みよ子 (2010) : アメノヒボコ (91)

意宇郡長江山・暑垣山 (上138)

B071 松下宗彦 (1964) : 水精と烽 (16～17)

島根郡山口郷 (上144)

B053 神田秀夫 (1958) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

B070 神田秀夫 (1964) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

B076 神田秀夫 (1966) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

B089 神田秀夫 (1972) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

島根郡美保郷 (上145)

B053 神田秀夫 (1958) : 大穴持の命 (1) (135)

B070 神田秀夫 (1964) : 大穴持の命 (1) (135)

B076 神田秀夫 (1966) : 大穴持の命 (1) (135)

B089 神田秀夫 (1972) : 大穴持の命 (1) (135)

島根郡方結郷 (上145)

B053 神田秀夫 (1958) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

B070 神田秀夫 (1964) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

B076 神田秀夫 (1966) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

B089 神田秀夫 (1972) : 出雲の国の須佐能袁の命 (143)

島根郡加賀郷 (上145)

B053 神田秀夫 (1958) : 佐太の大神 (139)

B070 神田秀夫 (1964) : 佐太の大神 (139)

B076 神田秀夫 (1966) : 佐太の大神 (139)

B089 神田秀夫 (1972) : 佐太の大神 (139)

島根郡朝酌促戸 (上149)

B071 松下宗彦 (1964) : 朝酌の促戸 (17)

島根郡邑美冷水 (上150)

B071 松下宗彦 (1964) : 邑美の冷水 (17～18)

島根郡蜷姥嶋 (上150～151)

B053 神田秀夫 (1958) : たこ島・むかで島 (140～141)

B070 神田秀夫 (1964) : たこ島・むかで島 (140～141)

B076 神田秀夫 (1966) : たこ島・むかで島 (140～141)

B089 神田秀夫 (1972) : たこ島・むかで島 (140～141)

島根郡蜷蚣嶋 (上151)

B053 神田秀夫 (1958) : たこ島・むかで島 (141)

B070 神田秀夫 (1964) : たこ島・むかで島 (141)

B071 松下宗彦 (1964) : 曝井 (79～80)

B076 神田秀夫 (1966) : たこ島・むかで島 (141)

B089 神田秀夫 (1972) : たこ島・むかで島 (141)

島根郡加賀郷加賀神崎（上157～158）

- B053 神田秀夫（1958）： 佐太の大神（137～140）  
 B070 神田秀夫（1964）： 佐太の大神（137～140）  
 B071 松下宗彦（1964）： 神崎の岩屋（18～21）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）： 金の弓矢（154～155 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： 佐太の大神（137～140）  
 B089 神田秀夫（1972）： 佐太の大神（137～140）

秋鹿郡恵曇郷（上161）

- B053 神田秀夫（1958）： 出雲の国の須佐能袁の命（143～144）  
 B070 神田秀夫（1964）： 出雲の国の須佐能袁の命（143～144）  
 B076 神田秀夫（1966）： 出雲の国の須佐能袁の命（143～144）  
 B089 神田秀夫（1972）： 出雲の国の須佐能袁の命（143～144）

秋鹿郡多太郷（上161～162）

- B053 神田秀夫（1958）： 出雲の国の須佐能袁の命（144）  
 B070 神田秀夫（1964）： 出雲の国の須佐能袁の命（144）  
 B071 松下宗彦（1964）： 多太の郷（21）  
 B076 神田秀夫（1966）： 出雲の国の須佐能袁の命（144）  
 B089 神田秀夫（1972）： 出雲の国の須佐能袁の命（144）

楯縫郡神名備山（上173～174）

- B050 久保喬（1957）： 追われた神さま（222）  
 B071 松下宗彦（1964）： 石神（21～23）  
 B082 久保喬（1968）： 追われた神さま（223）

出雲郡健部郷（上178）

- B071 松下宗彦（1964）： 健部の郷（23～24）

出雲郡宇賀郷（上180）

- B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（1）（131）・（佐太の大神）  
 B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（1）（131）・（佐太の大神）  
 B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（1）（131）・（佐太の大神）  
 B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（1）（131）・（佐太の大神）

出雲郡黄泉の穴（上180）

- B053 神田秀夫（1958）： 佐太の大神（140）  
 B070 神田秀夫（1964）： 佐太の大神（140）  
 B071 松下宗彦（1964）： 黄泉の穴（24～25）  
 B076 神田秀夫（1966）： 佐太の大神（140）  
 B089 神田秀夫（1972）： 佐太の大神（140）

神門郡朝山郷（上192）

- B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（1）（131～132）  
 B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（1）（131～132）  
 B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（1）（131～132）  
 B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（1）（131～132）

神門郡八野郷（上193）

- B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（1）（132）  
 B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（1）（132）  
 B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（1）（132）  
 B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（1）（132）

神門郡高岸郷（上193）

- B050 久保喬（1957）： コトひき山（176）  
 B082 久保喬（1968）： コトひき山（192～193）

神門郡滑狭郷（上193～194）

- B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（1）（132）  
 B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（1）（132）  
 B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（1）（132）  
 B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（1）（132）

神門郡神門水海（上198～199）

- B053 神田秀夫（1958）： 藺の長浜（141～142）  
 B070 神田秀夫（1964）： 藺の長浜（141～142）  
 B076 神田秀夫（1966）： 藺の長浜（141～142）  
 B089 神田秀夫（1972）： 藺の長浜（141～142）

飯石郡多祢郷（上202）

- B050 久保喬（1957）： コトひき山（181～182）  
 B082 久保喬（1968）： コトひき山（197～198）

飯石郡須佐郷（上202）

- B053 神田秀夫（1958）： 出雲の国の須佐能袁の命（142～143）  
 B070 神田秀夫（1964）： 出雲の国の須佐能袁の命（142～143）  
 B071 松下宗彦（1964）： 須佐の郷（25）  
 B076 神田秀夫（1966）： 出雲の国の須佐能袁の命（142～143）  
 B089 神田秀夫（1972）： 出雲の国の須佐能袁の命（142～143）

飯石郡琴引山（上204）

- B050 久保喬（1957）： コトひき山（181～182）  
 B082 久保喬（1968）： コトひき山（199～200）

仁多郡三津郷（上208～209）

- B026 石田佐久馬（1949）： 三津の里（39～40）  
 B030 石田佐久馬（1952）： 三津の里（47～49）  
 B050 久保喬（1957）： コトひき山（178～180）  
 B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（1）（132～133）  
 B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（1）（132～133）  
 B071 松下宗彦（1964）： 三沢（26～28）  
 B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（1）（132～133）  
 B082 久保喬（1968）： コトひき山（194～197）  
 B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（1）（132～133）

仁多郡恋山（上211）

- B071 松下宗彦（1964）： 恋山（28）  
B115 小川こころ（2016）： 恋山（176～181）

大原郡佐世郷（上216）

- B053 神田秀夫（1958）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B070 神田秀夫（1964）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B076 神田秀夫（1966）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B089 神田秀夫（1972）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）

大原郡阿用郷（上216）

- B050 久保喬（1957）： コトひき山（181）  
B082 久保喬（1968）： コトひき山（199）  
B113 田中貴子監修（2012）： 一つ目の鬼とアヨ（42～43）

大原郡来次郷（上217）

- B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（1）（131）  
B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（1）（131）  
B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（1）（131）  
B080 松谷みよ子（1968）： へびのむろや（88）  
B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（1）（131）  
B093 松谷みよ子（1973）： へびのむろや（88）  
B108 松谷みよ子（2001）： 蛇の室屋（92）  
B110 松谷みよ子（2010）： へびの室屋（88）

大原郡高麻山（上220）

- B053 神田秀夫（1958）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B070 神田秀夫（1964）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B076 神田秀夫（1966）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B089 神田秀夫（1972）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）

大原郡御室山（上220）

- B053 神田秀夫（1958）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B070 神田秀夫（1964）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B076 神田秀夫（1966）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）  
B089 神田秀夫（1972）： 出雲の国の須佐能袁の命（143）

播 磨

賀古郡（上354～359）

- B033 永積安明・大久保正太郎（1954）：しょうじきなわたしもり（39～41）  
B036 片桐顕智ほか編（1954）： 天皇と わたしもり（120～122 神山裕一）  
B066 片桐顕智ほか編（1962）： 天皇と わたしもり（120～122 神山裕一）  
B105 黛弘道監修（1990）： 景行天皇と別嬢（49～57）  
B116 小川こころ（2016）： イナビノオオイラツメ（178～183）

印南郡益氣里（上360）

- B071 松下宗彦（1964）： 天の椅立（127～128）

飾磨郡英賀（上363）

- B053 神田秀夫（1958）： 伊和の大神（146）  
B070 神田秀夫（1964）： 伊和の大神（146）  
B076 神田秀夫（1966）： 伊和の大神（146）  
B089 神田秀夫（1972）： 伊和の大神（146）

飾磨郡伊和里（上363～364）

- B053 神田秀夫（1958）： 伊和の大神（148）  
B070 神田秀夫（1964）： 伊和の大神（148）  
B076 神田秀夫（1966）： 伊和の大神（148）  
B089 神田秀夫（1972）： 伊和の大神（148）

飾磨郡伊和里船丘ほか（上364～365）

- B026 石田佐久馬（1949）： 船の丘（40～41）  
B030 石田佐久馬（1952）： 船の丘（49）  
B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（2）（155～156）  
B055 三山進（1959）： ヨミの国で（70～71）  
B059 坪田譲治（1960）： 捨て子をしようとしたオオナムチ（224～226）  
B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（2）（155～156）  
B071 松下宗彦（1964）： 十四の丘（29～31）  
B073 坪田譲治（1966）： 捨て子をしようとしたオオナムチ（224～226）  
B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（2）（155～156）  
B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（2）（155～156）  
B105 黛弘道監修（1990）： 伊和の里の十四の丘（58～61）

磨郡枚野里宮丘（上367～368）

- B023 瑞原伸彦（1943）： 葦原中つ国（124）

飾磨郡美濃里継潮（上370）

- B071 松下宗彦（1964）： 継の潮（31）

飾磨郡因達里（上370）

- B071 松下宗彦（1964）： 因達の里（31～32）

飾磨郡貽和里馬墓池（上371～372）

- B071 松下宗彦（1964）： 馬墓の池（32～33）



揖保郡阿豆村（上374）

- B050 久保喬（1957）： 石になった星（186）  
 B071 松下宗彦（1964）： 阿豆の村（33～34）  
 B082 久保喬（1968）： 石になった星（201～206）

揖保郡大鳥山（上374）

- B050 久保喬（1957）： 巨人の足あと（198）

揖保郡御橋山（上376）

- B050 久保喬（1957）： 石になった星（188～189）  
 B082 久保喬（1968）： 石になった星（205）

揖保郡狭野村神阜（上376）

- B050 久保喬（1957）： 石になった星（187～188・190）  
 B071 松下宗彦（1964）： 上岡の里（34）  
 B082 久保喬（1968）： 石になった星（202～207）

揖保郡林田里伊勢野（上378）

- B053 神田秀夫（1958）： 伊和の大神（146）  
 B070 神田秀夫（1964）： 伊和の大神（146）  
 B076 神田秀夫（1966）： 伊和の大神（146）  
 B089 神田秀夫（1972）： 伊和の大神（146）

揖保郡稲種山（上379）

- B023 瑞原伸彦（1943）： 葦原中つ国（124）

揖保郡佐比岡（上381～382）

- B071 松下宗彦（1964）： 佐比岡（35）

揖保郡大見山（上382）

- B071 松下宗彦（1964）： 大見山（36）

揖保郡神島（上387）

- B034 片桐顕智ほか編（1954）： かみさまの なみだ（15～17 神山裕一）  
 B050 久保喬（1957）： 神のしま（200～205）  
 B053 神田秀夫（1958）： 神島（183）  
 B061 福田清人（1961）： 五色の目玉の神（304～306）  
 B064 片桐顕智ほか編（1962）： かみさまの なみだ（15～17 神山裕一）  
 B070 神田秀夫（1964）： 神島（183）  
 B071 松下宗彦（1964）： 神島（36～38）  
 B076 神田秀夫（1966）： 神島（183）  
 B082 久保喬（1968）： 神の島（208～213）  
 B089 神田秀夫（1972）： 神島（183）  
 B091 福田清人（1972）： 五色の目玉の神（115～117）  
 B092 福田清人（1972）： 五色のなみだ（28～34）

揖保郡揖保里（上389～390）

- A008 小笠原省三（1916）： 天之日矛命（141～142）

- A009 高木敏雄・小笠原省三 (1917) : 天之日矛命 (56~57)  
 A030 吉田助治 (1934) : 赤い玉 (36~37)  
 A052 徳永寿美子 (1957) : あかい たま (93~97)  
 A087 瀬川拓男・松谷みよ子 (1973) : 異国の神アメノヒボコ (81~82 松谷みよ子)  
 A090 松谷みよ子 (1975) : 異国の神アメノヒボコ (217~218)  
 A098 瀬川拓男・松谷みよ子・辺見じゅん (1981) : 異国の神アメノヒボコ (97~98 松谷みよ子)  
 B002 萩野由之 (1911) : 天日槍 (80~84)  
 B007 楠山正雄 (1921) : 赤い玉 (419~420)  
 B016 楠山正雄 (1938) : 赤い玉 (242~245)  
 B023 瑞原伸彦 (1943) : 葦原中つ国 (110~111)  
 B027 楠山正雄 (1949) : 赤い玉 (70~75)  
 B031 楠山正雄 (1953) : 赤い玉 (70~75)  
 B044 関敬吾 (1957) : オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ (91~92)  
 B053 神田秀夫 (1958) : 大穴持の命 (2) (158~159)  
 B061 福田清人 (1961) : ヒボコとオオクニヌシ (209~210)  
 B067 関敬吾 (1962) : オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ (91~92)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 大穴持の命 (2) (158~159)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 粒丘 (38~39)  
 B074 与田準一 (1966) : 赤い玉 (209~210)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 大穴持の命 (2) (158~159)  
 B080 松谷みよ子 (1968) : アメノヒボコ (90~92)  
 B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : たたかうオオクニヌシ (60~63)  
 B087 与田準一 (1970) : 赤い玉のものがたり (157~161)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 大穴持の命 (2) (158~159)  
 B091 福田清人 (1972) : アメノヒボコとオオクニヌシノミコト (99~101)  
 B093 松谷みよ子 (1973) : アメノヒボコ (90~92)  
 B098 小島瓊礼 (1983) : 粒の丘 (187~188)  
 B107 与田準一 (1998) : 赤い玉 (209~210)  
 B108 松谷みよ子 (2001) : 異国の神 アメノヒボコ (95~98)  
 B109 与田準一 (2009) : 赤い玉のものがたり (157~161)  
 B110 松谷みよ子 (2010) : アメノヒボコ (91~93)  
 B116 小川こころ (2016) : オオクニヌシとアメノヒボコ (184~187)

揖保郡出水里 (上390~391)

- B050 久保喬 (1957) : 川のけんか (183~186)  
 B053 神田秀夫 (1958) : 伊和の大神 (147)  
 B061 福田清人 (1961) : 水のない川 (311~312)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 伊和の大神 (147)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 伊和の大神 (147)  
 B082 久保喬 (1968) : 川をよぶ神さま (229~232)  
 B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : 水あらい (78~82)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 伊和の大神 (147)

讃容郡総記 (上392~393)

- B053 神田秀夫 (1958) : 伊和の大神 (149)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 伊和の大神 (149)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 伊和の大神 (149)  
 B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : 一夜でそだったなえ (83~85)

B089 神田秀夫 (1972) : 伊和の大神 (149)

讃容郡総記 (上392～393)

B053 神田秀夫 (1958) : 伊和の大神 (146)

B070 神田秀夫 (1964) : 伊和の大神 (146)

B076 神田秀夫 (1966) : 伊和の大神 (146)

B089 神田秀夫 (1972) : 伊和の大神 (146)

讃容郡中川里人 (異剣) (上396)

B061 福田清人 (1961) : のびちじみする刀 (307～310)

B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : ふしぎなかなた (86～92)

B092 福田清人 (1972) : のびちぢみする刀 (35～41)

讃容郡弥加都岐原 (上396～397)

B026 石田佐久馬 (1949) : みかつき原 (41～42)

B030 石田佐久馬 (1952) : みかつき原 (50)

讃容郡雲濃里 (上397)

B053 神田秀夫 (1958) : 伊和の大神 (146)

B070 神田秀夫 (1964) : 伊和の大神 (146)

B076 神田秀夫 (1966) : 伊和の大神 (146)

B089 神田秀夫 (1972) : 伊和の大神 (146)

宍禾郡比治里 (上398～399)

B053 神田秀夫 (1958) : 伊和の大神 (149～150)

B070 神田秀夫 (1964) : 伊和の大神 (149～150)

B076 神田秀夫 (1966) : 伊和の大神 (149～150)

B089 神田秀夫 (1972) : 伊和の大神 (149～150)

B098 小島瓊礼 (1983) : 国の主と国占め競争 (189)

宍禾郡川音村 (上399)

A030 吉田助治 (1934) : 赤い玉 (37)

B061 福田清人 (1961) : ヒボコとオオクニヌシ (210)

B091 福田清人 (1972) : アメノヒボコとオオクニヌシノミコト (101)

B098 小島瓊礼 (1983) : 国の主と国占め競争 (189)

宍禾郡奪谷 (上399～400)

A030 吉田助治 (1934) : 赤い玉 (37)

A087 瀬川拓男・松谷みよ子 (1973) : 異国の神アメノヒボコ (82 松谷みよ子)

A090 松谷みよ子 (1975) : 異国の神アメノヒボコ (218)

A098 瀬川拓男・松谷みよ子・辺見じゅん (1981) : 異国の神アメノヒボコ (98 松谷みよ子)

B002 萩野由之 (1911) : 天日槍 (83～84)

B053 神田秀夫 (1958) : 大穴持の命 (2) (157)

B061 福田清人 (1961) : ヒボコとオオクニヌシ (210)

B070 神田秀夫 (1964) : 大穴持の命 (2) (157)

B071 松下宗彦 (1964) : 奪谷 (40)

B076 神田秀夫 (1966) : 大穴持の命 (2) (157)

B080 松谷みよ子 (1968) : アメノヒボコ (92)

- B086 坂本太郎・二反長半（1970）：たたかうオオクニヌシ（64～66）  
B089 神田秀夫（1972）：大穴持の命（2）（157）  
B091 福田清人（1972）：アメノヒボコとオオクニヌシノミコト（101）  
B093 松谷みよ子（1973）：アメノヒボコ（92）  
B098 小島瓊礼（1983）：国の主と国占め競争（189）  
B108 松谷みよ子（2001）：異国の神 アメノヒボコ（98）  
B110 松谷みよ子（2010）：アメノヒボコ（93～94）

宍禾郡高家里（上400）

- B098 小島瓊礼（1983）：国の主と国占め競争（190）

宍禾郡伊奈加川（上400～401）

- B098 小島瓊礼（1983）：国の主と国占め競争（190）

宍禾郡飯戸阜（上401）

- B098 小島瓊礼（1983）：国の主と国占め競争（190）

宍禾郡安師里（上401～402）

- B053 神田秀夫（1958）：伊和の大神（148）  
B070 神田秀夫（1964）：伊和の大神（148）  
B076 神田秀夫（1966）：伊和の大神（148）  
B089 神田秀夫（1972）：伊和の大神（148）

宍禾郡石作里（上402）

- B053 神田秀夫（1958）：伊和の大神（150）  
B070 神田秀夫（1964）：伊和の大神（150）  
B076 神田秀夫（1966）：伊和の大神（150）  
B089 神田秀夫（1972）：伊和の大神（150）

宍禾郡雲箇里（上402）

- B053 神田秀夫（1958）：伊和の大神（147～148）  
B070 神田秀夫（1964）：伊和の大神（147～148）  
B076 神田秀夫（1966）：伊和の大神（147～148）  
B089 神田秀夫（1972）：伊和の大神（147～148）

宍禾郡波加村（上402～403）

- B053 神田秀夫（1958）：伊和の大神（148）  
B061 福田清人（1961）：ヒボコとオオクニヌシ（210～211）  
B070 神田秀夫（1964）：伊和の大神（148）  
B076 神田秀夫（1966）：伊和の大神（148）  
B089 神田秀夫（1972）：伊和の大神（148）  
B098 小島瓊礼（1983）：国の主と国占め競争（192）

宍禾郡御方里（上403）

- A087 瀬川拓男・松谷みよ子（1973）：異国の神アメノヒボコ（82～83 松谷みよ子）  
A090 松谷みよ子（1975）：異国の神アメノヒボコ（218～219）  
A098 瀬川拓男・松谷みよ子・辺見じゅん（1981）：異国の神アメノヒボコ（99 松谷みよ子）  
B053 神田秀夫（1958）：大穴持の命（2）（157～158）

- B061 福田清人（1961）： ヒボコとオオクニヌシ（211）  
 B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（2）（157～158）  
 B071 松下宗彦（1964）： 御方の里（40～41）  
 B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（2）（157～158）  
 B080 松谷みよ子（1968）： アメノヒボコ（92～93）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）： たたかうオオクニヌシ（67～69）  
 B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（2）（157～158）  
 B091 福田清人（1972）： アメノヒボコとオオクニヌシノミコト（101）  
 B093 松谷みよ子（1973）： アメノヒボコ（92～93）  
 B098 小島環礼（1983）： 国の主と国占め競争（190～191）  
 B108 松谷みよ子（2001）： 異国の神 アメノヒボコ（99）  
 B110 松谷みよ子（2010）： アメノヒボコ（94）  
 B116 小川こころ（2016）： オオクニヌシとアメノヒボコ（187～189）

神前郡聖岡（上404～405）

- A012 補助教育研究会（1923）： 少名毘古那神と御諸山の大神（207～211）  
 A015 松村武雄（1924）： 賭（50～53）  
 A016 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1924）： 賭（161～167）  
 A046 大木雄二（1951）： がまんくらべ（116～120）  
 A054 徳永寿美子（1958）： どちらがかつか（46～47）・空をとんで（48～50）  
 A058 サトウハチロー（1960）： うみから きた かみさま（107～110）  
 A060 波多野完治（1962）： おくすりの神さま・あわの ほ（200～208 上崎美恵子）  
 A061 阿貴良一（1963）： ぼんと はねた あわの くき（138～148）  
 A067 サトウハチロー（1965）： うみから きた かみさま（107～110）  
 A072 藤田みつ（1966）： ちいさい かみさま（三）・かけくらべ（91～97）  
 A077 与田準一・川崎大治（1967）： がまんくらべ（16～21 堀尾青史）  
 A083 サトウハチロー（1973）： うみから きた かみさま（107～110）  
 A092 サトウハチロー（1977）： うみから きた かみさま（107～110）  
 A094 おのちゅうこう（1977）： ちいさなかみさま（18～22）  
 A102 松村武雄（1989）： 賭（50～53）  
 B007 楠山正雄（1921）： 賭（68～71）  
 B008 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1921）： 賭（161～167）  
 B014 中西芳朗（1938）： がまん競べ（236～247）  
 B015 大木雄二（1938）： がまんくらべ（136～141）  
 B019 楠山正雄（1942）： 賭（104～109）  
 B023 瑞原伸彦（1943）： 葦原中つ国（126～127）  
 B026 石田佐久馬（1949）： はに岡（42～43）  
 B030 石田佐久馬（1952）： はに岡（50～52）  
 B033 永積安明・大久保正太郎（1954）： がんばりきょうそう（31～33）  
 B034 片桐顕智ほか編（1954）： がまん くらべ（18～20 神山裕一）  
 B037 岡本良雄・阿貴良一（1955）： ふたりのきょうそう（151～155）  
 B038 大木雄二（1955）： がまんくらべ（107～109）  
 B044 関敬吾（1957）： オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ（88～89）  
 B050 久保喬（1957）： 小ゆびくらの神さま二（90～92）  
 B053 神田秀夫（1958）： 大穴持の命（2）（152～155）  
 B055 三山進（1959）： 小人の神（76）  
 B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）： がまんくらべ（260～261）  
 B059 坪田譲治（1960）： ふくろをせおった神（70～72）



- B060 福田清人（1961）： 神様のがまんくらべ（282～285）
- B061 福田清人（1961）： こびとの神（97～98）
- B064 片桐顕智ほか編（1962）： がまんくらべ（18～20 神山裕一）
- B067 関敬吾（1962）： オオクニヌシノカミとスクナビコナノカミ（88～89）
- B069 大木雄二（1964）： がまんくらべ（107～109）
- B070 神田秀夫（1964）： 大穴持の命（2）（152～155）
- B071 松下宗彦（1964）： 壱岡（41～43）
- B073 坪田譲治（1966）： ふくろをせおった神（70～72）
- B075 川端康成ほか監修（1966）： がまん比べ（163～164 柴野民三）
- B076 神田秀夫（1966）： 大穴持の命（2）（152～155）
- B080 松谷みよ子（1968）： こびとの神（105～107）
- B082 久保喬（1968）： わらう神たち（103～105）
- B084 樋口清之（1969）： こびとの神さま（91～92）
- B086 坂本太郎・二反長半（1970）： こびとの神さま（70～74）
- B089 神田秀夫（1972）： 大穴持の命（2）（152～155）
- B093 松谷みよ子（1973）： こびとの神（105～107）
- B096 名作選定委員会（1976）： 波自賀村，壱岡（219～220 倉島栄子）
- B103 西野綾子（1989）： がまんくらべ（40～51）
- B104 萩原昌好・野村昇司（1990）： 我慢くらべ（50～51）
- B105 黛弘道監修（1990）： 神さまのがまんくらべ（62～65）
- B108 松谷みよ子（2001）： こびとの神（114～116）
- B110 松谷みよ子（2010）： こびとの神（102～105）
- B112 岡崎ひでたか（2011）： [全]
- B113 田中貴子監修（2012）： がまんくらべ（38～39）

神前郡壱岡生野（上405～406）

- B071 松下宗彦（1964）： 生野（43～44）

神前郡多駝里糠岡（上407）

- B002 萩野由之（1911）： 天日槍（83）
- B023 瑞原伸彦（1943）： 葦原中つ国（124）
- B053 神田秀夫（1958）： 伊和の大神（148）
- B070 神田秀夫（1964）： 伊和の大神（148）
- B071 松下宗彦（1964）： 糠岡と八千軍野（44～45）
- B076 神田秀夫（1966）： 伊和の大神（148）
- B089 神田秀夫（1972）： 伊和の大神（148）
- B098 小島瓊礼（1983）： イワの大神との神戦（192）

神前郡蔭山里（上408）

- B071 松下宗彦（1964）： 蔭山・蔭岡・磨布理・冑丘（45～46）

託賀郡総記（上409～410）

- B050 久保喬（1957）： 巨人の足あと（197～199）
- B113 田中貴子監修（2012）： 各地に出現！ だいだらぼっち（40）

託賀郡賀眉里（上410）

- B050 久保喬（1957）： 巨人の足あと（199～200）

託賀郡黒田里（上410～411）

- B053 神田秀夫（1958）： 伊和の大神（148）  
 B070 神田秀夫（1964）： 伊和の大神（148）  
 B076 神田秀夫（1966）： 伊和の大神（148）  
 B089 神田秀夫（1972）： 伊和の大神（148）

託賀郡黒田里大羅野（上411）

- B033 永積安明・大久保正太郎（1954）： はりまの鳥たち（34～38）

託賀郡都麻里都太岐（上411～412）

- B053 神田秀夫（1958）： 讃伎日子と氷上刀売（184～186）  
 B070 神田秀夫（1964）： 讃伎日子と氷上刀売（184～186）  
 B071 松下宗彦（1964）： 都太岐（47）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）： かわいそうな讃伎日子（164～166 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： 讃伎日子と氷上刀売（184～186）  
 B089 神田秀夫（1972）： 讃伎日子と氷上刀売（184～186）

託賀郡法太里（上413）

- B053 神田秀夫（1958）： 讃伎日子と氷上刀売（186）  
 B070 神田秀夫（1964）： 讃伎日子と氷上刀売（186）  
 B071 松下宗彦（1964）： 法太の里（47～48）  
 B076 神田秀夫（1966）： 讃伎日子と氷上刀売（186）  
 B089 神田秀夫（1972）： 讃伎日子と氷上刀売（186）

賀毛郡玉野村（上416～417）

- B071 松下宗彦（1964）： 玉野の村（49～50）  
 B114 ななじ眺（2014）： [全]

賀毛郡小目野（上418～419）

- B071 松下宗彦（1964）： 小目野（51）

賀毛郡雲潤里（上419～420）

- B071 松下宗彦（1964）： 雲潤の里（52）

美囊郡総記（上421）

- B053 神田秀夫（1958）： 顕宗天皇と仁賢天皇（166）  
 B070 神田秀夫（1964）： 顕宗天皇と仁賢天皇（166）  
 B076 神田秀夫（1966）： 顕宗天皇と仁賢天皇（166）  
 B089 神田秀夫（1972）： 顕宗天皇と仁賢天皇（166）

美囊郡志深里（上421～423）

- B041 平塚武二（1956）： しじみ村の皇子たち（200～204）  
 B053 神田秀夫（1958）： 顕宗天皇と仁賢天皇（171～183）  
 B070 神田秀夫（1964）： 顕宗天皇と仁賢天皇（171～183）  
 B076 神田秀夫（1966）： 顕宗天皇と仁賢天皇（171～183）  
 B089 神田秀夫（1972）： 顕宗天皇と仁賢天皇（171～183）  
 B096 名作選定委員会（1976）： 志深の里（216～219 倉島栄子）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 志深の里の二人の皇子（66～73）

B114 ななじ眺（2014）： [全]

逸文爾保都比売命（上424～425）

B071 松下宗彦（1964）： ニホツヒメノミコト（137～140）

逸文明石駅家（上425～426）

- A031 文部省（1934）： 早鳥（4～12）  
A039 文部省（1941）： 早鳥（6～13）  
A044 文部省（1946）： 早鳥（23～25）  
A045 文部省（1947）： はやとり（22～29）  
A048 二葉国語の本編修部（1955）： 早鳥（18～26）  
A049 脇阪景城（1955）： 丸木船「はやとり」（113）  
A055 武者小路実篤・興水実・飛田多喜雄（1958）： はやとり（12～20）  
A057 志賀直哉・久松潜一・吉田精一監修（1959）： はやとり（112～119）  
A059 石森延男ほか（1960）： はやとり（34～45）  
A063 坪田譲治・亀井勝一郎・池田弥三郎監修（1964）： はやとり（38～47）  
A064 石森延男ほか（1964）： はやとり（108～118）  
A065 国分一太郎（1965）： [全]  
A075 坪田譲治ほか監修（1967）： はやとり（82～91）  
A078 石森延男ほか（1967）： はやとり（107～117）  
A079 那須田稔（1968）： [全]  
A081 西尾実監修（1971）： はやとり（48～55）  
A088 西尾実監修（1974）： はやとり（48～55）  
A104 大石初太郎ほか（1970）： はやとり（98～105）  
A105 大石初太郎ほか（1973）： はやとり（98～105）  
B010 丸山林平（1935）： 早鳥（58～63）  
B017 佐藤春夫（1941）： 枯野と速鳥（21～22）  
B041 平塚武二（1956）： 大きな木の船（205～207）  
B047 菅忠道（1957）： はやとり（50～57 大久保正太郎）  
B054 西山敏夫（1958）： はやとり（35～43）  
B071 松下宗彦（1964）： 速鳥（141）  
B085 槇皓志（1969）： [全]  
B087 与田準一（1970）： はや鳥のうた（168～174）  
B096 名作選定委員会（1976）： 速鳥（209 倉島栄子）  
B101 山口ゆたか（1988）： 速鳥（51～56）  
B109 与田準一（2009）： はや鳥のうた（168～174）

## 豊 後

### 総 記（下26～27）

- A003 吉岡向陽・高野斑山（1909）：餅の的（65～73 高野斑山）
- A097 おのちゅうこう（1978）：（5～11）
- B010 丸山林平（1935）：餅の的（55～57）
- B027 楠山正雄（1949）：白いもち白い鳥3（112～114）
- B031 楠山正雄（1953）：白いもち白い鳥3（112～114）
- B053 神田秀夫（1958）：餅の的（253～254）
- B061 福田清人（1961）：石のうらない（288～289）
- B063 佐藤春夫ほか編（1961）：白い鳥一（296～297）
- B070 神田秀夫（1964）：餅の的（253～254）
- B071 松下宗彦（1964）：豊後の国（102～104）
- B076 神田秀夫（1966）：餅の的（253～254）
- B086 坂本太郎・二反長半（1970）：もちになった白い鳥（94～99）
- B089 神田秀夫（1972）：餅の的（253～254）
- B104 萩原昌好・野村昇司（1990）：豊の国という名のおこり（52～53）
- B105 黛弘道監修（1990）：豊後の国名の由来（75～77）

### 日田郡五馬山（下29）

- B053 神田秀夫（1958）：慍湯（254～255）
- B070 神田秀夫（1964）：慍湯（254～255）
- B071 松下宗彦（1964）：五馬山（104～105）
- B076 神田秀夫（1966）：慍湯（254～255）
- B089 神田秀夫（1972）：慍湯（254～255）

### 直入郡柏原郷（下30）

- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：石のうらない（250）

### 直入郡直入郡祢野（下30）

- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：石のうらない（249）
- B061 福田清人（1961）：石のうらない（290）

### 直入郡蹴石野（下31）

- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：石のうらない（249～250）
- B061 福田清人（1961）：石のうらない（290～292）

### 直入郡球覃郷（下31）

- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：石のうらない（250～251）
- B061 福田清人（1961）：石のうらない（292）

### 大野郡海石榴市・血田（下32）

- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：石のうらない（252）
- B061 福田清人（1961）：石のうらない（292）

### 大分の郡（106～107）

- B071 松下宗彦（1964）：大分の郡（106～107）

### 速見郡総記（下35～36）

- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：石のうらない（248～249）  
 B061 福田清人（1961）：石のうらない（289～290）

速見郡赤温泉（下36）

- B053 神田秀夫（1958）：温泉と氷室（249）  
 B070 神田秀夫（1964）：温泉と氷室（249）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）：赤湯と怒りの湯（170～171 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）：温泉と氷室（249）  
 B089 神田秀夫（1972）：温泉と氷室（249）

速見郡玖倍理湯（下36）

- B041 平塚武二（1956）：おこりんぼの湯（198～199）  
 B053 神田秀夫（1958）：温泉と氷室（250）  
 B070 神田秀夫（1964）：温泉と氷室（250）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）：赤湯と怒りの湯（170～171 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）：温泉と氷室（250）  
 B089 神田秀夫（1972）：温泉と氷室（250）

速見郡袖富峰（下37）

- B053 神田秀夫（1958）：温泉と氷室（250）  
 B070 神田秀夫（1964）：温泉と氷室（250）  
 B076 神田秀夫（1966）：温泉と氷室（250）  
 B089 神田秀夫（1972）：温泉と氷室（250）

速見郡頸の峯（下37～38）

- B033 永積安明・大久保正太郎（1954）：シカのやくそく（33～34）  
 B041 平塚武二（1956）：くび田のしか（195～197）  
 B046 吉田精一・福田清人（1957）：シカの恩がえし（7～10 福田清人）  
 B048 菅忠道（1957）：シカのやくそく（16～20 大久保正太郎）  
 B060 福田清人（1961）：しかの恩がえし（285～287）  
 B071 松下宗彦（1964）：頸の峯（108～109）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）：くび田のしか（168～170 柴野民三）  
 B081 松谷みよ子（1968）：もちのまと（110～112）  
 B094 松谷みよ子（1973）：もちのまと（110～112）  
 B110 松谷みよ子（2010）：もちのまと（243～246）

速見郡田野・逸文球珠郡田野（下38・410～411）

- A003 吉岡向陽・高野斑山（1909）：餅の的（65～73 高野斑山）  
 A004 文部省（1910）：モチノマト（33～36）  
 A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）：餅白鳥と化る（314～315）  
 A010 文部省（1918）：モチノマト（33～36）  
 A014 三川秀夫（1924）：モチノマト（巻二ノ一四）（193～198）  
 A018 宮川菊芳（1925）：餅のまと（一幕）（31～42）  
 A027 斎田喬・信田秀一（1931）：餅の的（108～114）  
 A035 徳永寿美子（1937）：餅の的（ページ番号の記載なし）  
 A043 堀田松三郎（1944）：かがみもちのまと（20～35）  
 A053 水藤春夫（1957）：もちのまと（14～18 西山敏夫）  
 A062 升川清雄（1964）：[全]



- A070 与田準一・松谷みよ子（1966）：もちのまと（40～41 与田準一）  
 A085 角山勝義（1973）：もちのまと（301～305）  
 A086 金剛由起子（1973）：もちのまと（210～214）  
 A096 おのちゅうこう（1978）：[全]  
 A099 角山勝義（1981）：もちのまと（111～115）  
 A101 金剛由生子（1985）：もちのまと（92～96）  
 B010 丸山林平（1935）：豊後の玖珠郡の物語（48～53）  
 B027 楠山正雄（1949）：白いもち白い鳥（110～112）  
 B031 楠山正雄（1953）：白いもち白い鳥（110～112）  
 B040 久保喬（1955）：もちのまと（95～106）  
 B045 吉田精一・福田清人（1957）：もちのまと（20～26）  
 B046 吉田精一・福田清人（1957）：白鳥となったもち（10～14 福田清人）  
 B050 久保喬（1957）：もちのまと（207～214）  
 B052 福田清人（1958）：もちのまと（27～34 福田清人）  
 B053 神田秀夫（1958）：餅の的（251～253）  
 B056 西山敏夫（1959）：もちのまと（32～37）  
 B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：もちのまと（262～263）  
 B060 福田清人（1961）：はくちょうになったもち（287～291）  
 B061 福田清人（1961）：もちのまと（285～287）  
 B063 佐藤春夫ほか編（1961）：白い鳥二（297～298）  
 B070 神田秀夫（1964）：餅の的（251～253）  
 B071 松下宗彦（1964）：田野（110～111）  
 B074 与田準一（1966）：白いもち白い鳥（203～204）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）：もちの的（166～168 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）：餅の的（251～253）  
 B077 西山敏夫（1967）：もちの的（35）  
 B081 松谷みよ子（1968）：もちのまと（109～117）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）：もちのまと（100～105）  
 B087 与田準一（1970）：あれ野のものがたり（78～87）  
 B089 神田秀夫（1972）：餅の的（251～253）  
 B092 福田清人（1972）：白鳥になったおもち（42～49）  
 B094 松谷みよ子（1973）：もちのまと（109～117）  
 B095 宮沢章二（1975）：[全]  
 B097 与田準一（1978）：[全]  
 B102 高橋健二・金田一春彦監修（1989）：もちのまと（70～79 谷真介）  
 B105 黛弘道監修（1990）：白い鳥になった餅（78～81）  
 B107 与田準一（1998）：白いもち白い鳥（203～204）  
 B109 与田準一（2009）：あれ野のものがたり（78～87）  
 B110 松谷みよ子（2010）：もちのまと（242～249）  
 B111 青山由紀（2010）：もちの的（30）  
 B115 小川こころ（2016）：もちの的（150～157）

## 肥 前

### 総記 1 (下68～70)

- B053 神田秀夫 (1958) : 不知火 (255～256)  
B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子 (1959) : 火の国 (253～256)  
B060 福田清人 (1961) : しらぬい (291～294)  
B061 福田清人 (1961) : 火の国 (293～295)  
B070 神田秀夫 (1964) : 不知火 (255～256)  
B071 松下宗彦 (1964) : 肥前の国 (84～87)  
B075 川端康成ほか監修 (1966) : 不知火 (172～174 柴野民三)  
B076 神田秀夫 (1966) : 不知火 (255～256)  
B089 神田秀夫 (1972) : 不知火 (255～256)  
B104 萩原昌好・野村昇司 (1990) : “火の国” と不知火 (53～54)  
B105 黛弘道監修 (1990) : 肥前の国名の由来 (82～85)

### 総記 2 (景行) (下68～70)

- B026 石田佐久馬 (1949) : 火の国 (43～44)  
B030 石田佐久馬 (1952) : 火の国 (52～53)  
B053 神田秀夫 (1958) : 不知火 (256～258)  
B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子 (1959) : 火の国 (253～256)  
B060 福田清人 (1961) : しらぬい (291～294)  
B061 福田清人 (1961) : 火の国 (293～295)  
B070 神田秀夫 (1964) : 不知火 (256～258)  
B071 松下宗彦 (1964) : 肥前の国 (84～87)  
B075 川端康成ほか監修 (1966) : 不知火 (172～174 柴野民三)  
B076 神田秀夫 (1966) : 不知火 (256～258)  
B089 神田秀夫 (1972) : 不知火 (256～258)  
B096 名作選定委員会 (1976) : 火の国 (216 倉島栄子)  
B104 萩原昌好・野村昇司 (1990) : “火の国” と不知火 (53～54)  
B105 黛弘道監修 (1990) : 不知火の名の由来 (86～88)

### 基肄郡酒殿泉 (下71～72)

- B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : ひかるよろい (106～107)

### 基肄郡姫社郷 (下72～73)

- B061 福田清人 (1961) : らんぼう神 (301～302)  
B071 松下宗彦 (1964) : 姫社の郷 (87～89)  
B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : ひかるよろい (107～109)  
B091 福田清人 (1972) : 乱暴な神 (122～123)

### 神埼郡船帆郷 (下76～77)

- B071 松下宗彦 (1964) : 船帆の郷 (89～90)

### 神埼郡鎌田郷 (下77)

- B071 松下宗彦 (1964) : 鎌田の郷 (90～91)

### 神埼郡琴木岡 (下77～78)

- B033 永積安明・大久保正太郎 (1954) : 人がつくったおか (38～39)

佐嘉郡総記 1 (下78)

- B010 丸山林平 (1935) : 栄国 (66~67)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 佐嘉郡 (91~93)  
 B105 黛弘道監修 (1990) : 佐賀の地名の由来 (89~91)

佐嘉郡総記 2 (下78~79)

- B050 久保喬 (1957) : 川の神と人形 (205~207)  
 B061 福田清人 (1961) : らんぼう神 (302~303)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 佐嘉郡 (91~93)  
 B082 久保喬 (1968) : 川の神と人形 (214~217)  
 B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : どうせんぼうをする神 (110~116)  
 B091 福田清人 (1972) : 乱暴な神 (123~124)  
 B105 黛弘道監修 (1990) : 佐賀の地名の由来 (91~94)

松浦郡総記 (下80~81)

- B041 平塚武二 (1956) : めずらしいあゆ (217~218)  
 B053 神田秀夫 (1958) : 玉島川の鮎 (238~240)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 玉島川の鮎 (238~240)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 松浦の郡 (93~95)  
 B075 川端康成ほか監修 (1966) : あゆつり (171~172 柴野民三)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 玉島川の鮎 (238~240)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 玉島川の鮎 (238~240)  
 B105 黛弘道監修 (1990) : アユをつった神功皇后 (95~98)

松浦郡鏡の渡 (下81)

- A005 巖谷小波 (1912) : 弟日姫子 (465~468)  
 A011 巖谷小波 (1920) : 弟日姫子 (455~456)  
 B053 神田秀夫 (1958) : ひれふりの峯 (240~241)  
 B059 坪田譲治 (1960) : オトヒヒメコ (226~229)  
 B061 福田清人 (1961) : ひれふりの峰 (296~298)  
 B070 神田秀夫 (1964) : ひれふりの峯 (240~241)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 褶振の峯 (95~97)  
 B073 坪田譲治 (1966) : オトヒヒメコ (226~229)  
 B076 神田秀夫 (1966) : ひれふりの峯 (240~241)  
 B089 神田秀夫 (1972) : ひれふりの峯 (240~241)  
 B092 福田清人 (1972) : ひれふりの山 (50~53)  
 B105 黛弘道監修 (1990) : 大伴狭手彦と弟日姫子 (99~104)

松浦郡褶振峰 (下81~82)

- A005 巖谷小波 (1912) : 弟日姫子 (462~465)  
 A011 巖谷小波 (1920) : 弟日姫子 (456~458)  
 B026 石田佐久馬 (1949) : ひれふる峯 (44~45)  
 B030 石田佐久馬 (1952) : ひれふる峯 (53~54)  
 B042 日本児童文芸家協会 (1956) : まつらさよひめ (163~175 古賀残星)  
 B053 神田秀夫 (1958) : ひれふりの峯 (243)  
 B059 坪田譲治 (1960) : オトヒヒメコ (226~229)  
 B061 福田清人 (1961) : ひれふりの峰 (298~300)  
 B062 日本児童文芸家協会 (1961) : まつらさよひめ (163~175 古賀残星)

- B070 神田秀夫（1964）： ひれふりの峯（243）  
B071 松下宗彦（1964）： 褶振の峯（95～97）  
B073 坪田譲治（1966）： オトヒヒメコ（226～229）  
B076 神田秀夫（1966）： ひれふりの峯（243）  
B089 神田秀夫（1972）： ひれふりの峯（243）  
B092 福田清人（1972）： ひれふりの山（50～59）  
B105 黛弘道監修（1990）： 大伴狭手彦と弟日姫子（105～109）

松浦郡賀周里（下82～83）

- B116 小川こころ（2016）： ミルカシヒメ（198～203）

松浦郡値嘉郷（下84～86）

- B071 松下宗彦（1964）： 値嘉の郷（97～99）

彼杵郡周賀郷（下90～91）

- B071 松下宗彦（1964）： 周賀郷（99～100）

彼杵郡速来門（下91）

- B071 松下宗彦（1964）： 速来の門（100～101）

## 諸国逸文

### ○山城

可茂社（下134～135）

- B041 平塚武二（1956）： 白いもち（219～220）
- B053 神田秀夫（1958）： かもの社（95～99）
- B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：カモの社の神（270～272）
- B070 神田秀夫（1964）： かもの社（95～99）
- B076 神田秀夫（1966）： かもの社（95～99）
- B081 松谷みよ子（1968）： にぬりの矢（118～119）
- B084 樋口清之（1969）： 餅の的（230～232）
- B086 坂本太郎・二反長半（1970）：かみなりがおとした矢（118～125）
- B089 神田秀夫（1972）： かもの社（95～99）
- B094 松谷みよ子（1973）： にぬりの矢（118～119）

宇治橋姫（下139）

- A015 松村武雄（1924）： 宇治橋姫（527～531）
- A102 松村武雄（1989）： 宇治橋姫（527～531）
- B053 神田秀夫（1958）： 宇治（93～95）
- B060 福田清人（1961）： 宇治の橋姫（294～297）
- B070 神田秀夫（1964）： 宇治（93～95）
- B075 川端康成ほか監修（1966）：宇治の橋姫（174～176 柴野民三）
- B076 神田秀夫（1966）： 宇治（93～95）
- B089 神田秀夫（1972）： 宇治（93～95）

南鳥部里・伊奈利社（下140・141）

- B010 丸山林平（1935）： 伊奈利社（53～54）鳥部の里（55）
- B027 楠山正雄（1949）： 白いもち白い鳥（112）
- B031 楠山正雄（1953）： 白いもち白い鳥（112）
- B053 神田秀夫（1958）： 餅の的（253）
- B070 神田秀夫（1964）： 餅の的（253）
- B074 与田準一（1966）： 白いもち白い鳥（201～203）
- B076 神田秀夫（1966）： 餅の的（253）
- B081 松谷みよ子（1968）： もちのまと（109～117）
- B084 樋口清之（1969）： 餅の的（232～233）
- B089 神田秀夫（1972）： 餅の的（253）
- B094 松谷みよ子（1973）： もちのまと（109～117）
- B107 与田準一（1998）： 白いもち白い鳥（201～203）
- B110 松谷みよ子（2010）： もちのまと（242～249）

### ○摂津

夢野（下160～161）

- A002 梅野勇（1906）： 夢野の鹿（84～85）
- A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）：夢野の鹿（306～308）
- B007 楠山正雄（1921）： 夢占（428～431）
- B010 丸山林平（1935）： 夢野の鹿（79～82）
- B027 楠山正雄（1949）： 夢占（88～91）
- B031 楠山正雄（1953）： 夢占（88～91）
- B053 神田秀夫（1958）： 夢野（100～102）

- B059 坪田譲治（1960）： シカの夢知らせ（230～231）  
B070 神田秀夫（1964）： 夢野（100～102）  
B073 坪田譲治（1966）： シカの夢知らせ（230～231）  
B075 川端康成ほか監修（1966）： 夢うらない（176～177 柴野民三）  
B076 神田秀夫（1966）： 夢野（100～102）  
B081 松谷みよ子（1968）： 刀我野のしか（95～99）  
B086 坂本太郎・二反長半（1970）： しかの夢うらない（126～129）  
B089 神田秀夫（1972）： 夢野（100～102）  
B094 松谷みよ子（1973）： 刀我野のしか（95～99）  
B105 黛弘道監修（1990）： シカの夫婦の夢判断（150～153）  
B115 小川こころ（2016）： 刀我野のシカ（190～195）

比売嶋松原（下162～163）

- B071 松下宗彦（1964）： 比売島（120）

美奴売松原（下163～164）

- B071 松下宗彦（1964）： 美奴売（121）

○伊勢

国号（下193～195）

- A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）： 伊勢津彦（117～121）  
A019 吉田助治（1926）： 神風の伊勢の国（136～139）  
B019 楠山正雄（1942）： 神風の伊勢國（199～202）  
B053 神田秀夫（1958）： 伊勢の国（79～80）  
B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）： イセノクニ（267～269）  
B061 福田清人（1961）： 神風の伊勢の国（329～332）  
070 神田秀夫（1964）： 伊勢の国（79～80）  
B071 松下宗彦（1964）： 伊勢の国（116～120）  
B076 神田秀夫（1966）： 伊勢の国（79～80）  
B086 坂本太郎・二反長半（1970）： 神風のふく国（130～134）  
B089 神田秀夫（1972）： 伊勢の国（79～80）  
B105 黛弘道監修（1990）： 伊勢の国名の由来（154～159）

○尾張

熱田社（下216）

- B053 神田秀夫（1958）： 熱田の社（76～77）  
B070 神田秀夫（1964）： 熱田の社（76～77）  
B076 神田秀夫（1966）： 熱田の社（76～77）  
B089 神田秀夫（1972）： 熱田の社（76～77）

川嶋社（下218）

- B071 松下宗彦（1964）： 川嶋の社（116）

○駿河

三保松原（下235～236）

- B010 丸山林平（1935）： 三保の松原（43～45）  
B029 高島正恵（1949）： 天の羽衣（47～48）  
B060 福田清人（1961）： 天女の羽衣（298～301）



てこの呼坂（下236～238）

- |      |             |              |
|------|-------------|--------------|
| B053 | 神田秀夫（1958）： | てこの呼坂（70～73） |
| B070 | 神田秀夫（1964）： | てこの呼坂（70～73） |
| B076 | 神田秀夫（1966）： | てこの呼坂（70～73） |
| B089 | 神田秀夫（1972）： | てこの呼坂（70～73） |

# ○伊豆

造船（下243）

- |      |             |           |
|------|-------------|-----------|
| B017 | 佐藤春夫（1941）： | 枯野と速鳥（21） |
|------|-------------|-----------|

# ○甲斐

菊花山（下246～247）

- |      |             |          |
|------|-------------|----------|
| B071 | 松下宗彦（1964）： | 鶴の郡（115） |
|------|-------------|----------|

# ○近江

伊香小江（下264～265）

- |      |                         |                    |
|------|-------------------------|--------------------|
| A015 | 松村武雄（1924）：             | 羽衣（376～382）        |
| A070 | 与田準一・松谷みよ子（1966）：       | はごろも（36～39 与田準一）   |
| A071 | 浜田広介（1966）：             | 天の羽衣（22～33）        |
| A095 | おのちゅうこう（1977）：          | [全]                |
| A102 | 松村武雄（1989）：             | 羽衣（376～382）        |
| A103 | 田島信元（2011）：             | 天の羽衣（214）          |
| B006 | 楠山正雄（1921）：             | 白い鳥（1～26）          |
| B007 | 楠山正雄（1921）：             | 白い鳥（407～415）       |
| B010 | 丸山林平（1935）：             | 余呉湖（32～38）         |
| B011 | 三浦圭三（1936）：             | 伊香の小江（193～207）     |
| B012 | 日本童話協会編（1936）：          | 白い鳥（357～369）       |
| B013 | 楠山正雄（1937）：             | 白い鳥（1～26）          |
| B016 | 楠山正雄（1938）：             | 白い鳥（256～263）       |
| B020 | 楠山正雄（1942）：             | 白い鳥（213～236）       |
| B025 | 楠山正雄（1947）：             | 白い鳥（117～127）       |
| B027 | 楠山正雄（1949）：             | 天の羽衣（92～102）       |
| B028 | 松村武雄（1949）：             | はごろも（67～84）        |
| B029 | 高島正恵（1949）：             | 天の羽衣（一）（44～45）     |
| B031 | 楠山正雄（1953）：             | 天の羽衣（92～102）       |
| B053 | 神田秀夫（1958）：             | 近江の国（85～87）        |
| B058 | 浜田広介（1960）：             | 天の羽衣（184～190）      |
| B063 | 佐藤春夫ほか編（1961）：          | 羽衣女房（366～375）      |
| B068 | 浜田広介（1963）：             | 天のはごろも（152～182）    |
| B070 | 神田秀夫（1964）：             | 近江の国（85～87）        |
| B074 | 与田準一（1966）：             | 天人のはごろも（175～188）   |
| B076 | 神田秀夫（1966）：             | 近江の国（85～87）        |
| B078 | 坪田譲治・浜田広介・村上知行ほか（1967）： | 天の羽衣（126～133 浜田広介） |
| B079 | 土屋由岐雄（1968）：            | はごろも（47～57）        |
| B083 | よだじゅんいち（1969）：          | [全]                |
| B089 | 神田秀夫（1972）：             | 近江の国（85～87）        |
| B105 | 黛弘道監修（1990）：            | 羽衣伝説（121～125）      |
| B107 | 与田準一（1998）：             | 天人のはごろも（175～188）   |

竹生島（下265～266）

- A077 与田準一・川崎大治（1967）：伊吹山はかんしゃく山（34～37 堀尾青史）  
B053 神田秀夫（1958）：近江の国（88）  
B070 神田秀夫（1964）：近江の国（88）  
B076 神田秀夫（1966）：近江の国（88）  
B089 神田秀夫（1972）：近江の国（88）

○信濃

ははき木（下278）

- B053 神田秀夫（1958）：ははき木（74～75）  
B070 神田秀夫（1964）：ははき木（74～75）  
B076 神田秀夫（1966）：ははき木（74～75）  
B089 神田秀夫（1972）：ははき木（74～75）

○陸奥

八槻郷（下279～281）

- B053 神田秀夫（1958）：八槻（7～10）  
B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子（1959）：ヤツキの里（264～266）  
B061 福田清人（1961）：やつきの里（333～335）  
B070 神田秀夫（1964）：八槻（7～10）  
B071 松下宗彦（1964）：八槻の郷（112～114）  
B076 神田秀夫（1966）：八槻（7～10）  
B089 神田秀夫（1972）：八槻（7～10）  
B105 黛弘道監修（1990）：日本武尊の蝦夷退治（111～115）

飯豊山（下281）

- B053 神田秀夫（1958）：八槻（10～11）  
B070 神田秀夫（1964）：八槻（10～11）  
B076 神田秀夫（1966）：八槻（10～11）  
B089 神田秀夫（1972）：八槻（10～11）

○丹後

天橋立（下295）

- B003 岩田勝市（1912）：国引（1）  
B053 神田秀夫（1958）：天の橋立（110～112）  
B070 神田秀夫（1964）：天の橋立（110～112）  
B071 松下宗彦（1964）：天の橋立（126～29）  
B076 神田秀夫（1966）：天の橋立（110～112）  
B086 坂本太郎・二反長半（1970）：天からおちてきたはしご（148～151）  
B089 神田秀夫（1972）：天の橋立（110～112）

水江浦島子（下296～305）

- A001 文部省（1904）：浦島子（25～28）  
A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）：浦の嶼子（250～259）  
A019 吉田助治（1926）：浦島子（241～248）  
A070 与田準一・松谷みよ子（1966）：うらしま（42～46 与田準一）  
B010 丸山林平（1935）：浦島（17～32）  
B029 高島正恵（1949）：浦島太郎（29～34。出典は「書紀・釈日本紀・万葉集など」であって

風土記に言及せず

- B035 片桐顕智ほか編 (1954) : みずのえのうらの しまこ (23~38 神山裕一)  
 B041 平塚武二 (1956) : みずのえうらのシマコ (180~189)  
 B053 神田秀夫 (1958) : 筒川の島子 (112~121)  
 B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子 (1959) : 浦島子 (229~240)  
 B059 坪田譲治 (1960) : 浦島子 (232~243)  
 B060 福田清人 (1961) : 浦島の子 (303~313)  
 B061 福田清人 (1961) : ウラノシマコ (313~323)  
 B065 片桐顕智ほか編 (1962) : みずのえのうらの しまこ (23~38 神山裕一)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 筒川の島子 (112~121)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 浦嶋の子 (129~137)  
 B073 坪田譲治 (1966) : 浦島子 (232~243)  
 B075 川端康成ほか監修 (1966) : 水の江の浦島の子 (181~187 柴野民三)  
 B076 神田秀夫 (1966) : 筒川の島子 (112~121)  
 B086 坂本太郎・二反長半 (1970) : 浦島太郎 (152~168)  
 B089 神田秀夫 (1972) : 筒川の島子 (112~121)  
 B092 福田清人 (1972) : うらしまものがたり (60~78)  
 B105 黛弘道監修 (1990) : 水の江の浦島の子 (134~149)  
 B106 木村淳・戸室靖和 (1995) : 浦島太郎 (12~16)

比治 (下302~306)

- A005 巖谷小波 (1912) : 真井の天女 (500~505)  
 A009 高木敏雄・小笠原省三 (1917) : 丹後の天女 (329~334)  
 A011 巖谷小波 (1920) : 真井の天女 (491~494)  
 A013 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑 (1920) : 羽衣 (109~132)  
 A021 巖谷小波 (1926) : 比治山の天女 (125~138)  
 A040 小川未明 (1943) : ハゴロモ モノガタリ (16・17の間)  
 A069 坪田譲治 (1966) : 比治の里の天女 (京都府) (183~190)  
 A097 大川悦生 (1987) : 比治の里の天女 (161~168)  
 B003 岩田勝市 (1912) : 比沼山の天女 (5~12)  
 B005 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑 (1920) : 羽衣  
 B006 楠山正雄 (1921) : 白い鳥 (1~26)  
 B010 丸山林平 (1935) : 奈具社 (38~43)  
 B012 日本童話協会編 (1936) : 白い鳥 (1~26)  
 B013 楠山正雄 (1937) : 白い鳥 (1~26)  
 B017 佐藤春夫 (1941) : 迷子になつた天女 (28~32)  
 B020 楠山正雄 (1942) : 白い鳥 (213~236)  
 B029 高島正恵 (1949) : 天の羽衣 (二) (45~47)  
 B035 片桐顕智ほか編 (1954) : かわいそうな てんによ (15~22 神山裕一)  
 B041 平塚武二 (1956) : 天女のこと (221~225)  
 B050 久保喬 (1957) : 天女のなみだ (191~197)  
 B053 神田秀夫 (1958) : 奈具の社 (104~110)  
 B057 坪田譲治・高橋健二・石井桃子 (1959) : 羽衣 (241~245)  
 B059 坪田譲治 (1960) : 天女 (244~249)  
 B061 福田清人 (1961) : 羽衣 (324~328)  
 B065 片桐顕智ほか編 (1962) : かわいそうな てんによ (15~22 神山裕一)  
 B070 神田秀夫 (1964) : 奈具の社 (104~110)  
 B071 松下宗彦 (1964) : 奈具の社 (122~26)

- B073 坪田譲治（1966）： 天女（244～249）  
 B074 与田準一（1966）： 天人のはごろも（188～192）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）： 奈具の社（177～181 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： 奈具の社（104～110）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）： 天のはごろも（136～147）  
 B089 神田秀夫（1972）： 奈具の社（104～110）  
 B090 北畠八穂（1972）： 天の羽衣（95～109）  
 B091 福田清人（1972）： 天女の羽衣（118～121）  
 B096 名作選定委員会（1976）： 奈具の社（210～213 倉島栄子）  
 B104 萩原昌好・野村昇司（1990）： 天に帰れなかった天女（54～6）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 天女と恩知らずの夫婦（126～133）  
 B106 木村淳・戸室靖和（1995）： 羽ごろも（10～12）  
 B107 与田準一（1998）： 天人のはごろも（188～192）  
 B113 田中貴子監修（2012）： 天女の羽衣（36～37）

# ○因幡

白兔（下321～323）

- A005 巖谷小波（1912）： 因幡の白兔（10）  
 A006 桔梗郎（1912）： 因幡の白兔（112～113）  
 A008 小笠原省三（1916）： 因幡白兔（55）  
 A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）： 因幡の白兔（43）  
 A011 巖谷小波（1920）： 因幡の白兔（10）  
 A015 松村武雄（1924）： 因幡の白兔（81）  
 A016 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1924）： 白兔（99）  
 A018 宮川菊芳（1925）： 白兔（一幕）（109）  
 A020 野口鶴（1926）： 裸兔（36）  
 A022 町田桜園（1927）： 因幡の白兔（上）（25）  
 A023 甲田正夫（1928）： 大国主命の話（7）  
 A024 日本童話研究会（1928）： いなばの兔（110）  
 A026 木村小舟（1930）： 兔と鰐鰯（115～116）  
 A032 童話研究会（1934）： いなばの兔（71）  
 A033 三浦藤作（1934）： 兔とわに（206～207）  
 A046 大木雄二（1951）： うさぎとわにのなかまくらべ（69～70）  
 A047 筒井敏雄（1954）： いなばのうさぎ（451）  
 A050 児童文学者協会（1955）： しろうさぎーおおくにぬしの はなしー（11 こいで しょうご）  
 A052 徳永寿美子（1957）： いなばの白うさぎ（26）  
 A056 藤沢衛彦（1958）： いなばの白ウサギ（33）  
 A061 阿貴良一（1963）： わにざめの せに のって（91～96）  
 A066 藤沢衛彦（1965）： いなばの白うさぎ（33）  
 A068 与田準一（1966）： はなれこじまへ ながされて（6～11）  
 A072 藤田みつ（1966）： いなばの うさぎ（一）（26～29）  
 A074 藤沢衛彦（1967）： いなばの白うさぎ（148）  
 A080 藤沢衛彦（1970）： 因幡の白ウサギ（258～259）  
 A082 久保喬（1972）： うみをわたって（14～22）  
 A087 瀬川拓男・松谷みよ子（1973）： 白うさぎとオオナムジ（67～68 松谷みよ子）  
 A089 秋晴二（1975）： （26～29）  
 A090 松谷みよ子（1975）： 白兔とオオナムジ（225～226）  
 A091 佐脇嘉久（1976）： いなばの白うさぎ（72～73）

- A098 瀬川拓男・松谷みよ子・辺見じゅん（1981）：白うさぎとオオナムジ（67～68 松谷みよ子）  
 A100 堀尾青史（1984）：（1枚目）  
 A102 松村武雄（1989）：因幡の白兔（81）  
 A103 田島信元（2011）：因幡の白うさぎ（69）  
 B001 渋谷玄耳（1909）：裸兔（66）  
 B002 萩野由之（1911）：因幡の白兔（11）  
 B003 岩田勝市（1912）：兔と鰐（41）  
 B007 楠山正雄（1921）：白兔（47）  
 B008 森林太郎・松村武雄・鈴木三重吉・馬淵冷佑（1921）：白兔（99）  
 B015 大木雄二（1938）：因幡の白兔（88～90）  
 B018 納富誠武（1942）：因幡の白兔（67～68）  
 B021 佐野保太郎（1943）：因幡の白兔（74～75）  
 B023 瑞原伸彦（1943）：山の白兔（25）  
 B027 楠山正雄（1949）：いなばのうさぎ（12～45）  
 B031 楠山正雄（1953）：いなばのうさぎ（12～45）  
 B032 藤沢衛彦（1953）：いなばのあかはだウサギ（46～47）  
 B037 岡本良雄・阿貴良一（1955）：ワニザメのせにのって（88～89）  
 B038 大木雄二（1955）：いなばのしろうさぎ（71）  
 B050 久保喬（1957）：神さまたちと白ウサギ（55）  
 B051 久保喬（1957）：うみをわたって（6～8）  
 B052 福田清人（1958）：いなばの白うさぎ（17～18 西山敏夫）  
 B055 三山進（1959）：白い兔と赤い猪（52）  
 B063 佐藤春夫ほか編（1961）：いなばの白うさぎ（350）  
 B069 大木雄二（1964）：いなばのしろうさぎ（71）  
 B080 松谷みよ子（1968）：ふくろをせおった神（67）  
 B082 久保喬（1968）：おこったワニザメ（65）  
 B087 与田準一（1970）：うさぎとさめのものがたり（6～8）  
 B090 北畠八穂（1972）：いなばの白うさぎ（60）  
 B093 松谷みよ子（1973）：ふくろをせおった神（67）  
 B105 黛弘道監修（1990）：いなばのしろうさぎ（165～169）  
 B108 松谷みよ子（2001）：袋を背負った神（70）  
 B109 与田準一（2009）：うさぎとさめのものがたり（6～8）  
 B110 松谷みよ子（2010）：ふくろをせおった神（67～68）

# ○伯耆

粟島（下327）

- A061 阿貴良一（1963）：ぼんと はねた あわの くき（138～148）  
 B041 平塚武二（1956）：あわしま（211）

伯耆国号（下328）

- B071 松下宗彦（1964）：伯耆の国（142～143）

# ○備中

迹磨郷（下338）

- B071 松下宗彦（1964）：迹磨の郷（143～144）

# ○備後

蘇民将来（下341～342）

- A005 巖谷小波（1912）： 蘇民将来（125～128）  
 A007 巖谷小波（1913）： 蘇民将来（49～63）  
 A009 高木敏雄・小笠原省三（1917）： 茅輪と疫病（337～339）  
 A011 巖谷小波（1920）： 蘇民将来（127～129）  
 A015 松村武雄（1924）： 蘇民将来と巨旦将来（144～146）  
 A019 吉田助治（1926）： 蘇民将来（30～32）  
 A102 松村武雄（1989）： 蘇民将来と巨旦将来（144～146）  
 B010 丸山林平（1935）： 蘇民将来（71～78）  
 B011 三浦圭三（1936）： 蘇民将来（12～14）  
 B027 楠山正雄（1949）： 蘇民将来巨旦将来（63～66）  
 B031 楠山正雄（1953）： 蘇民将来巨旦将来（63～66）  
 B041 平塚武二（1956）： ソミンとコタン（208～210）  
 B053 神田秀夫（1958）： 蘇民将来（186～188）  
 B055 三山進（1959）： ヤマタのオロチ（47～49）  
 B059 坪田譲治（1960）： 北海の神（249～251）  
 B061 福田清人（1961）： わきあがる雲（57～58）  
 B070 神田秀夫（1964）： 蘇民将来（186～188）  
 B073 坪田譲治（1966）： 北海の神（249～251）  
 B074 与田準一（1966）： こたとそみんきょうだい（193～200）  
 B075 川端康成ほか監修（1966）： 蘇民将来（188～189 柴野民三）  
 B076 神田秀夫（1966）： 蘇民将来（186～188）  
 B081 松谷みよ子（1968）： ソミンショウライ（78～80）  
 B087 与田準一（1970）： そみん・こたん兄弟ものがたり（176～189）  
 B089 神田秀夫（1972）： 蘇民将来（186～188）  
 B094 松谷みよ子（1973）： ソミンショウライ（78～80）  
 B096 名作選定委員会（1976）： 蘇民将来と茅草の輪（208～209 倉島栄子）  
 B102 高橋健二・金田一春彦監修（1989）： ふしぎなおきゃくさん（80～89 岡信子）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 蘇民将来（160～164）  
 B107 与田準一（1998）： こたとそみんきょうだい（193～200）  
 B109 与田準一（2009）： そみん・こたん兄弟ものがたり（176～189）  
 B110 松谷みよ子（2010）： ソミンショウライ（238～241）  
 B116 小川こころ（2016）： ソミンショウライ（170～177）

# ○伊予

温泉（下356～359）

- A008 小笠原省三（1916）： 少彦名命（82）  
 A023 甲田正夫（1928）： 大国主命の話（25～26）  
 A046 大木雄二（1951）： 力くらべ（120～122）  
 A060 波多野完治ほか監修（1962）： おくすりの神さま（195～199 上崎美恵子）  
 A072 藤田みつ（1966）： ちいさい かみさま（二）（86～88）  
 A091 佐脇嘉久（1976）： すくなびこな神の助け（91～96）  
 B007 楠山正雄（1921）： 粟の穂（71）  
 B014 中西芳朗（1938）： みたま石（248～250）  
 B015 大木雄二（1938）： 力くらべ（142～145）  
 B019 楠山正雄（1942）： 粟の穂（108～）  
 B038 大木雄二（1955）： ちからくらべ（109～113）  
 B050 久保喬（1957）： 小ゆびくらの神さま二（92～93）  
 B053 神田秀夫（1958）： 伊予の湯・熟田津（226～229）



- B055 三山進（1959）： 小人の神（75）  
 B069 大木雄二（1964）： ちからくらべ（109～113）  
 B070 神田秀夫（1964）： 伊予の湯・熟田津（226～229）  
 B076 神田秀夫（1966）： 伊予の湯・熟田津（226～229）  
 B082 久保喬（1968）： わらう神たち（106～108）  
 B084 樋口清之（1969）： こびとの神さま（90～91）  
 B086 坂本太郎・二反長半（1970）： いのちのおんせん（75～77）  
 B089 神田秀夫（1972）： 伊予の湯・熟田津（226～229）  
 B103 西野綾子（1989）： スクナヒコがたいへんだ！（52～59） さようならオオクニヌシ（60～70）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 温泉の効能（170～171）

天山（下359～360）

- B053 神田秀夫（1958）： 伊予の湯・熟田津（229）  
 B070 神田秀夫（1964）： 伊予の湯・熟田津（229）  
 B076 神田秀夫（1966）： 伊予の湯・熟田津（229）  
 B089 神田秀夫（1972）： 伊予の湯・熟田津（229）

○筑前

志珂嶋（下376）

- B105 黛弘道監修（1990）： 志賀島の地名の由来（172～173）

怡土郡（下377～378）

- B071 松下宗彦（1964）： 怡土の郡（152～154）

児饗石（下379～380）

- B071 松下宗彦（1964）： 児饗野（154～155）

○筑後

筑後国号（下395～396）

- B053 神田秀夫（1958）： 筑紫（230）  
 B070 神田秀夫（1964）： 筑紫（230）  
 B071 松下宗彦（1964）： 筑後の国（156～157）  
 B076 神田秀夫（1966）： 筑紫（230）  
 B089 神田秀夫（1972）： 筑紫（230）

磐井の墓（下397～398）

- B053 神田秀夫（1958）： 筑紫の君，磐井と，その墓（247～249）  
 B070 神田秀夫（1964）： 筑紫の君，磐井と，その墓（247～249）  
 B071 松下宗彦（1964）： 磐井の墓（155～156）  
 B076 神田秀夫（1966）： 筑紫の君，磐井と，その墓（247～249）  
 B089 神田秀夫（1972）： 筑紫の君，磐井と，その墓（247～249）  
 B105 黛弘道監修（1990）： 磐井君の墓（174～178）

○豊前

鹿春郷（下404～405）

- B071 松下宗彦（1964）： 鹿春の郷（150）

○筑紫

関宗岳（下423～424）

- |      |             |             |
|------|-------------|-------------|
| B053 | 神田秀夫（1958）： | 阿蘇（259～260） |
| B070 | 神田秀夫（1964）： | 阿蘇（259～260） |
| B076 | 神田秀夫（1966）： | 阿蘇（259～260） |
| B089 | 神田秀夫（1972）： | 阿蘇（259～260） |

○肥前

杵島山（下414～415）

- |      |             |              |
|------|-------------|--------------|
| B071 | 松下宗彦（1964）： | 杵島山（157～158） |
|------|-------------|--------------|

○日向

国号（下431～432）

- |      |              |                   |
|------|--------------|-------------------|
| B105 | 黛弘道監修（1990）： | 日向の国名の由来（179～182） |
|------|--------------|-------------------|

臼杵郡知鋪郷（下433～434）

- |      |              |                  |
|------|--------------|------------------|
| B053 | 神田秀夫（1958）：  | 高千穂（262～263）     |
| B070 | 神田秀夫（1964）：  | 高千穂（262～263）     |
| B071 | 松下宗彦（1964）：  | 知鋪の郷（150～152）    |
| B076 | 神田秀夫（1966）：  | 高千穂（262～263）     |
| B089 | 神田秀夫（1972）：  | 高千穂（262～263）     |
| B105 | 黛弘道監修（1990）： | 昼と夜のおこり（183～186） |

○壱岐

鯨伏郷（下445）

- |      |             |           |
|------|-------------|-----------|
| B071 | 松下宗彦（1964）： | 鯨伏の郷（160） |
|------|-------------|-----------|

風土記外

- |      |              |                   |
|------|--------------|-------------------|
| B050 | 久保喬（1957）：   | 神と人（218～222）      |
| B074 | 与田準一（1966）：  | ものいうクリの木（168～172） |
| B082 | 久保喬（1968）：   | 神と人（218～222）      |
| B090 | 北畠八穂（1972）：  | しゃべる木 うたう木（84～94） |
| B107 | 与田準一（1998）：  | ものいうクリの木（168～172） |
| B115 | 小川こころ（2016）： | びんぼう神（196～203）    |
| B116 | 小川こころ（2016）： | 水の神の文使い（190～197）  |

## List and index of *Hudoki*-tales rewritten as juvenile

TATUOKA, Yuuzi

(key-words : *Hudoki*, juvenile, modern Japan)

*Hudoki*, chorographies compiled in each provances in ancient Japan, is regarded as compilation of tales in modern Japan. *Hudoki* has been rewritten for children since the eraly 20th Century. *Hudoki* has low reputation as literary classics, those juvenile works usually hold only a part of tale-books named such as *Japanese old tales*, seldom having the word *Hudoki* in their title. This author tried to compile a list of those juvenile works and clarified the original articles in *Hudoki* for each work.